

出来形管理基準及び規格値

【第1編 共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第2章 土工						
第3節 河川土工・海岸土工・砂防土工	1-2-3-2	1	掘削工			I-1
	1-2-3-3	1	盛土工			I-1
	1-2-3-4		盛土補強工	補強土（テールアルメ）壁工法		I-1
				多数アンカー式補強土工法		I-1
				ジオテキスタイルを用いた補強土工法		I-1
	1-2-3-5		法面整形工	盛土部		I-2
1-2-3-6		堤防天端工			I-2	
第4節 道路土工	1-2-4-2	1	掘削工			I-2
	1-2-4-3	1	路体盛土工			I-3
	1-2-4-4	1	路床盛土工			I-3
	1-2-4-5		法面整形工	盛土部		I-3
第3章 無筋、鉄筋コンクリート						
第7節 鉄筋工	1-3-7-4		組立て			I-4

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第2章 一般施工						
第3節 共通の工種	3-2-3-4		矢板工（指定仮設・任意仮設は除く）	鋼矢板		I-5
				軽量鋼矢板		I-5
				コンクリート矢板		I-5
				広幅鋼矢板		I-5
				可とう鋼矢板		I-5
	3-2-3-5		縁石工	縁石・アスカープ		I-5
	3-2-3-6		小型標識工			I-5
	3-2-3-7		防止柵工	立入防止柵		I-6
				転落（横断）防止柵		I-6
				車止めポスト		I-6
	3-2-3-8	1	路側防護柵工	ガードレール		I-6
		2	路側防護柵工	ガードケーブル		I-6
	3-2-3-9		区画線工			I-7
	3-2-3-10		道路付属物工	視線誘導標		I-7
				距離標		I-7
	3-2-3-11		コンクリート面塗装工			I-7
	3-2-3-12	1	プレテンション桁製作工（購入工）	けた橋		I-8
		2	プレテンション桁製作工（購入工）	スラブ桁		I-8
	3-2-3-13	1	ポストテンション桁製作工			I-9
		2	プレキャストセグメント桁製作工	（購入工）		I-9
	3-2-3-14		プレキャストセグメント主桁組立工			I-9
	3-2-3-15		PCホロスラブ製作工			I-10
	3-2-3-16	1	PC箱桁製作工			I-10
		2	PC押し出し箱桁製作工			I-11
	3-2-3-17		根固めブロック工			I-11
	3-2-3-18		沈床工			I-12
	3-2-3-19		捨石工			I-12
	3-2-3-22		階段工			I-12
	3-2-3-24	1	伸縮装置工	ゴムジョイント		I-12
		2	伸縮装置工	鋼製フィンガージョイント		I-13
		3	伸縮装置工	埋設型ジョイント		I-13
	3-2-3-26	1	多自然型護岸工	巨石張り、巨石積み		I-13
		2	多自然型護岸工	かごマット		I-14
3-2-3-27	1	羽口工	じゃかご		I-14	
	2	羽口工	ふとんかご、かご枠		I-14	
3-2-3-28		プレキャストカルバート工	プレキャストボックス工		I-15	
			プレキャストパイプ工		I-15	
3-2-3-29	1	側溝工	プレキャストU型側溝		I-15	
			L型側溝工		I-15	
			自由勾配側溝		I-15	
			管渠		I-15	
	2	側溝工	場所打水路工		I-15	

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁		
第3節 共通の工種	3-2-3-29	3	側溝工	暗渠工		I-16		
	3-2-3-30		集水樹工			I-16		
	3-2-3-31		現場塗装工			I-17		
第4節 基礎工	3-2-4-1		一般事項	切込砂利		I-17		
				砕石基礎工		I-17		
				割ぐり石基礎工		I-17		
				均しコンクリート		I-17		
	3-2-4-3	1	基礎工（護岸）	現場打		I-18		
				2	基礎工（護岸）	プレキャスト		I-18
	3-2-4-4	1	既製杭工	既製コンクリート杭		I-18		
				鋼管杭		I-18		
				H鋼杭		I-18		
	3-2-4-4	2	既製杭工	鋼管ソイルセメント杭		I-19		
				3-2-4-5		場所打杭工		I-19
	3-2-4-6			深礎工		I-19		
3-2-4-7			オープンケーソン基礎工		I-20			
3-2-4-8			ニューマチックケーソン基礎工		I-20			
3-2-4-9			鋼管矢板基礎工		I-20			
第5節 石・ブロック積（張）工	3-2-5-3	1	コンクリートブロック工	コンクリートブロック積		I-21		
				コンクリートブロック張り		I-21		
				2	コンクリートブロック工	連節ブロック張り		I-21
	3-2-5-3	3	コンクリートブロック工	天端保護ブロック		I-21		
				3-2-5-4		緑化ブロック工		I-22
	3-2-5-5			石積（張）工		I-22		
第6節 一般舗装工	3-2-6-7	1	アスファルト舗装工	下層路盤工		I-23		
				2	アスファルト舗装工	上層路盤工（粒度調整路盤工）		I-23
				3	アスファルト舗装工	上層路盤工（セメント（石灰）安定処理工）		I-24
				4	アスファルト舗装工	加熱アスファルト安定処理工		I-24
				5	アスファルト舗装工	基層工		I-25
				6	アスファルト舗装工	表層工		I-25

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第6節 一般舗装工	3-2-6-8	1	半たわみ性舗装工	下層路盤工		I-26
		2	半たわみ性舗装工	上層路盤工（粒度調整路盤工）		I-26
		3	半たわみ性舗装工	上層路盤工（セメント（石灰）安定処理工）		I-27
		4	半たわみ性舗装工	加熱アスファルト安定処理工		I-27
		5	半たわみ性舗装工	基層工		I-27
		6	半たわみ性舗装工	表層工		I-27
	3-2-6-9	1	排水性舗装工	下層路盤工		I-28
		2	排水性舗装工	上層路盤工（粒度調整路盤工）		I-28
		3	排水性舗装工	上層路盤工（セメント（石灰）安定処理工）		I-28
		4	排水性舗装工	加熱アスファルト安定処理工		I-29
		5	排水性舗装工	基層工		I-29
		6	排水性舗装工	表層工		I-29
	3-2-6-10	1	透水性舗装工	路盤工		I-30
		2	透水性舗装工	表層工		I-30

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第6節 一般舗装工	3-2-6-11	1	グースアスファルト舗装工	加熱アスファルト安定処理工		I-31
		2	グースアスファルト舗装工	基層工		I-31
		3	グースアスファルト舗装工	表層工		I-31
	3-2-6-12	1	コンクリート舗装工	下層路盤工		I-32
		2	コンクリート舗装工	粒度調整路盤工		I-32
		3	コンクリート舗装工	セメント(石灰・瀝青)安定処理工		I-33
		4	コンクリート舗装工	アスファルト中間層		I-33
		5	コンクリート舗装工	コンクリート舗装版工		I-34
		6	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工(下層路盤工)		I-34
		7	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工(粒度調整路盤工)		I-34
		8	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工(セメント(石灰・瀝青)安定処理工)		I-35
		9	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工(アスファルト中間層)		I-35
		10	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工		I-35
	3-2-6-13	1	薄層カラー舗装工	下層路盤工		I-36
		2	薄層カラー舗装工	上層路盤工(粒度調整路盤工)		I-36
		3	薄層カラー舗装工	上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		I-37
		4	薄層カラー舗装工	加熱アスファルト安定処理工		I-37
		5	薄層カラー舗装工	基層工		I-37
	3-2-6-14	1	ブロック舗装工	下層路盤工		I-38
		2	ブロック舗装工	上層路盤工(粒度調整路盤工)		I-38
		3	ブロック舗装工	上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		I-39
	3-2-6-14	4	ブロック舗装工	加熱アスファルト安定処理工		I-39
		5	ブロック舗装工	基層工		I-39
	3-2-6-15		路面切削工			I-40
	3-2-6-16		舗装打換え工			I-40
	3-2-6-17		オーバーレイ工			I-40

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第7節 地盤改良工	3-2-7-2		路床安定処理工			I-41	
	3-2-7-3		置換工			I-41	
	3-2-7-4		表層安定処理工	サンドマット海上		I-42	
	3-2-7-5		パイルネット工			I-42	
	3-2-7-6		サンドマット工			I-42	
	3-2-7-7			パーチカルドレーン工	サンドドレーン工		I-43
					ペーパードレーン工		I-43
					袋詰式サンドドレーン工		I-43
	3-2-7-8		締固め改良工	サンドコンパクションパイル工		I-43	
	3-2-7-9	1		固結工	粉末噴射攪拌工		I-43
					高圧噴射攪拌工		I-43
					スラリー攪拌工		I-43
					生石灰パイル工		I-43
					スラリー攪拌工		I-43'
中間混合処理						I-44	
第10節 仮設工	3-2-10-5	1	土留・仮締切工	H鋼杭		I-44	
				鋼矢板		I-44	
		2	土留・仮締切工	アンカー工		I-44	
		3	土留・仮締切工	連節ブロック張り工		I-44	
		4	土留・仮締切工	締切盛土		I-45	
	5	土留・仮締切工	中詰盛土		I-45		
	3-2-10-9		地中連続壁工（壁式）			I-45	
	3-2-10-10		地中連続壁工（柱列式）			I-45	
	3-2-10-22		法面吹付工		3-2-14-3吹付工	I-58	
	第11節 軽量盛土工	3-2-11-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-3
第12節 工場製作工（共通）	3-2-12-1	1	一般事項	铸造費（金属支承工）		I-46	
		2	一般事項	铸造費（大型ゴム支承工）		I-47	
		3	一般事項	仮設材製作工		I-48	
		4	一般事項	刃口金物製作工		I-48	
	3-2-12-3	1	桁製作工	仮組検査を実施する場合		I-49	
				シミュレーション仮組検査を実施する場合		I-49	
		2	桁製作工	仮組検査を実施しない場合		I-51	
	3	桁製作工	鋼製えん堤製作工（仮組立時）		I-52		
3-2-12-4		検査路製作工			I-53		

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第12節 工場製作工（共通）	3-2-12-5		鋼製伸縮継手製作工			I-53
	3-2-12-6		落橋防止装置製作工			I-53
	3-2-12-7		橋梁用防護柵製作工			I-53
	3-2-12-8		アンカーフレーム製作工			I-54
	3-2-12-9		プレビーム用桁製作工			I-54
	3-2-12-10		鋼製排水管製作工			I-55
	3-2-12-11		工場塗装工			I-55
第13節 橋梁架設工	3-2-13		架設工（鋼橋）	クレーン架設		I-56
				ケーブルクレーン架設		I-56
				ケーブルエレクション架設		I-56
				架設桁架設		I-56
				送出し架設		I-56
				トラベラークレーン架設		I-56
	3-2-13		架設工（コンクリート橋）	クレーン架設		I-57
				架設桁架設		I-57
			架設工支保工	固定		I-57
				移動		I-57
			架設桁架設	片持架設		I-57
		押出し架設		I-57		
第14節 法面工（共通）	3-2-14-2	1	植生工	種子散布工		I-57
				張芝工		I-57
				筋芝工		I-57
				市松芝工		I-57
				植生シート工		I-57
				植生マット工		I-57
				植生筋工		I-57
				人工張芝工		I-57
				植生穴工		I-57
				2	植生工	植生基材吹付工
	客土吹付工		I-57			
	3-2-14-3		吹付工（仮設を含む）	コンクリート		I-58
				モルタル		I-58
	3-2-14-4	1	法枠工	現場打法枠工		I-59
				現場吹付法枠工		I-59
2	法枠工	プレキャスト法枠工			I-59	
					I-59	
3-2-14-6		アンカー工			I-59	
第15節 擁壁工（共通）	3-2-15-1		一般事項	場所打擁壁工		I-60
	3-2-15-2		プレキャスト擁壁工			I-60

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第15節 擁壁工（共通）	3-2-15-3		補強土壁工	補強土（テールアルメ）壁工法		I-61
				多数アンカー式補強土工法		I-61
				ジオテキスタイルを用いた補強土工法		I-61
	3-2-15-4		井桁ブロック工			I-61
第16節 浚渫工（共通）	3-2-16-3	1	浚渫船運転工	ポンプ浚渫船		I-62
		2	浚渫船運転工	グラブ浚渫船		I-62
第18設 床版工	3-2-18-2		床版工			I-63

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第1章 築堤・護岸						
第3節 計量盛土工	6-1-3-1		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-3
第4節 地盤改良工	6-1-4-2		表層安定処理工		3-2-7-4表層安定処理工	I-42
	6-1-4-3		パイルネット工		3-2-7-5パイルネット工	I-42
	6-1-4-4		バーチカルドレーン工		3-2-7-7バーチカルドレーン工	I-43
	6-1-4-5		締固め改良工		3-2-7-8締固め改良工	I-43
	6-1-4-6		固結工		3-2-7-9固結工	I-43
第5節 護岸基礎工	6-1-5-3		基礎工		3-2-4-3基礎工（護岸）	I-18
	6-1-5-4		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-5
第6節 矢板護岸工	6-1-6-3		笠コンクリート工		3-2-4-3基礎工（護岸）	I-18
	6-1-6-4		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-5
第7節 法覆護岸工	6-1-7-3		コンクリートブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	I-21
	6-1-7-4		護岸付属物工			I-64
	6-1-7-5		緑化ブロック工		3-2-5-4緑化ブロック工	I-22
	6-1-7-6		環境護岸ブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	I-21
	6-1-7-7		石積（張）工		3-2-5-5石積（張）工	I-22
	6-1-7-8		法枠工		3-2-14-4法枠工	I-59
	6-1-7-9		多自然型護岸工	巨石張り	3-2-3-26多自然型護岸工	I-13
				巨石積み	3-2-3-26多自然型護岸工	I-13
				かごマット	3-2-3-26多自然型護岸工	I-14
	6-1-7-10		吹付工		3-2-14-3吹付工	I-58
	6-1-7-11		植生工		3-2-14-2植生工	I-57
	6-1-7-12		覆土工		1-2-3-5法面整形工	I-2
	6-1-7-13		羽口工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-14
				ふとんかご	3-2-3-27羽口工	I-14
かご枠				3-2-3-27羽口工	I-14	
連節ブロック張り				3-2-5-3連節ブロック張り	I-21	
第8節 擁壁護岸工	6-1-8-3		場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-60
	6-1-8-4		プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁工	I-60
第9節 根固め工	6-1-9-3		根固めブロック工		3-2-3-17根固めブロック工	I-11
	6-1-9-5		沈床工		3-2-3-18沈床工	I-12
	6-1-9-6		捨石工		3-2-3-19捨石工	I-12
	6-1-9-7		かご工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-14
				ふとんかご	3-2-3-27羽口工	I-14
第10節 水制工	6-1-10-3		沈床工		3-2-3-18沈床工	I-12
	6-1-10-4		捨石工		3-2-3-19捨石工	I-12
	6-1-10-5		かご工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-14
				ふとんかご	3-2-3-27羽口工	I-14
	6-1-10-8		杭出し水制工			I-64
第11節 付帯道路工	6-1-11-3		路側防護柵工		3-2-3-8路側防護柵工	I-6
	6-1-11-5		アスファルト舗装工		3-2-6-7アスファルト舗装工	I-23
	6-1-11-6		コンクリート舗装工		3-2-6-12コンクリート舗装工	I-32

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第11節 付帯道路工	6-1-11-7		薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	I-36
	6-1-11-8		ブロック舗装工		3-2-6-14ブロック舗装工	I-38
	6-1-11-9		側溝工		3-2-3-29側溝工	I-15
	6-1-11-10		集水柵工		3-2-3-30集水柵工	I-16
	6-1-11-11		縁石工		3-2-3-5縁石工	I-5
	6-1-11-12		区画線工		3-2-3-9区画線工	I-7
第12節 付帯道路施設工	6-1-12-3		道路付属物工		3-2-3-10道路付属物工	I-7
	6-1-12-4		標識工		3-2-3-6小型標識工	I-5
第13節 光ケーブル配管工	6-1-13-3		配管工			I-64
	6-1-13-4		ハンドホール工			I-65
第2章 浚渫（川）						
第2節 浚渫工（ポンプ浚渫船）	6-2-3-2		浚渫船運転工（民船・官船）		3-2-16-3浚渫船運転工	I-62
第3節 浚渫工（グラブ浚渫船）	6-2-4-2		浚渫船運転工		3-2-16-3浚渫船運転工	I-62
第4節 浚渫工（バックホウ浚渫船）	6-2-5-2		浚渫船運転工		3-2-16-3浚渫船運転工	I-62
第3章 樋門・樋管						
第3節 軽量盛土工	6-3-3-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-3
第4節 地盤改良工	6-3-4-2		固結工		3-2-7-9固結工	I-43
第5節 樋門・樋管本体工	6-3-5-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-18
	6-3-5-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-19
	6-3-5-5		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-5
	6-3-5-6	1	函渠工	本体工		I-65
		2	函渠工	ヒューム管		I-65
				P C管		I-65
				コルゲートパイプ		I-65
				ダクタイル鋳鉄管		I-65
				P C函渠	3-2-3-28プレキャストカルバート工	I-15
6-3-5-7		翼壁工			I-66	
6-3-5-8		水叩工			I-66	
第6節 護床工	6-3-6-3		根固めブロック工		3-2-3-17根固めブロック工	I-11
	6-3-6-5		沈床工		3-2-3-18沈床工	I-12
	6-3-6-6		捨石工		3-2-3-19捨石工	I-12
	6-3-6-7		かご工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-14
				ふとんかご	3-2-3-27羽口工	I-14
第7節 水路工	6-3-7-3		側溝工		3-2-3-29側溝工	I-15
	6-3-7-4		集水柵工		3-2-3-30集水柵工	I-16
	6-3-7-5		暗渠工		3-2-3-29暗渠工	I-16
	6-3-7-6		樋門接続暗渠工		3-2-3-28プレキャストカルバート工	I-15
第8節 付属物設置工	6-3-8-3		防止柵工		3-2-3-7防止柵工	I-6
	6-3-8-7		階段工		3-2-3-22階段工	I-12
第4章 水門						
第3節 工場製作工	6-4-3-3		桁製作工		3-2-12-3桁製作工	I-49

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第3節 工場製作工	6-4-3-4		鋼製伸縮継手製作工		3-2-12-5鋼製伸縮継手製作工	I-53
	6-4-3-5		落橋防止装置製作工		3-2-12-6落橋防止装置製作工	I-53
	6-4-3-6		鋼製排水管製作工		3-2-12-10鋼製排水管製作工	I-55
	6-4-3-7		橋梁用防護柵製作工		3-2-12-7橋梁用防護柵製作工	I-53
	6-4-3-9		仮設材製作工		3-2-12-1仮設材製作工	I-48
	6-4-3-10		工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	I-55
第5節 軽量盛土工	6-4-5-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-3
第6節 水門本体工	6-4-6-4		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-18
	6-4-6-5		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-19
	6-4-6-6		矢板工(遮水矢板)		3-2-3-4矢板工	I-5
	6-4-6-7		床版工			I-66
	6-4-6-8		堰柱工			I-66
	6-4-6-9		門柱工			I-66
	6-4-6-10		ゲート操作台工			I-66
	6-4-6-11		胸壁工			I-66
第6節 水門本体工	6-4-6-12		翼壁工		6-3-5-7翼壁工	I-66
	6-4-6-13		水叩工		6-3-5-8水叩工	I-66
第7節 護床工	6-4-7-3		根固めブロック工		3-2-3-17根固めブロック工	I-11
	6-4-7-5		沈床工		3-2-3-18沈床工	I-12
	6-4-7-6		捨石工		3-2-3-19捨石工	I-12
	6-4-7-7		かご工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-14
				ふとんかご	3-2-3-27羽口工	I-14
第8節 付属物設置工	6-4-8-3		防止柵工		3-2-3-7防止柵工	I-6
	6-4-8-8		階段工		3-2-3-22階段工	I-12
第9節 鋼管理橋上部工	6-4-9-4		架設工(クレーン架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-56
	6-4-9-5		架設工(ケーブルクレーン架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-56
	6-4-9-6		架設工(ケーブルエレクション架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-56
	6-4-9-7		架設工(架設桁架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-56
	6-4-9-8		架設工(送出し架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-56
	6-4-9-9		架設工(トラベラークレーン架設)		3-2-13 架設工(鋼橋)	I-56
	6-4-9-10		支承工		10-4-5-10支承工	I-97
	第10節 橋梁現場塗装工	6-4-10-2		現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工
第11節 床版工	6-4-11-2		床版工		3-2-18-2床版工	I-63
第12節 橋梁付属物工(鋼管理橋)	6-4-12-2		伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	I-12
	6-4-12-4		地覆工		10-4-8-5地覆工	I-98
	6-4-12-5		橋梁用防護柵工		10-4-8-6橋梁用防護柵工	I-98
	6-4-12-6		橋梁用高欄工		10-4-8-7橋梁用高欄工	I-98
	6-4-12-7		検査路工		10-4-8-8検査路工	I-99
第14節 コンクリート管理橋上部工(PC橋)	6-4-14-2		プレテンション桁製作工(購入工)		3-2-3-12プレテンション桁製作工(購入工)	I-8

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第14節 コンクリート管理橋 上部工(PC橋)	6-4-14-3		ポストテンション桁 製作工		3-2-3-13ポストテンション 桁製作工	I-9
	6-4-14-4		プレキャストセグメ ント桁製作工(購入 工)		3-2-3-13プレキャストセグ メント桁製作工(購入 工)	I-9
	6-4-14-5		プレキャストセグメ ント主桁組立工		3-2-3-14プレキャストセグ メント主桁組立工	I-9
	6-4-14-6		支承工		10-4-5-10支承工	I-97
	6-4-14-7		架設工(クレーン架 設)		3-2-13架設工(コンクリ ート橋)	I-57
	6-4-14-8		架設工(架設桁架設)		3-2-13架設工(コンクリ ート橋)	I-57
	6-4-14-9		床版・横組工		3-2-18-2床版工	I-63
	6-4-14-10		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-98
第15節 コンクリート管理橋 上部工(PCホロー スラブ橋)	6-4-15-2		支承工		10-4-5-10支承工	I-97
	6-4-15-4		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-98
	6-4-15-5		PCホロースラブ製 作工		3-2-3-15PCホロースラブ 製作工	I-10
第16節 橋梁付属物工(コン クリート管理橋)	6-4-16-2		伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	I-12
	6-4-16-4		地覆工		10-4-8-5地覆工	I-98
	6-4-16-5		橋梁用防護柵工		10-4-8-6橋梁用防護柵工	I-98
	6-4-16-6		橋梁用高欄工		10-4-8-7橋梁用高欄工	I-98
	6-4-16-7		検査路工		10-4-8-8検査路工	I-99
第18節 舗装工	6-4-18-5		アスファルト舗装工		3-2-6-7アスファルト舗装工	I-23
	6-4-18-6		半たわみ性舗装工		3-2-6-8半たわみ性舗装工	I-26
	6-4-18-7		排水性舗装工		3-2-6-9排水性舗装工	I-28
	6-4-18-8		透水性舗装工		3-2-6-10透水性舗装工	I-30
	6-4-18-9		グースアスファルト 舗装工		3-2-6-11グースアスファ ルト舗装工	I-31
	6-4-18-10		コンクリート舗装工		3-2-6-12コンクリート舗 装工	I-32
	6-4-18-11		薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	I-36
	6-4-18-12		ブロック舗装工		3-2-6-14ブロック舗装工	I-38
第5章 堰						
第3節 工場製作工	6-5-3-3		刃口金物製作工		3-2-12-1刃口金物製作工	I-48
	6-5-3-4		桁製作工		3-2-12-3桁製作工	I-49
	6-5-3-5		検査路製作工		3-2-12-4検査路製作工	I-53
	6-5-3-6		鋼製伸縮継手製作工		3-2-12-5鋼製伸縮継手製 作工	I-53
	6-5-3-7		落橋防止装置製作工		3-2-12-6落橋防止装置製 作工	I-53
	6-5-3-8		鋼製排水管製作工		3-2-12-10鋼製排水管製 作工	I-55
	6-5-3-9		プレビーム用桁製作 工		3-2-12-9プレビーム用桁 製作工	I-54
	6-5-3-10		橋梁用防護柵製作工		3-2-12-7橋梁用防護柵製 作工	I-53
	6-5-3-12		アンカーフレーム製 作工		3-2-12-8アンカーフレー ム製作工	I-54

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第3節 工場製作工	6-5-3-13		仮設材製作工		3-2-12-1仮設材製作工	I-48
	6-5-3-14		工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	I-55
第5節 計量盛土工	6-5-5-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-3
第6節 可動堰本体工	6-5-6-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-18
	6-5-6-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-19
	6-5-6-5		オープンケーソン基礎工		3-2-4-7オープンケーソン基礎工	I-20
	6-5-6-6		ニューマチックケーソン基礎工		3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	I-20
	6-5-6-7		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-5
	6-5-6-8		床版工		6-4-6-7床版工	I-66
	6-5-6-9		堰柱工		6-4-6-8堰柱工	I-66
	6-5-6-10		門柱工		6-4-6-9門柱工	I-66
	6-5-6-11		ゲート操作台工		6-4-6-10ゲート操作台工	I-66
	6-5-6-12		水叩工		6-3-5-8水叩工	I-66
	6-5-6-13		閘門工			I-66
	6-5-6-14		土砂吐工			I-66
	6-5-6-15		取付擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-60
第7節 固定堰本体工	6-5-7-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-18
	6-5-7-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-19
	6-5-7-5		オープンケーソン基礎工		3-2-4-7オープンケーソン基礎工	I-20
	6-5-7-6		ニューマチックケーソン基礎工		3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	I-20
	6-5-7-7		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-5
	6-5-7-8		堰本体工			I-66
	6-5-7-9		水叩工			I-66
	6-5-7-10		土砂吐工			I-66
	6-5-7-11		取付擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-60
第8節 魚道工	6-5-8-3		魚道本体工			I-67
第9節 管理橋下部工	6-5-9-2		管理橋橋台工			I-67
第10節 鋼管理橋上部工	6-5-10-4		架設工（クレーン架設）		3-2-13 架設工（鋼橋）	I-56
	6-5-10-5		架設工（ケーブルクレーン架設）		3-2-13 架設工（鋼橋）	I-56
	6-5-10-6		架設工（ケーブルエレクション架設）		3-2-13 架設工（鋼橋）	I-56
	6-5-10-7		架設工（架設桁架設）		3-2-13 架設工（鋼橋）	I-56
	6-5-10-8		架設工（送出し架設）		3-2-13 架設工（鋼橋）	I-56
	6-5-10-9		架設工（トラベラークレーン架設）		3-2-13 架設工（鋼橋）	I-56
	6-5-10-10		支承工		10-4-5-10支承工	I-97
第11節 橋梁現場塗装工	6-5-11-2		現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工	I-17
第12節 床版工	6-5-12-2		床版工		3-2-18-2床版工	I-63
第13節 橋梁付属物工（鋼管理橋）	6-5-13-2		伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	I-12
	6-5-13-4		地覆工		10-4-8-5地覆工	I-98

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第13節 橋梁付属物工(鋼管管理橋)	6-5-13-5		橋梁用防護柵工		10-4-8-6橋梁用防護柵工	I-98
	6-5-13-6		橋梁用高欄工		10-4-8-7橋梁用高欄工	I-98
	6-5-13-7		検査路工		10-4-8-8検査路工	I-99
第15節 コンクリート管理橋上部工(PC橋)	6-5-15-2		プレテンション桁製作工(購入工)		3-2-3-12プレテンション桁製作工(購入工)	I-8
	6-5-15-3		ポストテンション桁製作工		3-2-3-13ポストテンション桁製作工	I-9
	6-5-15-4		プレキャストセグメント桁製作工(購入工)		3-2-3-13プレキャストセグメント桁製作工(購入工)	I-9
	6-5-15-5		プレキャストセグメント主桁組立工		3-2-3-14プレキャストセグメント主桁組立工	I-9
	6-5-15-6		支承工		10-4-5-10支承工	I-97
	6-5-15-7		架設工(クレーン架設)		3-2-13架設工(コンクリート橋)	I-57
	6-5-15-8		架設工(架設桁架設)		3-2-13架設工(コンクリート橋)	I-57
	6-5-15-9		床版・横組工		3-2-18-2床版工	I-63
	6-5-15-10		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-98
第16節 コンクリート管理橋上部工(PCホロースラブ橋)	6-5-16-3		支承工		10-4-5-10支承工	I-97
	6-5-16-4		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-98
	6-5-16-5		PCホロースラブ製作工		3-2-3-15PCホロースラブ製作工	I-10
第17節 コンクリート管理橋上部工(PC箱桁橋)	6-5-17-3		支承工		10-4-5-10支承工	I-97
	6-5-17-4		PC箱桁製作工		3-2-3-16PC箱桁製作工	I-10
	6-5-17-5		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-98
第18節 橋梁付属物工(コンクリート管理橋)	6-5-18-2		伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	I-12
	6-5-18-4		地覆工		10-4-8-5地覆工	I-98
	6-5-18-5		橋梁用防護柵工		10-4-8-6橋梁用防護柵工	I-98
	6-5-18-6		橋梁用高欄工		10-4-8-7橋梁用高欄工	I-98
	6-5-18-7		検査路工		10-4-8-8検査路工	I-99
第20節 付属物設置工	6-5-20-3		防止柵工		3-2-3-7防止柵工	I-6
	6-5-20-7		階段工		3-2-3-22階段工	I-12
第6章 排水機場						
第3節 軽量盛土工	6-6-3-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-3
第4節 機場本体工	6-6-4-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-18
	6-6-4-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-19
	6-6-4-5		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-5
	6-6-4-6		本体工			I-68
	6-6-4-7		燃料貯油槽工			I-68
第5節 沈砂池工	6-6-5-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-18

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第5節 沈砂池工	6-6-5-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-19
	6-6-5-5		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-5
	6-6-5-6		場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-60
	6-6-5-7		コンクリート床版工			I-68
	6-6-5-8		ブロック床版工		3-2-3-17根固めブロック工	I-11
	6-6-5-9		場所打水路工		3-2-3-29場所打水路工	I-15
第6節 吐出水槽工	6-6-6-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-18
	6-6-6-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-19
	6-6-6-5		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-5
	6-6-6-6		本体工		6-6-4-6本体工	I-68
第7章 床止め・床固め						
第3節 軽量盛土工	6-7-3-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-3
第4節 床止め工	6-7-4-4		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-18
	6-7-4-5		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-5
	6-7-4-6		本体工	床固め本体工		I-69
				植石張り	3-2-5-5石積(張)工	I-22
				根固めブロック	3-2-3-17根固めブロック工	I-11
	6-7-4-7		取付擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-60
6-7-4-8		水叩工	水叩工		I-69	
			巨石張り	3-2-3-26多自然型護岸工	I-13	
			根固めブロック	3-2-3-17根固めブロック工	I-11	
第5節 床固め工	6-7-5-4		本堤工		6-7-4-6本体工	I-69
	6-7-5-5		垂直壁工		6-7-4-6本体工	I-69
	6-7-5-6		側壁工			I-69
	6-7-5-7		水叩工		6-7-4-8水叩工	I-69
第6節 山留擁壁工	6-7-6-3		コンクリート擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-60
	6-7-6-4		ブロック積擁壁工		3-2-5-3コンクリートブロック工	I-21
	6-7-6-5		石積擁壁工		3-2-5-5石積(張)工	I-22
	6-7-6-6		山留擁壁基礎工		3-2-4-3基礎工(護岸)	I-18
第8章 河川維持						
第7節 路面補修工	6-8-7-3		不陸整正工		1-2-3-6堤防天端工	I-2
	6-8-7-4		コンクリート舗装補修工		3-2-6-12コンクリート舗装工	I-32
	6-8-7-5		アスファルト舗装補修工		3-2-6-7アスファルト舗装工	I-23
第8節 付属物復旧工	6-8-8-2		付属物復旧工		3-2-3-8路側防護柵工	I-6
第9節 付属物設置工	6-8-9-3		防護柵工		3-2-3-7防止柵工	I-6
	6-8-9-5		付属物設置工		3-2-3-10道路付属物工	I-7
第10節 光ケーブル配管工	6-8-10-3		配管工		6-1-13-3配管工	I-64
	6-8-10-4		ハンドホール工		6-1-13-4ハンドホール工	I-65
第12節 植栽維持工	6-8-12-3		樹木・芝生管理工		3-2-14-2植生工	I-57
第9章 河川修繕						
第3節 軽量盛土工	6-9-3-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-3
第4節 腹付工	6-9-4-2		覆土工		1-2-3-5法面整形工	I-2
	6-9-4-3		植生工		3-2-14-2植生工	I-57

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第5節 側帯工	6-9-5-2		縁切工	じゃかご工	3-2-3-27羽口工	I-14
				連節ブロック張り	3-2-5-3コンクリートブロック工(連節ブロック張り)	I-21
				コンクリートブロック張り	3-2-5-3コンクリートブロック工	I-21
				石張り工	3-2-5-5石積(張)工	I-22
	6-9-5-3		植生工		3-2-14-2植生工	I-57
第6節 堤脚保護工	6-9-6-3		石積工		3-2-5-5石積(張)工	I-22
	6-9-6-4		コンクリートブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	I-21
第7節 管理用通路工	6-9-7-2		防護柵工		3-2-3-7防止柵工	I-6
	6-9-7-4		路面切削工		3-2-6-15路面切削工	I-40
	6-9-7-5		舗装打換え工		3-2-6-16舗装打換え工	I-40
	6-9-7-6		オーバーレイ工		3-2-6-17オーバーレイ工	I-40
	6-9-7-7		排水構造物工	プレキャストU型側溝・管(函)渠	3-2-3-29側溝工	I-15
				集水柵工	3-2-3-30集水柵工	I-16
	6-9-7-8		道路付属物工	歩車道境界ブロック	3-2-3-5縁石工	I-5
第8節 現場塗装工	6-9-8-3		付属物塗装工		3-2-3-31現場塗装工	I-17
	6-9-8-4		コンクリート面塗装工		3-2-3-11コンクリート面塗装工	I-7

【第7編 河川海岸編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第1章 堤防・護岸						
第3節 軽量盛土工	7-1-3-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-3
第4節 地盤改良工	7-1-4-2		表層安定処理工		3-2-7-4表層安定処理工	I-42
	7-1-4-3		パイルネット工		3-2-7-5パイルネット工	I-42
	7-1-4-4		バーチカルドレーン工		3-2-7-7バーチカルドレーン工	I-43
	7-1-4-5		締固め改良工		3-2-7-8締固め改良工	I-43
	7-1-4-6		固結工		3-2-7-9固結工	I-43
第5節 護岸基礎工	7-1-5-4		捨石工		3-2-3-19捨石工	I-12
	7-1-5-5		場所打コンクリート工			I-70
	7-1-5-6		海岸コンクリートブロック工			I-70
	7-1-5-7		笠コンクリート工		3-2-4-3基礎工(護岸)	I-18
	7-1-5-8		基礎工		3-2-4-3基礎工(護岸)	I-18
	7-1-5-9		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-5
第6節 護岸工	7-1-6-3		石積(張)工		3-2-5-5石積(張)工	I-22
	7-1-6-4		海岸コンクリートブロック工			I-70
	7-1-6-5		コンクリート被覆工			I-71
第7節 擁壁工	7-1-7-3		場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-60
第8節 天端被覆工	7-1-8-2		コンクリート被覆工			I-71
第9節 波返工	7-1-9-3		波返工			I-71
第10節 裏法被覆工	7-1-10-2		石積(張)工		3-2-5-5石積(張)工	I-22
	7-1-10-3		コンクリートブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	I-21
	7-1-10-4		コンクリート被覆工		7-1-6-5コンクリート被覆工	I-71
	7-1-10-5		法枠工		3-2-14-4法枠工	I-59
第11節 カルバート工	7-1-11-3		プレキャストカルバート工		3-2-3-28プレキャストカルバート工	I-15
第12節 排水構造物工	7-1-12-3		側溝工		3-2-3-29側溝工	I-15
	7-1-12-4		集水樹工		3-2-3-30集水樹工	I-16
	7-1-12-5		管渠工	プレキャストパイプ	3-2-3-29暗渠工	I-16
				プレキャストボックス	3-2-3-29暗渠工	I-16
				コルゲートパイプ	3-2-3-29暗渠工	I-16
				タグタイル铸铁管	3-2-3-29暗渠工	I-16
7-1-12-6		場所打水路工		3-2-3-29場所打水路工	I-15	
第13節 付属物設置工	7-1-13-3		防止柵工		3-2-3-7防止柵工	I-6
	7-1-13-6		階段工		3-2-3-22階段工	I-12
第14節 付帯道路工	7-1-14-3		路側防護柵工		3-2-3-8路側防護柵工	I-6
	7-1-14-5		アスファルト舗装工		3-2-6-7アスファルト舗装工	I-23
	7-1-14-6		コンクリート舗装工		3-2-6-12コンクリート舗装工	I-32
	7-1-14-7		薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	I-36
	7-1-14-8		側溝工		3-2-3-29側溝工	I-15
	7-1-14-9		集水樹工		3-2-3-30集水樹工	I-16
	7-1-14-10		縁石工		3-2-3-5縁石工	I-5

【第7編 河川海岸編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第14節 付帯道路工	7-1-14-11		区画線工		3-2-3-9区画線工	I-7	
第15節 付帯道路施設工	7-1-15-3		道路付属物工		3-2-3-10道路付属物工	I-7	
	7-1-15-4		小型標識工		3-2-3-6小型標識工	I-5	
第2章 突堤・人工岬							
第3節 軽量盛土工	7-2-3-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-3	
第4節 突堤基礎工	7-2-4-4		捨石工			I-72	
	7-2-4-5		吸出し防止工			I-72	
第5節 突堤本体工	7-2-5-2		捨石工			I-72	
	7-2-5-5		海岸コンクリートブロック工			I-73	
	7-2-5-6		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-18	
	7-2-5-7		詰杭工		3-2-4-4既製杭工	I-18	
	7-2-5-8		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-5	
	7-2-5-9		石枠工			I-73	
	7-2-5-10		場所打コンクリート工			I-73	
	7-2-5-11	1	ケーソン工	ケーソン工製作			I-74
		2	ケーソン工	ケーソン工据付			I-74
	7-2-5-12	3	ケーソン工	突堤上部工 (場所打コンクリート) (海岸コンクリートブロック)			I-74
7-2-5-12	1	セルラー工	セルラー工製作			I-75	
	2	セルラー工	セルラー工据付			I-75	
	3	セルラー工	突堤上部工 (場所打コンクリート) (海岸コンクリートブロック)			I-75	
第6節 根固め工	7-2-6-2		捨石工			I-75	
	7-2-6-3		根固めブロック工			I-76	
第7節 消波工	7-2-7-2		捨石工		3-2-3-19捨石工	I-12	
	7-2-7-3		消波ブロック工			I-76	
第3章 海域堤防（人工リーフ、離岸堤、潜堤）							
第3節 海域堤基礎工	7-3-3-3		捨石工			I-76	
	7-3-3-4		吸出し防止工		7-2-4-5吸出し防止工	I-72	
第4節 海域堤本体工	7-3-4-2		捨石工		3-2-3-19捨石工	I-12	
	7-3-4-3		海岸コンクリートブロック工		7-2-5-5海岸コンクリートブロック工	I-73	
	7-3-4-4		ケーソン工		7-2-5-11ケーソン工	I-74	
	7-3-4-5		セルラー工		7-2-5-12セルラー工	I-75	
	7-3-4-6		場所打コンクリート工		7-2-5-10場所打ちコンクリート工	I-73	
第4章 浚渫（海）							
第2節 浚渫工（ポンプ浚渫船）	7-4-2-2		浚渫船運転工		3-2-16-3浚渫船運転工	I-62	
第3節 浚渫工（グラブ船）	7-4-3-2		浚渫船運転工		3-2-16-3浚渫船運転工	I-62	

【第7編 河川海岸編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第5章 養浜						
第2節 軽量盛土工	7-5-2-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-3
第3節 砂止工	7-5-3-2		根固めブロック工		7-2-6-3根固めブロック工	I-76

【第8編 砂防編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第1章 砂防えん堤						
第3節 工場製作工	8-1-3-3		鋼製えん堤製作工		3-2-12-3-3桁製作工 (鋼製えん堤製作工(仮組立時))	I-52
	8-1-3-4		鋼製えん堤仮設材製作工			I-77
	8-1-3-5		工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	I-55
第5節 軽量盛土工	8-1-5-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-3
第6節 法面工	8-1-6-2		植生工		3-2-14-2植生工	I-57
	8-1-6-3		法面吹付工		3-2-14-3吹付工	I-58
	8-1-6-4		法枠工		3-2-14-4法枠工	I-59
	8-1-6-6		アンカー工		3-2-14-6アンカー工	I-59
	8-1-6-7		かご工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-14
ふとんかご				3-2-3-27羽口工	I-14	
第8節 コンクリートえん堤工	8-1-8-4		コンクリートえん堤本体工			I-77
	8-1-8-5		コンクリート副えん堤工		8-1-8-4コンクリート堰堤本体工	I-77
	8-1-8-6		コンクリート側壁工			I-77
	8-1-8-8		水叩工			I-78
第9節 鋼製えん堤工	8-1-9-5		鋼製えん堤本体工	不透過型		I-78
				透過型		I-79
	8-1-9-6		鋼製側壁工			I-80
	8-1-9-7		コンクリート側壁工		8-1-8-6コンクリート側壁工	I-77
	8-1-9-9		水叩工		8-1-8-8水叩工	I-78
8-1-9-10		現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工	I-17	
第10節 護床工・根固め工	8-1-10-4		根固めブロック工		3-2-3-17根固めブロック工	I-11
	8-1-10-6		沈床工		3-2-3-18沈床工	I-12
	8-1-10-7		かご工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-14
				ふとんかご	3-2-3-27羽口工	I-14
第11節 砂防えん堤付属物設置工	8-1-11-3		防止柵工		3-2-3-7防止柵工	I-6
第12節 付帯道路工	8-1-12-3		路側防護柵工		3-2-3-8路側防護柵工	I-6
	8-1-12-5		アスファルト舗装工		3-2-6-7アスファルト舗装工	I-23
	8-1-12-6		コンクリート舗装工		3-2-6-12コンクリート舗装工	I-32
	8-1-12-7		薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	I-36
	8-1-12-8		側溝工		3-2-3-29側溝工	I-15
	8-1-12-9		集水樹工		3-2-3-30集水樹工	I-16
	8-1-12-10		縁石工		3-2-3-5縁石工	I-5
	8-1-12-11		区画線工		3-2-3-9区画線工	I-7
第13節 付帯道路施設工	8-1-13-3		道路付属物工		3-2-3-10道路付属物工	I-7
	8-1-13-4		小型標識工		3-2-3-6小型標識工	I-5
第2章 流路						
第3節 軽量盛土工	8-2-3-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-3
第4節 流路護岸工	8-2-4-4		基礎工(護岸)		3-2-4-3基礎工(護岸)	I-18
	8-2-4-5		コンクリート擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-60

【第8編 砂防編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第4節 流路護岸工	8-2-4-6		ブロック積擁壁工		3-2-5-3コンクリートブロック工	I-21
	8-2-4-7		石積擁壁工		3-2-5-5石積(張)工	I-22
	8-2-4-8		護岸付属物工		6-1-7-4護岸付属物工	I-64
	8-2-4-9		植生工		3-2-14-2植生工	I-57
第5節 床固め工	8-2-5-4		床固め本体工		8-1-8-4コンクリート堰堤本体工	I-77
	8-2-5-5		垂直壁工		8-1-8-4コンクリート堰堤本体工	I-77
	8-2-5-6		側壁工		8-1-8-6コンクリート側壁工	I-77
	8-2-5-7		水叩工		8-1-8-8水叩工	I-78
	8-2-5-8		魚道工			I-80
第6節 根固め・水制工	8-2-6-4		根固めブロック工		3-2-3-17根固めブロック工	I-11
	8-2-6-6		捨石工		3-2-3-19捨石工	I-12
	8-2-6-7		かご工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-14
				ふとんかご	3-2-3-27羽口工	I-14
かごマット				3-2-3-26多自然型護岸工	I-13	
第7節 流路付属物設置工	8-2-7-2		階段工		3-2-3-22階段工	I-12
	8-2-7-3		防止柵工		3-2-3-7防止柵工	I-6
第3章 斜面对策						
第3節 軽量盛土工	8-3-3-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-3
第4節 法面工	8-3-4-2		植生工		3-2-14-2植生工	I-57
	8-3-4-3		吹付工		3-2-14-3吹付工	I-58
	8-3-4-4		法枠工		3-2-14-4法枠工	I-59
	8-3-4-5		かご工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-14
				ふとんかご	3-2-3-27羽口工	I-14
	8-3-4-6		アンカー工(プレキャストコンクリート板)		3-2-14-6アンカー工	I-59
8-3-4-7		抑止アンカー工		3-2-14-6アンカー工	I-59	
第5節 擁壁工	8-3-5-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-18
	8-3-5-4		場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-60
	8-3-5-5		プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁工	I-60
	8-3-5-6		補強土壁工		3-2-15-3補強土壁工	I-61
	8-3-5-7		井桁ブロック工		3-2-15-4井桁ブロック工	I-61
	8-3-5-8		落石防護工		10-1-11-5落石防護柵工	I-87
第6節 山腹水路工	8-3-6-3		山腹集水路・排水路工		3-2-3-29場所打水路工	I-15
	8-3-6-4		山腹明暗渠工			I-80
	8-3-6-5		山腹暗渠工		3-2-3-29暗渠工	I-16
	8-3-6-6		現場打水路工		3-2-3-29場所打水路工	I-15
	8-3-6-7		集水柵工		3-2-3-30集水柵工	I-16
第7節 地下水排除工	8-3-7-4		集排水ボーリング工			I-81
	8-3-7-5		集水井工			I-81
第8節 地下水遮断工	8-3-8-3		場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-60
	8-3-8-4		固結工		3-2-7-9固結工	I-43

【第8編 砂防編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第8節 地下水遮断工	8-3-8-5		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-5
第9節 抑止杭工	8-3-9-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-18
	8-3-9-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-19
	8-3-9-5		シャフト工（深礎工）		3-2-4-6深礎工	I-19
	8-3-9-6		合成杭工			I-81

【第9編 ダム編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第1章 コンクリートダム						
第4節 ダムコンクリート工	9-1-4		コンクリートダム工	本体		I-82
	9-1-4		コンクリートダム工	水叩		I-82
	9-1-4		コンクリートダム工	副ダム		I-83
	9-1-4		コンクリートダム工	導流壁		I-84
第2章 フィルダム						
第4節 盛立工	9-2-4-5		コアの盛立			I-85
	9-2-4-6		フィルターの盛立			I-85
	9-2-4-7		ロックの盛立			I-85
	9-2		フィルダム (洪水吐)			I-86
第3章 基礎グラウチング						
第3節 ボーリング工	9-3-3		ボーリング工			I-86

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第1章 道路改良						
第3節 工場製作工	10-1-3-2		遮音壁支柱製作工	遮音壁支柱製作工		I-87
				工場塗装工	3-2-12-11工場塗装工	I-55
第4節 地盤改良工	10-1-4-2		路床安定処理工		3-2-7-2路床安定処理工	I-41
	10-1-4-3		置換工		3-2-7-3置換工	I-41
	10-1-4-4		サンドマット工		3-2-7-6サンドマット工	I-42
	10-1-4-5		バーチカルドレーン工		3-2-7-7バーチカルドレーン工	I-43
	10-1-4-6		締固め改良工		3-2-7-8締固め改良工	I-43
	10-1-4-7		固結工		3-2-7-9固結工	I-43
第5節 法面工	10-1-5-2		植生工		3-2-14-2植生工	I-57
	10-1-5-3		法面吹付工		3-2-14-3吹付工	I-58
	10-1-5-4		法枠工		3-2-14-4法枠工	I-59
	10-1-5-6		アンカー工		3-2-14-6アンカー工	I-59
	10-1-5-7		かご工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-14
				ふとんかご	3-2-3-27羽口工	I-14
第6節 軽量盛土工	10-1-6-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-3
第7節 擁壁工	10-1-7-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-18
	10-1-7-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-19
	10-1-7-5		場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-60
	10-1-7-6		プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁工	I-60
	10-1-7-7		補強土壁工	補強土（テールアルメ）壁工法	3-2-15-3補強土壁工	I-61
				多数アンカー式補強土工法	3-2-15-3補強土壁工	I-61
				ジオテキスタイルを用いた補強土工法	3-2-15-3補強土壁工	I-61
	10-1-7-8		井桁ブロック工		3-2-15-4井桁ブロック工	I-61
第8節 石・ブロック積（張）工	10-1-8-3		コンクリートブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	I-21
	10-1-8-4		石積（張）工		3-2-5-5石積（張）工	I-22
第9節 カルバート工	10-1-9-4		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-18
	10-1-9-5		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-19
	10-1-9-6		場所打函渠工			I-87
	10-1-9-7		プレキャストカルバート工		3-2-3-28プレキャストカルバート工	I-15
第10節 排水構造物工（小型水路工）	10-1-10-3		側溝工		3-2-3-29側溝工	I-15
	10-1-10-4		管渠工		3-2-3-29側溝工	I-15
	10-1-10-5		集水樹・マンホール工		3-2-3-30集水樹工	I-16
	10-1-10-6		地下排水工		3-2-3-29暗渠工	I-16
	10-1-10-7		場所打水路工		3-2-3-29場所打水路工	I-15
	10-1-10-8		排水工（小段排水・縦排水）		3-2-3-29側溝工	I-15
第11節 落石雪害防止工	10-1-11-4		落石防止網工			I-87
	10-1-11-5		落石防護柵工			I-87

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第11節 落石雪害防止工	10-1-11-6		防雪柵工			I-88
	10-1-11-7		雪崩予防柵工			I-88
第12節 遮音壁工	10-1-12-4		遮音壁基礎工			I-88
	10-1-12-5		遮音壁本体工			I-88
第2章 舗装						
第3節 地盤改良工	10-2-3-2		路床安定処理工		3-2-7-2路床安定処理工	I-41
	10-2-3-3		置換工		3-2-7-3置換工	I-41
第4節 舗装工	10-2-4-5		アスファルト舗装工		3-2-6-7アスファルト舗装工	I-23
	10-2-4-6		半たわみ性舗装工		3-2-6-8半たわみ性舗装工	I-26
	10-2-4-7		排水性舗装工		3-2-6-9排水性舗装工	I-28
	10-2-4-8		透水性舗装工		3-2-6-10透水性舗装工	I-30
	10-2-4-9		グースアスファルト舗装工		3-2-6-11グースアスファルト舗装工	I-31
	10-2-4-10		コンクリート舗装工		3-2-6-12コンクリート舗装工	I-32
	10-2-4-11		薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	I-36
	10-2-4-12		ブロック舗装工		3-2-6-14ブロック舗装工	I-38
	10-2-4		歩道路盤工			I-89
	10-2-4		取合舗装路盤工			I-89
	10-2-4		路肩舗装路盤工			I-89
	10-2-4		歩道舗装工			I-89
	10-2-4		取合舗装工			I-89
	10-2-4		路肩舗装工			I-89
	10-2-4		表層工			I-89
第5節 排水構造物工（路面排水工）	10-2-5-3		側溝工		3-2-3-29側溝工	I-15
	10-2-5-4		管渠工		3-2-3-29側溝工	I-15
	10-2-5-5		集水樹（街渠樹）・マンホール工		3-2-3-30集水樹工	I-16
	10-2-5-6		地下排水工		3-2-3-29暗渠工	I-16
	10-2-5-7		場所打水路工		3-2-3-29場所打水路工	I-15
	10-2-5-8		排水工（小段排水・縦排水）		3-2-3-29側溝工	I-15
	10-2-5-9		排水性舗装用路肩排水工			I-90
第6節 縁石工	10-2-6-3		縁石工		3-2-3-5縁石工	I-5
第7節 踏掛版工	10-2-7-4		踏掛版工	コンクリート工		I-90
				ラバーシュー		I-90
				アンカーボルト		I-90
第8節 防護柵工	10-2-8-3		路側防護柵工		3-2-3-8路側防護柵工	I-6
	10-2-8-4		防止柵工		3-2-3-7防止柵工	I-6
	10-2-8-5		ボックスビーム工		3-2-3-8路側防護柵工	I-6
	10-2-8-6		車止めポスト工		3-2-3-7防止柵工	I-6
第9節 標識工	10-2-9-3		小型標識工		3-2-3-6小型標識工	I-5
	10-2-9-4	1	大型標識工	標識基礎工		I-90
		2	大型標識工	標識柱工		I-90

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第10節 区画線工	10-2-10-2		区画線工		3-2-3-9区画線工	I-7
第12節 道路付属施設工	10-2-12-4		道路付属物工		3-2-3-10道路付属物工	I-7
	10-2-12-5	1	ケーブル配管工			I-91
		2	ケーブル配管工	ハンドホール		I-91
	10-2-12-6		照明工	照明柱基礎工		I-91
第13節 橋梁付属物工	10-2-13-2		伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	I-13
第3章 橋梁下部						
第3節 工場製作工	10-3-3-2		刃口金物製作工		3-2-12-1刃口金物製作工	I-48
	10-3-3-3		鋼製橋脚製作工			I-92
	10-3-3-4		アンカーフレーム製作工		3-2-12-8アンカーフレーム製作工	I-54
	10-3-3-5		工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	I-55
第5節 軽量盛土工	10-3-5-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-3
第6節 橋台工	10-3-6-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-18
	10-3-6-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-19
	10-3-6-5		深礎工		3-2-4-6深礎工	I-19
	10-3-6-6		オープンケーソン基礎工		3-2-4-7オープンケーソン基礎工	I-20
	10-3-6-7		ニューマチックケーソン基礎工		3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	I-20
	10-3-6-8		橋台躯体工			I-93
第7節 RC橋脚工	10-3-7-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-18
	10-3-7-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-19
	10-3-7-5		深礎工		3-2-4-6深礎工	I-19
	10-3-7-6		オープンケーソン基礎工		3-2-4-7オープンケーソン基礎工	I-20
	10-3-7-7		ニューマチックケーソン基礎工		3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	I-20
	10-3-7-8		鋼管矢板基礎工		3-2-4-9鋼管矢板基礎工	I-20
	10-3-7-9	1	橋脚躯体工	張出式		I-94
				重力式		I-94
				半重力式		I-94
2	橋脚躯体工	ラーメン式		I-95		
第8節 鋼製橋脚工	10-3-8-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-18
	10-3-8-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-19
	10-3-8-5		深礎工		3-2-4-6深礎工	I-19
	10-3-8-6		オープンケーソン基礎工		3-2-4-7オープンケーソン基礎工	I-20
	10-3-8-7		ニューマチックケーソン基礎工		3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	I-20
	10-3-8-8		鋼管矢板基礎工		3-2-4-9鋼管矢板基礎工	I-20
	10-3-8-9	1	橋脚フーチング工	I型・T型		I-95
				門型		I-96
	10-3-8-10	1	橋脚架設工	I型・T型		I-96
				門型		I-96
	2	橋脚架設工	門型		I-96	
10-3-8-11		現場継手工			I-96	

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第8節 鋼製橋脚工	10-3-8-12		現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工	I-17	
第9節 護岸基礎工	10-3-9-3		基礎工		3-2-4-3基礎工（護岸）	I-18	
	10-3-9-4		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-5	
第10節 矢板護岸工	10-3-10-3		笠コンクリート工		3-2-4-3基礎工（護岸）	I-18	
	10-3-10-4		矢板工		3-2-3-4矢板工	I-5	
第11節 法覆護岸工	10-3-11-2		コンクリートブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	I-21	
	10-3-11-3		護岸付属物工		6-1-7-4護岸付属物工	I-64	
	10-3-11-4		緑化ブロック工		3-2-5-4緑化ブロック工	I-22	
	10-3-11-5		環境護岸ブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	I-21	
	10-3-11-6		石積（張）工		3-2-5-5石積（張）工	I-22	
	10-3-11-7		法枠工		3-2-14-4法枠工	I-59	
	10-3-11-8			多自然型護岸工	巨石張り	3-2-3-26多自然型護岸工	I-13
				多自然型護岸工	巨石積み	3-2-3-26多自然型護岸工	I-13
				多自然型護岸工	かごマット	3-2-3-26多自然型護岸工	I-14
	10-3-11-9		吹付工		3-2-14-3吹付工	I-58	
	10-3-11-10		植生工		3-2-14-2植生工	I-57	
	10-3-11-11		覆土工		1-2-3-5法面整形工	I-2	
	10-3-11-12			羽口工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-14
					ふとんかご	3-2-3-27羽口工	I-14
かご枠					3-2-3-27羽口工	I-14	
連節ブロック張り					3-2-5-3連節ブロック張り	I-21	
第12節 擁壁護岸工	10-3-12-3		場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-60	
	10-3-12-4		プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁工	I-60	
第4章 鋼橋上部							
第3節 工場製作工	10-4-3-3		桁製作工		3-2-12-3桁製作工	I-49	
	10-4-3-4		検査路製作工		3-2-12-4検査路製作工	I-53	
	10-4-3-5		鋼製伸縮継手製作工		3-2-12-5鋼製伸縮継手製作工	I-53	
	10-4-3-6		落橋防止装置製作工		3-2-12-6落橋防止装置製作工	I-53	
	10-4-3-7		鋼製排水管製作工		3-2-12-10鋼製排水管製作工	I-55	
	10-4-3-8		橋梁用防護柵製作工		3-2-12-7橋梁用防護柵製作工	I-53	
	10-4-3-9		橋梁用高欄製作工			I-97	
	10-4-3-10		横断歩道橋製作工		3-2-12-3桁製作工	I-49	
	10-4-3-12		アンカーフレーム製作工		3-2-12-8アンカーフレーム製作工	I-54	
	10-4-3-13		工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	I-55	
第5節 鋼橋架設工	10-4-5-4		架設工（クレーン架設）		3-2-13 架設工（鋼橋）	I-56	
	10-4-5-5		架設工（ケーブルクレーン架設）		3-2-13 架設工（鋼橋）	I-56	
	10-4-5-6		架設工（ケーブルエレクション架設）		3-2-13 架設工（鋼橋）	I-56	

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第5節 鋼橋架設工	10-4-5-7		架設工（架設桁架設）		3-2-13 架設工（鋼橋）	I-57
	10-4-5-8		架設工（送出し架設）		3-2-13 架設工（鋼橋）	I-56
	10-4-5-9		架設工（トラベラー クレーン架設）		3-2-13 架設工（鋼橋）	I-56
	10-4-5-10	1	支承工	鋼製支承		I-97
2		支承工	ゴム支承		I-97	
第6節 橋梁現場塗装工	10-4-6-3		現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工	I-17
第7節 床版工	10-4-7-2		床版工		3-2-18-2床版工	I-63
第8節 橋梁付属物工	10-4-8-2		伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	I-12
	10-4-8-3		落橋防止装置工			I-98
	10-4-8-5		地覆工			I-98
	10-4-8-6		橋梁用防護柵工			I-98
	10-4-8-7		橋梁用高欄工			I-98
	10-4-8-8		検査路工			I-99
第9節 歩道橋本体工	10-4-9-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	I-18
	10-4-9-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	I-19
	10-4-9-5		橋脚フーチング工	I型	10-3-8-9橋脚フーチング工	I-95
				T型	10-3-8-9橋脚フーチング工	I-95
	10-4-9-6		歩道橋（側道橋）架設工		3-2-13 架設工（鋼橋）	I-56
10-4-9-7		現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工	I-17	
第5章 コンクリート橋上部						
第3節 工場製作工	10-5-3-2		プレビーム用桁製作工		3-2-12-9プレビーム用桁製作工	I-54
	10-5-3-3		橋梁用防護柵製作工		3-2-12-7橋梁用防護柵製作工	I-53
	10-5-3-4		鋼製伸縮継手製作工		3-2-12-5鋼製伸縮継手製作工	I-53
	10-5-3-5		検査路製作工		3-2-12-4検査路製作工	I-53
	10-5-3-6		工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	I-55
第5節 PC橋工	10-5-5-2		プレテンション桁製作工（購入工）	けた橋	3-2-3-12プレテンション桁製作工（購入工）	I-8
				スラブ橋	3-2-3-12プレテンション桁製作工（購入工）	I-8
	10-5-5-3		ポストテンション桁製作工		3-2-3-13ポストテンション桁製作工	I-9
	10-5-5-4		プレキャストセグメント桁製作工（購入工）		3-2-3-13プレキャストセグメント桁製作工（購入工）	I-9
	10-5-5-5		プレキャストセグメント主桁組立工		3-2-3-14プレキャストセグメント主桁組立工	I-9
	10-5-5-6		支承工		10-4-5-10支承工	I-97
	10-5-5-7		架設工（クレーン架設）		3-2-13 架設工（コンクリート橋）	I-57
	10-5-5-8		架設工（架設桁架設）		3-2-13 架設工（コンクリート橋）	I-57
	10-5-5-9		床版・横組工		3-2-18-2床版工	I-63

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第5節 PC橋工	10-5-5-10		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-98
第6節 プレベーム桁橋工	10-5-6-2		プレベーム桁製作工	現場		I-99
	10-5-6-3		支承工		10-4-5-10支承工	I-97
	10-5-6-4		架設工（クレーン架設）		3-2-13 架設工（鋼橋）	I-56
	10-5-6-5		架設工（架設桁架設）		3-2-13 架設工（鋼橋）	I-56
	10-5-6-6		床版・横組工		3-2-18-2床版工	I-63
	10-5-6-9		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-98
第7節 PCホロースラブ橋工	10-5-7-3		支承工		10-4-5-10支承工	I-97
	10-5-7-4		PCホロースラブ製作工		3-2-3-15PCホロースラブ製作工	I-10
	10-5-7-5		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-98
第8節 RCホロースラブ橋工	10-5-8-3		支承工		10-4-5-10支承工	I-97
	10-5-8-4		RC場所打ホロースラブ製作工		3-2-3-15PCホロースラブ製作工	I-10
	10-5-8-5		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-98
第9節 PC版桁橋工	10-5-9-2		PC版桁製作工		3-2-3-15PCホロースラブ製作工	I-10
第10節 PC箱桁橋工	10-5-10-3		支承工		10-4-5-10支承工	I-97
	10-5-10-4		PC箱桁製作工		3-2-3-16PC箱桁製作工	I-10
	10-5-10-5		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-98
第11節 PC片持箱桁橋工	10-5-11-2		PC片持箱桁製作工		3-2-3-16PC箱桁製作工	I-10
	10-5-11-3		支承工		10-4-5-10支承工	I-97
	10-5-11-4		架設工（片持架設）		3-2-13架設工（コンクリート橋）	I-57
第12節 PC押し箱桁橋工	10-5-12-2		PC押し箱桁製作工		3-2-3-16PC押し箱桁製作工	I-11
	10-5-12-3		架設工（押し架設）		3-2-13架設工（コンクリート橋）	I-57
第13節 橋梁付属物工	10-5-13-2		伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	I-12
	10-5-13-4		地覆工		10-4-8-5地覆工	I-98
	10-5-13-5		橋梁用防護柵工		10-4-8-6橋梁用防護柵工	I-98
	10-5-13-6		橋梁用高欄工		10-4-8-7橋梁用高欄工	I-98
	10-5-13-7		検査路工		10-4-8-8検査路工	I-99
第6章 トンネル（NATM）						
第4節 支保工	10-6-4-3		吹付工			I-99
	10-6-4-4		ロックボルト工			I-100
第5節 覆工	10-6-5-3		覆工コンクリート工			I-100
	10-6-5-4		側壁コンクリート工		10-6-5-3覆工コンクリート工	I-100
	10-6-5-5		床版コンクリート工			I-101
第6節 インバート工	10-6-6-4		インバート本体工			I-101
第7節 坑内付帯工	10-6-7-5		地下排水工		3-2-3-29暗渠工	I-16
第8節 坑門工	10-6-8-4		坑門本体工			I-101

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第8節 坑門工	10-6-8-5		明り巻工			I-102
第11章 共同溝						
第3節 工場製作工	10-11-3-3		工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	I-55
第6節 現場打構築工	10-11-6-2		現場打躯体工			I-103
	10-11-6-4		カラー継手工			I-103
	10-11-6-5	1	防水工	防水		I-103
		2	防水工	防水保護工		I-103
3		防水工	防水壁		I-104	
第7節 プレキャスト構築工	10-11-7-2		プレキャスト躯体工			I-104
第12章 電線共同溝						
第5節 電線共同溝工	10-12-5-2		管路工	管路部		I-104
	10-12-5-3		プレキャストボックス工	特殊部		I-105
	10-12-5-4		現場打ちボックス工	特殊部	10-11-6-2現場打躯体工	I-103
第6節 付帯設備工	10-12-6-2		ハンドホール工			I-105
第13章 情報ボックス工						
第3節 情報ボックス工	10-13-3-4		管路工	管路部	10-12-5-2管路工(管路部)	I-104
第4節 付帯設備工	10-13-4-2		ハンドホール工		10-12-6-2ハンドホール工	I-105
第14章 道路維持						
第4節 舗装工	10-14-4-3		路面切削工		3-2-6-15路面切削工	I-40
	10-14-4-4		舗装打換え工		3-2-6-16舗装打換え工	I-40
	10-14-4-5		切削オーバーレイ工			I-106
	10-14-4-6		オーバーレイ工		3-2-6-17オーバーレイ工	I-40
	10-14-4-7		路上再生工			I-106'
	10-14-4-8		薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	I-36
第5節 排水構造物工	10-14-5-3		側溝工		3-2-3-29側溝工	I-15
	10-14-5-4		管渠工		3-2-3-29側溝工	I-15
	10-14-5-5		集水柵・マンホール工		3-2-3-30集水柵工	I-16
	10-14-5-6		地下排水工		3-2-3-29暗渠工	I-16
	10-14-5-7		場所打水路工		3-2-3-29場所打水路工	I-15
	10-14-5-8		排水工		3-2-3-29側溝工	I-15
第6節 防護柵工	10-14-6-2		路側防護柵工		3-2-3-8路側防護柵工	I-6
	10-14-6-3		防止柵工		3-2-3-7防止柵工	I-6
	10-14-6-5		ボックスビーム工		3-2-3-8路側防護柵工	I-6
	10-14-6-6		車止めポスト工		3-2-3-7防止柵工	I-6
第7節 標識工	10-14-7-3		小型標識工		3-2-3-6小型標識工	I-5
	10-14-7-4		大型標識工		10-2-9-4大型標識工	I-90
第8節 道路付属施設工	10-14-8-4		道路付属物工		3-2-3-10道路付属物工	I-7
	10-14-8-5		ケーブル配管工		10-2-12-5ケーブル配管工	I-91
	10-14-8-6		照明工		10-2-12-6照明工	I-91
第9節 軽量盛土工	10-3-5-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-3
第10節 擁壁工	10-14-10-3		場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-60
	10-14-10-4		プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁工	I-60

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第11節 石・ブロック積(張)工	10-14-11-3		コンクリートブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	I-21
	10-14-11-4		石積(張)工		3-2-5-5石積(張)工	I-22
第12節 カルバート工	10-14-12-4		場所打函渠工		10-1-9-6場所打函渠工	I-87
	10-14-12-5		プレキャストカルバート工		3-2-3-28プレキャストカルバート工	I-15
第13節 法面工	10-14-13-2		植生工		3-2-14-2植生工	I-57
	10-14-13-3		法面吹付工		3-2-14-3吹付工	I-58
	10-14-13-4		法枠工		3-2-14-4法枠工	I-59
	10-14-13-6		アンカー工		3-2-14-6アンカー工	I-59
	10-14-13-7		かご工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-14
		ふとんかご		3-2-3-27羽口工	I-14	
第15節 橋梁付属物工	10-15-15-2		伸縮継手工		3-2-3-24伸縮装置工	I-12
	10-15-15-4		地覆工		10-4-8-5地覆工	I-98
	10-15-15-5		橋梁用防護柵工		10-4-8-6橋梁用防護柵工	I-98
	10-15-15-6		橋梁用高欄工		10-4-8-7橋梁用高欄工	I-98
	10-15-15-7		検査路工		10-4-8-8検査路工	I-99
第17節 現場塗装工	10-14-17-6		コンクリート面塗装工		3-2-3-11コンクリート面塗装工	I-7
第16章 道路修繕						
第3節 工場製作工	10-16-3-4		桁補強材製作工			I-107
	10-16-3-5		落橋防止装置製作工		3-2-12-6落橋防止装置製作工	I-53
第5節 舗装工	10-16-5-3		路面切削工		3-2-6-15路面切削工	I-40
	10-16-5-4		舗装打換え工		3-2-6-16舗装打換え工	I-40
	10-16-5-5		切削オーバーレイ工		10-14-4-5切削オーバーレイ工	I-106
	10-16-5-6		オーバーレイ工		3-2-6-17オーバーレイ工	I-40
	10-16-5-7		路上再生工		10-14-4-7路上再生工	I-106'
	10-16-5-8		薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	I-36
第6節 排水構造物工	10-16-6-3		側溝工		3-2-3-29側溝工	I-15
	10-16-6-4		管渠工		3-2-3-29側溝工	I-15
	10-16-6-5		集水柵・マンホール工		3-2-3-30集水柵工	I-16
	10-16-6-6		地下排水工		3-2-3-29暗渠工	I-16
	10-16-6-7		場所打水路工		3-2-3-29場所打水路工	I-15
	10-16-6-8		排水工		3-2-3-29側溝工	I-15
第7節 縁石工	10-17-7-3		縁石工		3-2-3-5縁石工	I-5
第8節 防護柵工	10-16-8-3		路側防護柵工		3-2-3-8路側防護柵工	I-6
	10-16-8-4		防止柵工		3-2-3-7防止柵工	I-6
	10-16-8-5		ボックスビーム工		3-2-3-8路側防護柵工	I-6
	10-16-8-6		車止めポスト工		3-2-3-7防止柵工	I-6
第9節 標識工	10-16-9-3		小型標識工		3-2-3-6小型標識工	I-5
	10-16-9-4		大型標識工		10-2-9-4大型標識工	I-90
第10節 区画線工	10-16-10-2		区画線工		3-2-3-9区画線工	I-7
第12節 道路付属施設工	10-16-12-4		道路付属物工		3-2-3-10道路付属物工	I-7

【第10編 道路編】

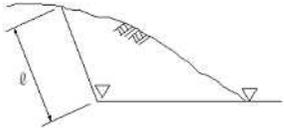
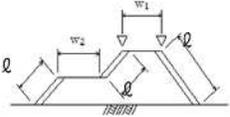
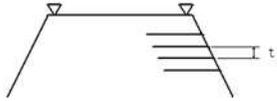
章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第12節 道路付属施設工	10-16-12-5		ケーブル配管工		10-2-12-5ケーブル配管工	I-91
	10-16-12-6		照明工		10-2-12-6照明工	I-91
第13節 軽量盛土工	10-3-5-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	I-3
第14節 擁壁工	10-16-14-3		場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	I-60
	10-16-14-4		プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁工	I-60
第15節 石・ブロック積(張)工	10-16-15-3		コンクリートブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	I-21
	10-16-15-4		石積(張)工		3-2-5-5石積(張)工	I-22
第16節 カルバート工	10-16-16-4		場所打函渠工		10-1-9-6場所打函渠工	I-87
	10-16-16-5		プレキャストカルバート工		3-2-3-28プレキャストカルバート工	I-15
第17節 法面工	10-16-17-2		植生工		3-2-14-2植生工	I-57
	10-16-17-3		法面吹付工		3-2-14-3吹付工	I-58
	10-16-17-4		法枠工		3-2-14-4法枠工	I-59
	10-16-17-6		アンカー工		3-2-14-6アンカー工	I-59
	10-16-17-7		かご工	じゃかご	3-2-3-27羽口工	I-14
		ふとんかご		3-2-3-27羽口工	I-14	
第18節 落石雪害防止工	10-18-18-4		落石防止網工		10-1-11-4落石防止網工	I-87
	10-18-18-5		落石防護柵工		10-1-11-5落石防護柵工	I-87
	10-18-18-6		防雪柵工		10-1-11-6防雪柵工	I-88
	10-18-18-7		雪崩予防柵工		10-1-11-7雪崩予防柵工	I-88
第20節 鋼桁工	10-16-20-3		鋼桁補強工		10-16-3-4桁補強材製作工	I-107
第21節 橋梁支承工	10-16-21-3		鋼橋支承工		10-4-5-10支承工	I-97
	10-16-21-4		P C橋支承工		10-4-5-10支承工	I-97
第22節 橋梁付属物工	10-16-22-3		伸縮継手工		3-2-3-24伸縮装置工	I-12
	10-16-22-4		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	I-98
	10-16-22-6		地覆工		10-4-8-5地覆工	I-98
	10-16-22-7		橋梁用防護柵工		10-4-8-6橋梁用防護柵工	I-98
	10-16-22-8		橋梁用高欄工		10-4-8-7橋梁用高欄工	I-98
	10-16-22-9		検査路工		10-4-8-8検査路工	I-99
第25節 現場塗装工	10-16-25-3		橋梁塗装工		3-2-3-31現場塗装工	I-17
	10-16-25-6		コンクリート面塗装工		3-2-3-11コンクリート面塗装工	I-7

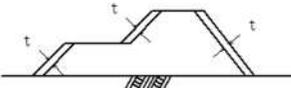
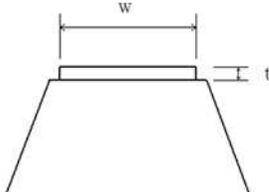
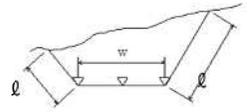
【第11編 公園緑地編】

国土交通省都市局公園緑地・景観課がホームページで公表している公園緑地工事施工管理基準を参考とすること。

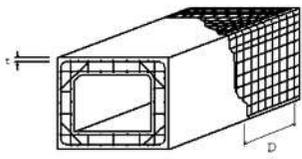
http://www.mlit.go.jp/toshi/park/crd_parkgreen_fr_000011.html

※ 上記施工管理基準は常に最新のもの参考とすること。

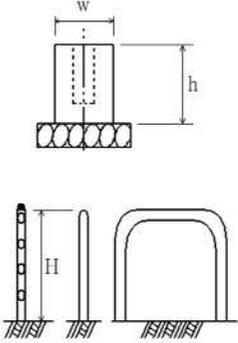
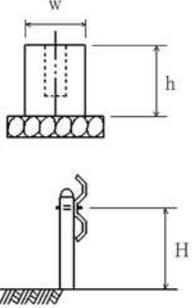
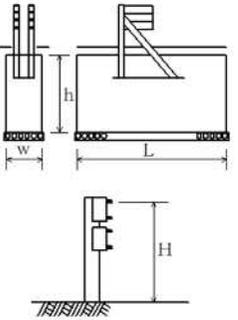
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
1 共通 編	2 土 工	3 河 川 ・ 海 岸 ・ 砂 防 土 工	2		掘削工	基 準 高 ▽	±50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 基準高は掘削部の両端で測定。 ただし、「TSを用いた出来形管理要領（土工編）」（平成24年3月29日付け国官技第347号、国総公第85号）の規定による場合は、設計図書の測点毎。基準高は掘削部の両端で測定。		1-2-3-2	
						法長 l	$l < 5m$				-200
							$l \geq 5m$				法長-4%
1 共通 編	2 土 工	3 河 川 ・ 海 岸 ・ 砂 防 土 工	3		盛土工	基 準 高 ▽	-50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 基準高は各法肩で測定。 ただし、「TSを用いた出来形管理要領（土工編）」（平成24年3月29日付け国官技第347号、国総公第85号）の規定による場合は、設計図書の測点毎。基準高は各法肩で測定。		1-2-3-3	
						法長 l	$l < 5m$				-100
							$l \geq 5m$				法長-2%
						幅 w_1, w_2	-100				
1 共通 編	2 土 工	3 河 川 ・ 海 岸 ・ 砂 防 土 工	4		盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	基 準 高 ▽	-50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		1-2-3-4	
						厚 さ t	-50				
						控 え 長 さ	設計値以上				

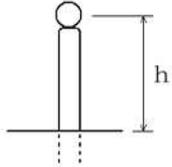
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	5		法面整形工 (盛土部)	厚 さ t	※-30	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所、法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。		1-2-3-5	
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	6		堤防天端工	厚さ t	t < 15cm	-25	幅は、施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 厚さは、施工延長200mにつき1ヶ所、200m以下は2ヶ所、中央で測定。		1-2-3-6
							t ≥ 15cm	-50			
						幅 w		-100			
1 共通編	2 土工	4 道路土工	2		掘削工	基 準 高 ▽		±50	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。 ただし、「TSを用いた出来形管理要領 (土工編)」(平成24年3月29日付け国官技第347号、国総公第85号)の規定による場合は、設計図書の測点毎。基準高は、道路中心線及び端部で測定。		1-2-4-2
						法長 ℓ	ℓ < 5m	-200			
							ℓ ≥ 5m	法長-4%			
						幅 w		-100			

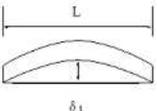
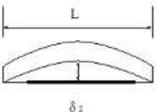
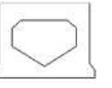
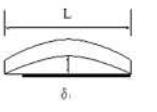
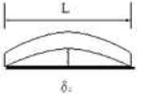
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
1 共通 編	2 土 工	4 道 路 土 工	3 4		路体盛土工 路床盛土工	基 準 高 ∇	± 50	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m 以下のものは1施工箇所につき2ヶ 所。 基準高は、道路中心線及び端部で測 定。 ただし、「TSを用いた出来形管理要 領（土工編）」（平成24年3月29日付 け国官技第347号、国総公第85号）の 規定による場合は、設計図書の測点 毎。基準高は、道路中心線及び端部で 測定。		1-2-4-3 1-2-4-4	
						法長 l	$l < 5\text{m}$				-100
							$l \geq 5\text{m}$				法長-2%
						幅 w_1, w_2	-100				
1 共通 編	2 土 工	4 道 路 土 工	5		法面整形工 (盛土部)	厚 さ t	$\ast -30$	施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m 以下のものは1施工箇所につき2ヶ 所。法の中央で測定。 \ast 土羽打ちのある場合に適用。		1-2-4-5	

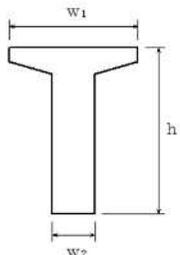
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 共通編	3 無筋、 鉄筋コンクリート	7 鉄筋工	4		組立て	平均間隔 d	± φ	$d = \frac{D}{n-1}$ <p>D：n本間の延長 n：10本程度とする φ：鉄筋径</p> <p>工事の規模に応じて、1リフト、1ロット当たりに対して各面で一箇所以上測定する。最小かぶりは、コンクリート標準示方書（設計編：標準 7編 2章 2.1）参照。ただし、道路橋示方書の適用を受ける橋については、道路橋示方書（Ⅲコンクリート橋・コンクリート部材編 5.2）による。</p> <p>注1）重要構造物 かつ主鉄筋について適用する。</p> <p>注2）橋梁コンクリート床版桁（PC橋含む）の鉄筋については、第3編3-2-18-2床版工を適用する。</p> <p>注3）新設のコンクリート構造物（橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート（工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外））の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する。</p>		1-3-7-4
						かぶり t	± φ かつ 最小かぶり 以上			

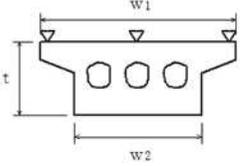
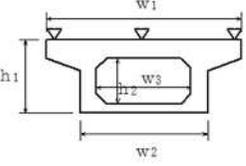
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	4		矢板工〔指定仮設・任意仮設は除く〕 (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (コンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	基 準 高 ∇	±50	基準高は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 変位は、施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1ヶ所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-3-4	
						根 入 長	設計値以上				
						変 位 ℓ	100				
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	5		縁石工 (縁石・アスカーブ)	延 長 L	-200	1ヶ所／1施工箇所		3-2-3-5	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	6		小型標識工	設 置 高 さ H	設計値以上	1ヶ所／1基		3-2-3-6	
						基礎	幅 w (D)	-30			基礎 1基毎
							高 さ h	-30			
							根入れ長	設計値以上			

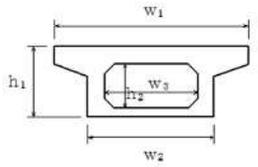
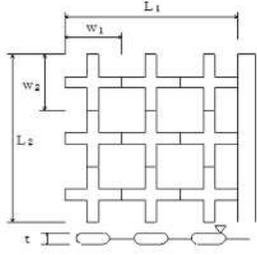
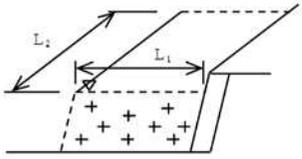
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	7		防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断)防止柵) (車止めポスト)	基礎	幅 w	-30	単独基礎10基につき1基、10基以下のものは2基測定。測定箇所は1基につき1ヶ所測定。		3-2-3-7
							高 さ h	-30			
							パイプ取付高 H	+30 -20	1ヶ所/1施工箇所		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	8	1	路側防護柵工 (ガードレール)	基礎	幅 w	-30	1ヶ所/施工延長40m 40m以下のものは、2ヶ所/1施工箇所。		3-2-3-8
							高 さ h	-30			
							ビーム取付高 H	+30 -20	1ヶ所/1施工箇所		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	8	2	路側防護柵工 (ガードケーブル)	基礎	幅 w	-30	1ヶ所/1基礎毎		3-2-3-8 ※ワイヤー ロープ式防護 柵にも適用す る
							高 さ h	-30			
							延 長 L	-100			
							ケーブル取付高 H	+30 -20	1ヶ所/1施工箇所		

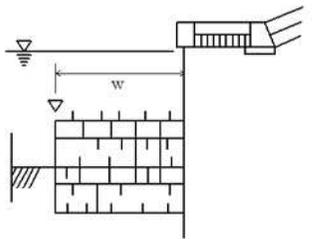
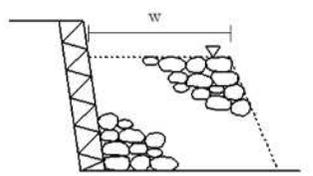
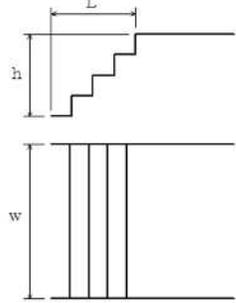
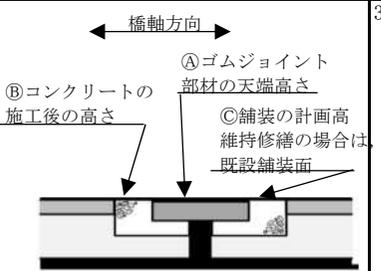
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	9		区画線工	厚 さ t (溶融式のみ)	設計値以上	各線種毎に、1ヶ所テストピースにより測定。		3-2-3-9
						幅 w	設計値以上			
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	10		道路付属物工 (視線誘導標) (距離標)	高 さ h	±30	1ヶ所/10本 10本以下の場合、2ヶ所測定。		3-2-3-10
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	11		コンクリート面塗装工	塗 料 使 用 量	鋼道路橋防食便覧 II-82 「表- II.5.5各塗料の標 準使用量と標準膜 厚」の標準使用量 以上。	塗装系ごとの塗装面積を算出・照査して、各塗料の必要量を求め、塗付作業の開始前に搬入量(充缶数)と、塗付作業終了時に使用量(空缶数)を確認し、各々必要量以上であることを確認する。 1ロットの大きさは500㎡とする。		3-2-3-11

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	12	1	プレテンション桁製作 工（購入工） (けた橋)	桁長 L (m)	$\pm L/1000$	桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。 なお、JISマーク表示品を使用する場 合は、製造工場の発行するJISに基づ く試験成績表に替えることができる。		3-2-3-12	
						断面の外形寸法	± 5				
						橋桁のそり δ_1	± 8				
						横方向の曲がり δ_2	± 10				
									側面図		
									平面図		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	12	2	プレテンション桁製作 工（購入工） (スラブ桁)	桁長 L (m)	$\pm 10 \dots$ $L \leq 10m$ $\pm L/1000 \dots$ $L > 10m$	桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。 なお、JISマーク表示品を使用する場 合は、製造工場の発行するJISに基づ く試験成績表に替えることができる。		3-2-3-12	
						断面の外形寸法	± 5				
						橋桁のそり δ_1	± 8				
						横方向の曲がり δ_2	± 10				
								側面図			
								平面図			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	13	1	ポストテンション桁製作工	幅(上) w_1	+10 -5	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3ヶ所とする。 なお、JISマーク表示品を使用する場合は、製造工場の発行するJISに基づく試験成績表に替えることができる。 ℓ ：支間長 (m)		3-2-3-13 注) 新設のコンクリート構造物(橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート(工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外)の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する
						幅(下) w_2	±5			
						高 さ h	+10 -5			
						桁 長 ℓ 支間長	$\ell < 15 \dots \pm 10$ $\ell \geq 15 \dots$ $\pm (\ell - 5)$ かつ -30mm以内			
						横方向最大タワミ	0.80			
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	13	2	プレキャストセグメント桁製作工(購入工)	桁 長 ℓ	—	桁全数について測定。桁断面寸法測定箇所は、図面の寸法表示箇所で測定。		3-2-3-13
						断面の外形寸法 (mm)	—			
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	14		プレキャストセグメント主桁組立工	桁 長 ℓ 支間長	$\ell < 15 \dots \pm 10$ $\ell \geq 15 \dots$ $\pm (\ell - 5)$ かつ -30mm以内	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3ヶ所とする ℓ ：支間長 (m)		3-2-3-14
						横方向最大タワミ	0.80			

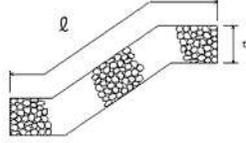
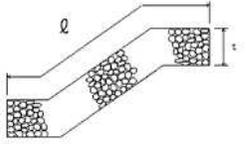
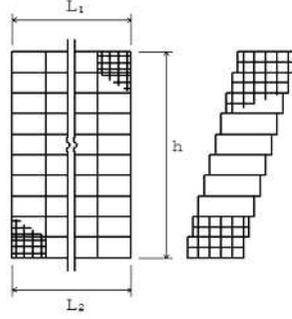
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要				
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	15		P Cホロースラブ製作工	基準高 ∇	± 20	桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2ヶ所（支点付近）で1箇所当たり両端と中央部の3点、幅及び厚さは1径間当たり両端と中央部の3ヶ所。 ※鉄筋の出来形管理基準については、第3編3-2-18-2床版工に準ずる。 ℓ ：桁長（m）		3-2-3-15 注) 新設のコンクリート構造物（橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート（工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外）の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する				
						幅 w_1, w_2	$-5 \sim +30$							
厚 さ t	$-10 \sim +20$													
						桁 長 ℓ	$\ell < 15 \dots \pm 10$ $\ell \geq 15 \dots$ $\pm (\ell - 5)$ かつ -30mm 以内							
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	16	1	P C箱桁製作工	基準高 ∇	± 20	桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2ヶ所（支点付近）で1箇所当たり両端と中央部の3点、幅及び高さは1径間当たり両端と中央部の3ヶ所。 ※鉄筋の出来形管理基準については、第3編3-2-18-2床版工に準ずる。 ℓ ：桁長（m）		3-2-3-16 注) 新設のコンクリート構造物（橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート（工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外）の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する				
						幅（上） w_1	$-5 \sim +30$							
						幅（下） w_2	$-5 \sim +30$							
											内 空 幅 w_3	± 5		
											高 さ h_1	$+10$ -5		
											内空高さ h_2	$+10$ -5		
											桁 長 ℓ	$\ell < 15 \dots \pm 10$ $\ell \geq 15 \dots$ $\pm (\ell - 5)$ かつ -30mm 以内		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要						
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	16	2	P C押出し箱桁製作工	幅(上) w_1	-5~+30	桁全数について測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3ヶ所とする。 ※鉄筋の出来形管理基準については、第3編3-2-18-2床版工に準ずる。 ℓ ：桁長(m)		3-2-3-16 注) 新設のコンクリート構造物(橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート(工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外)の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する						
						幅(下) w_2	-5~+30									
						内空幅 w_3	±5									
						高さ h_1	+10 -5									
						内空高さ h_2	+10 -5									
						桁 長 ℓ	$\ell < 15 \dots \pm 10$ $\ell \geq 15 \dots$ $\pm (\ell - 5)$ かつ -30mm以内									
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	17		根固めブロック工	層積	基準高 ∇	±100	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-3-17					
							厚さ t	-20								
							幅 W_1, W_2	-20								
							延長 L_1, L_2	-200								
						乱積	基準高 ∇	± t / 2	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。							
							延長 L_1, L_2	- t / 2								

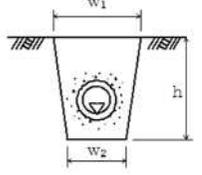
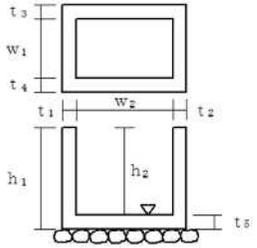
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	18		沈床工	基 準 高 ∇	± 150	1組毎		3-2-3-18
						幅 w	± 300			
						延 長 L	-200			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	19		捨石工	基 準 高 ∇	-100	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-3-19
						幅 w	-100			
						延 長 L	-200			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	22		階段工	幅 w	-30	1回／1施工箇所		3-2-3-22
						高 さ h	-30			
						長 さ L	-30			
						段 数	± 0 段			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	24	1	伸縮装置工 (ゴムジョイント)	据 付 け 高 さ	± 3	高さについては車道端部及び中央部の3点 表面の凹凸は長手方向（橋軸直角方向）に3mの直線定規で測って凹凸が3mm以下		3-2-3-24
						表 面 の 凹 凸	3			
						仕 上 げ 高 さ	舗装面に対し 0～-2			

据付け高：「A」と「Aの設計値」との差分
 仕上げ高：後打ちコンがある場合「A」と「B」の差分、後打ちコンが無い場合「A」と「C」の差分

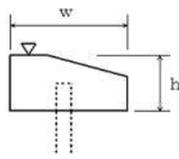
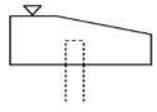
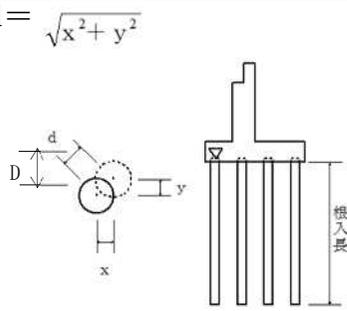
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	24	2	伸縮装置工 (鋼製フィンガージョイント)	高さ	据付け高さ	±3	高さについては車道端部、中央部において橋軸方向に各3点計9点 表面の凹凸は長手方向(橋軸直角方向)に3mの直線定規で測って凹凸が3mm以下 歯咬み合い部は車道端部、中央部の計3点		3-2-3-24
						橋軸方向各点 誤差の相対差	3				
						表面の凹凸	3				
						歯型板面の歯咬み合い部の高低差	2				
						歯咬み合い部の縦方向 間隔W ₁	±2				
						歯咬み合い部の横方向 間隔W ₂	±5				
						仕 上 げ 高 さ	舗装面に対し 0~-2				
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	24	3	伸縮装置工 (埋設型ジョイント)	表面の凹凸	3	高さについては車道端部及び中央部の3点。 表面の凹凸は長手方向(橋軸直角方向)に3mの直線定規で測って凹凸が3mm以下		3-2-3-24	
						仕 上 げ 高 さ	舗装面に対し 0~+3				
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	26	1	多自然型護岸工 (巨石張り、巨石積み)	基 準 高 ▽	±500	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-3-26	
						法 長 ℓ	-200				
						延 長 L	-200				

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	26	2	多自然型護岸工 (かごマット)	法 長 ℓ	-100	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-3-26	
						厚 さ t	-0.2 t				
						延 長 L	-200				
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	27	1	羽口工 (じゃかご)	法長 ℓ	$\ell < 3\text{m}$	-50	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-3-27
							$\ell \geq 3\text{m}$	-100			
						厚 さ t	-50				
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	27	2	羽口工 (ふとんかご、かご 枠)	高 さ h	-100	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-3-27	
						延 長 L_1, L_2	-200				

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 プ レ キ ャ ス ト カ ル バ ー ト 工	28		プレキャストカルバート工 (プレキャストボックス工) (プレキャストパイプ工)	基 準 高 ∇	± 30	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、施工延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 ※印は、現場打部分のある場合。		3-2-3-28	
						※幅 w	-50				
						※高 さ h	-30				
						延 長 L	-200				1 施工箇所毎
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	29	1	側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝工) (自由勾配側溝) (管渠)	基 準 高 ∇	± 30	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、施工延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-3-29	
						延 長 L	-200				1ヶ所/1 施工箇所
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	29	2	側溝工 (場所打水路工)	基 準 高 ∇	± 30	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、施工延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-3-29	
						厚 さ t_1, t_2	-20				
						幅 w	-30				
						高 さ h_1, h_2	-30				
						延 長 L	-200				1 施工箇所毎

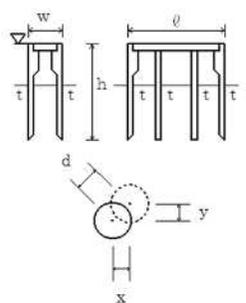
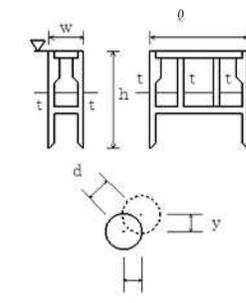
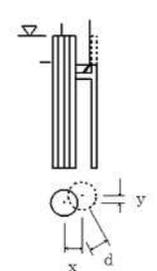
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	29	3	側溝工 (暗渠工)	基 準 高 ∇	± 30	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所。 延長40m（又は50m）以下のものは1施工につき2ヶ所。		3-2-3-29
						幅 w_1, w_2	-50			
						深 さ h	-30			
						延 長 L	-200	1 施工箇所毎		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	30		集水枳工	基 準 高 ∇	± 30	1ヶ所毎 ※は、現場打部分のある場合		3-2-3-30
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20			
						※幅 w_1, w_2	-30			
						※高さ h_1, h_2	-30			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	31		現場塗装工	塗 膜 厚	a. ロットの塗膜厚平均値は、目標塗膜厚合計値の90%以上。 b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。 c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%以下。ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。	塗装終了時に測定。 1ロットの大きさは500m ² とする。 1ロット当たりの測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。ただし、1ロットの面積が200m ² に満たない場合は10m ² ごとに1点とする。		3-2-3-31

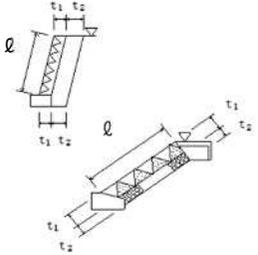
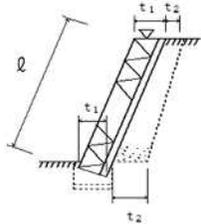
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	3	1	基礎工（護岸） （現場打）	基準高 ∇	±30	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-4-3
						幅 w	-30			
						高さ h	-30			
						延長 L	-200			
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	3	2	基礎工（護岸） （プレキャスト）	基準高 ∇	±30	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-4-3
						延長 L	-200			
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	4	1	既製杭工 （既製コンクリート杭） （鋼管杭） （H鋼杭）	基準高 ∇	±50	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	3-2-4-4
						根入長	設計値以上			
						偏心量 d	D/4以内かつ100以内			
						傾斜	1/100以内			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	4	2	既製杭工 (鋼管ソイルセメント 杭)	基 準 高 ▽	±50	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	3-2-4-4
						根 入 長	設計値以上			
						偏 心 量 d	100以内			
						傾 斜	1/100以内			
						杭 径 D	設計値以上			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	5		場所打杭工	基 準 高 ▽	±50	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	3-2-4-5
						根 入 長	設計値以上			
						偏 心 量 d	100以内			
						傾 斜	1/100以内			
						杭 径 D	設計径 (公称径) -30以上			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	6		深礎工	基 準 高 ▽	±50	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	3-2-4-6
						根 入 長	設計値以上			
						偏 心 量 d	150以内			
						傾 斜	1/50以内			
						基 礎 径 D	設計径 (公称径) 以上※			

※ライフプレートの場合はその内径、補強リングを必要とする場合は補強リングの内径とし、モルタルリングの場合はモルタル等の土留め構造の内径にて測定。

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	7		オープンケーソン基礎 工	基 準 高 ∇	± 100	壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量につい ては各打設ロットごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	3-2-4-7
						ケーソンの長さ l	-50			
						ケーソンの幅 w	-50			
						ケーソンの高さ h	-100			
						ケーソンの壁厚 t	-20			
						偏 心 量 d	300以内			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	8		ニューマチックケーソン基礎工	基 準 高 ∇	± 100	壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量につい ては各打設ロットごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	3-2-4-8
						ケーソンの長さ l	-50			
						ケーソンの幅 w	-50			
						ケーソンの高さ h	-100			
						ケーソンの壁厚 t	-20			
						偏 心 量 d	300以内			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	9		鋼管矢板基礎工	基 準 高 ∇	± 100	基準高は、全数を測定。 偏心量は、1基ごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	3-2-4-9
						根 入 長	設計値以上			
						偏 心 量 d	300以内			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	5 石・ ブ ロ ッ ク 積 (張) 工	3	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積) (コンクリートブロック張り)	基準高 ∇	± 50	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。厚さは上端部及び下端部の2ヶ所を測定。		3-2-5-3	
						法長 ℓ	$\ell < 3m$				-50
							$\ell \geq 3m$				-100
						厚さ (ブロック積張) t_1	-50				
						厚さ (裏込) t_2	-50				
						延 長 L	-200				
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	5 石・ ブ ロ ッ ク 積 (張) 工	3	2	コンクリートブロック工 (連節ブロック張り)	基準高 ∇	± 50	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-5-3	
						法 長 ℓ	-100				
						延長 L_1, L_2	-200				
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	5 石・ ブ ロ ッ ク 積 (張) 工	3	3	コンクリートブロック工 (天端保護ブロック)	基準高 ∇	± 50	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-5-3	
						幅 w	-100				
						延 長 L	-200				

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	5 石・ ブ ロ ッ ク 積 (張) 工	4		緑化ブロック工	基 準 高 ∇	± 50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。厚さは上端部及び下端部の2ヶ所を測定。		3-2-5-4	
						法長 ϕ	$\phi < 3\text{m}$				-50
							$\phi \geq 3\text{m}$				-100
						厚さ（ブロック） t_1	-50				
						厚さ（裏込） t_2	-50				
						延 長 L	-200				
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	5 石・ ブ ロ ッ ク 積 (張) 工	5		石積（張）工	基 準 高 ∇	± 50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。厚さは上端部及び下端部の2ヶ所を測定。		3-2-5-5	
						法長 ϕ	$\phi < 3\text{m}$				-50
							$\phi \geq 3\text{m}$				-100
						厚さ（石積・張） t_1	-50				
						厚さ（裏込） t_2	-50				
						延 長 L	-200				

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—	—	基準高は延長40m毎に1ヶ所の割とし、道路中心線および端部で測定。厚さは各車線200m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎に1ヶ所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m ² 以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、上記以外の場合が該当する。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	3-2-6-7
						厚 さ	-45	-45	-15	-15			
						幅	-50	-50	—	—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	2	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚 さ	-25	-30	-8	-10	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは各車線200m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。		3-2-6-7
						幅	-50	-50	—	—			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	3	アスファルト舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰) 安定処理工	厚 さ	-25	-30	-8	-10	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、 厚さは、1,000㎡に1個の割でコア を採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等 を描いた上での管理が可能な工事を いい、舗装施工面積が10,000㎡以上 あるいは使用する基層および表層用 混合物の総使用量が、3,000t以上の 場合が該当する。 小規模工事とは、上記以外の場合 が該当する。 厚さは、個々の測定値が10個に9個 以上の割合で規格値を満足しなけれ ばならないとともに、10個の測定値 の平均値 (X ₁₀) について満足しな ければならない。ただし、厚さのデー タ数が10個未満の場合は測定値の平 均値は適用しない。	3-2-6-7
						幅	-50	-50	—	—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	4	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	厚 さ	-15	-20	-5	-7	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、 厚さは、1,000㎡に1個の割でコア を採取して測定。		3-2-6-7
						幅	-50	-50	—	—			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	5	アスファルト舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	-12	-3	-4	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m ² 以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、上記以外の場合が該当する。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	3-2-6-7
						幅	-25	-25	—	—			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	6	アスファルト舗装工 (表層工)	厚 さ	-7	-9	-2	-3	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。	コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	3-2-6-7
						幅	-25	-25	—	—			
						平 坦 性	—		3m ⁷ ロイルメーター (σ) 2.4mm以下直読式(足付き) (σ) 1.75mm以下				

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	1	半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—	—	基準高は延長40m毎に1ヶ所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは各車線200m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎に1ヶ所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、上記以外の場合が該当する。	3-2-6-8
						厚 さ	-45	-45	-15	-15			
						幅	-50	-50	—	—			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	2	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚 さ	-25	-30	-8	-10	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。		3-2-6-8
						幅	-50	-50	—	—			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	3	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	厚 さ	-25	-30	-8	-10	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡に1個の割でコアを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、上記以外の場合が該当する。	3-2-6-8
						幅	-50	-50	—	—			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	4	半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	厚 さ	-15	-20	-5	-7	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡に1個の割でコアを採取して測定。	コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	3-2-6-8
						幅	-50	-50	—	—			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	5	半たわみ性舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	-12	-3	-4	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡に1個の割でコアを採取して測定。		3-2-6-8
						幅	-25	-25	—	—			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	6	半たわみ性舗装工 (表層工)	厚 さ	-7	-9	-2	-3	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡毎に1個の割でコアを採取して測定。		3-2-6-8
						幅	-25	-25	—	—			
						平 坦 性	—		3m ² プロフィールメーター(σ)2.4mm以下直読式(足付き) (σ)1.75mm以下				

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	1	排水性舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—	—	基準高は延長40m毎に1ヶ所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは各車線200m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎に1ヶ所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、上記以外の場合が該当する。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	3-2-6-9
						厚 さ	-45	-45	-15	-15			
						幅	-50	-50	—	—			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	2	排水性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚 さ	-25	-30	-8	-10	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。		3-2-6-9
						幅	-50	-50	—	—			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	3	排水性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	厚 さ	-25	-30	-8	-10	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡に1個の割でコアを採取もしくは掘り起こして測定。		3-2-6-9
						幅	-50	-50	—	—			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	4	排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	厚 さ	-15	-20	-5	-7	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、上記以外の場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-9
						幅	-50	-50	—	—			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	5	排水性舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	-12	-3	-4	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。	維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	3-2-6-9
						幅	-25	-25	—	—			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	6	排水性舗装工 (表層工)	厚 さ	-7	-9	-2	-3	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡毎に1個の割でコアーを採取して測定。		3-2-6-9
						幅	-25	-25	—	—			
						平 坦 性	—		3m ⁷ プロファイルメーター (σ)2.4mm以下直読式(足付き) (σ)1.75mm以下				

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		平均の測定値 (X ₁₀)			
							中規模以上	小規模以下	中規模以上			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	10	1	透水性舗装工 (路盤工)	基準高▽	±50		—	基準高は片側延長40m毎に1ヶ所の割で測定。 厚さは、片側延長200m毎に1ヶ所掘り起こして測定。 幅は、片側延長80m毎に1ヶ所測定。 ※歩道舗装に適用する。		3-2-6-10
						厚 さ	t < 15cm	-30	-10			
							t ≥ 15cm	-45	-15			
						幅	-100		—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	10	2	透水性舗装工 (表層工)	厚さ	-9	-3	幅は、片側延長80m毎に1ヶ所の割で測定。 厚さは、片側延長200m毎に1ヶ所コアを採取して測定。 ※歩道舗装に適用する。		3-2-6-10	
						幅	-25					—

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	11	1	グースアスファルト 舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	厚 さ	-15	-20	-5	-7	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、 厚さは、1000㎡に1個の割でコアーを 採取して測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描 いた上での管理が可能な工事をい い、基層および表層用混合物の総使 用量が3,000 t 以上の場合が該当す る。 小規模工事とは、上記以外の場合 が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版 等に損傷を与える恐れのある場合 は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-11
						幅	-50	-50	—	—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	11	2	グースアスファルト 舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	-12	-3	-4	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、 厚さは、1000㎡に1個の割でコアーを 採取して測定。	維持工事においては、平坦性の項目 を省略することが出来る。	3-2-6-11
						幅	-25	-25	—	—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	11	3	グースアスファルト 舗装工 (表層工)	厚 さ	-7	-9	-2	-3	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、 厚さは、1000㎡毎に1個の割でコアー を採取して測定。		3-2-6-11
						幅	-25	-25	—	—			
						平 坦 性	—		3m ⁷ プロファイル (σ)2.4mm以下 直読式(足付 き) (σ)1.75mm以 下				

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X10)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—		基準高は延長40m毎に1ヶ所の割とし、道路中心線および端部で測定。厚さは各車線200m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎に1ヶ所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模工事とは、上記以外の場合が該当する。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-12
						厚 さ	-45		-15				
						幅	-50		—				
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	2	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)	厚 さ	-25	-30	-8		幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。		3-2-6-12
						幅	-50		—				

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	3	コンクリート舗装工 (セメント(石灰・瀝青)安定処理工)	厚 さ	-25	-30	-8		幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模工事とは、上記以外の場合が該当する。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-12
						幅	-50		—				
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	4	コンクリート舗装工 (アスファルト中間層)	厚 さ	-9	-12	-3		幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		3-2-6-12
						幅	-25		—				

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	5	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)	厚 さ	-10		-3.5		厚さは各車線の中心付近で型枠据付後各車線200m毎に水糸又はレベルにより1測線当たり横断方向に3ヶ所以上測定、幅は、延長80m毎に1ヶ所の割で測定。平坦性は各車線毎に版縁から1mの線上、全延長とする。なお、スリップフォーム工法の場合は、厚さ管理に関し、打設前に各車線の中心付近で各車線200m毎に水糸又はレベルにより1測線当たり横断方向に3ヶ所以上路盤の基準高を測定し、測定打設後に各車線200m毎に両側の版端を測定する。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模工事とは、上記以外の場合が該当する。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	3-2-6-12
						幅	-25		-				
						平 坦 性	-		コンクリートの硬化後3mプロフィールメーターにより機械舗設の場合(σ)2.4mm以下 人力舗設の場合(σ)3mm以下				
						目地段差	±2						
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	6	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 下層路盤工	基準高▽	±40	±50	-		基準高は、延長40m毎に1ヶ所の割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎に1ヶ所の割に測定。	3-2-6-12	
						厚 さ	-45		-15				
						幅	-50		-				
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	7	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 粒度調整路盤工	厚 さ	-25	-30	-8		幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。	3-2-6-12	
						幅	-50		-				

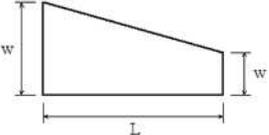
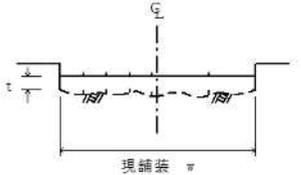
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	8	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工	厚 さ	-25	-30	-8		幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは、掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模工事とは、上記以外の場合が該当する。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	3-2-6-12
						幅	-50		—				
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	9	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	厚 さ	-9	-12	-3		幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。	コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	3-2-6-12
						幅	-25		—				
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	10	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工)	厚 さ	-15	-4.5		厚さは、各車線の中心付近で型枠据付後各車線200m毎に水糸又はレベルにより1測線当たり横断方向に3ヶ所以上測定、幅は、延長80m毎に1ヶ所の割で測定、平坦性は各車線毎に版縁から1mの線上、全延長とする。		3-2-6-12	
						幅	-35		—				
						平 坦 性	—	転圧コンクリートの硬化後、3mプロフィルメーターにより(σ)2.4mm以下。					
						目地段差	±2		隣接する各目地に対して、道路中心線及び端部で測定。				

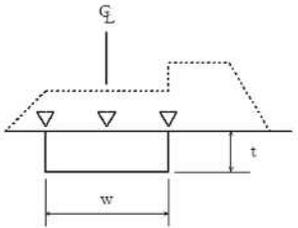
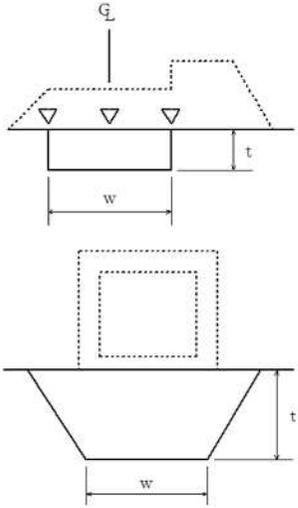
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	1	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—		基準高は、延長40m毎に1ヶ所の割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎に1ヶ所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模工事とは、上記以外の場合が該当する。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	3-2-6-13
						厚 さ	-45		-15				
						幅	-50		—				
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	2	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚 さ	-25	-30	-8		幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。		3-2-6-13
						幅	-50		—				

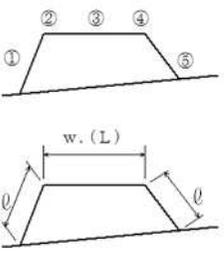
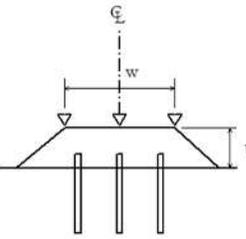
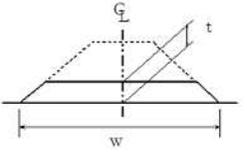
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X10)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	3	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	厚 さ	-25	-30	-8		幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模工事とは、上記以外の場合が該当する。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-13
						幅	-50		—				
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	厚 さ	-15	-20	-5		幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		3-2-6-13
						幅	-50		—				
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	5	薄層カラー舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	-12	-3		幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		3-2-6-13
						幅	-25		—				

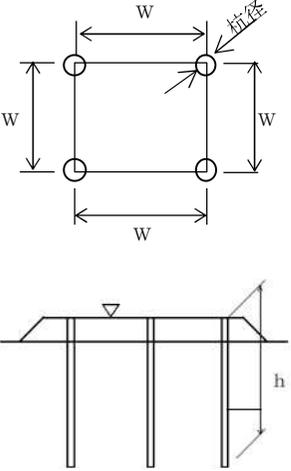
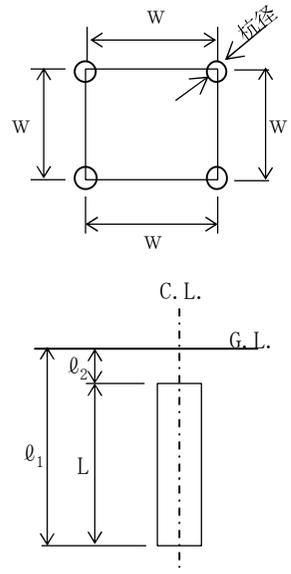
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	14	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—		基準高は、延長40m毎に1ヶ所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎に1ヶ所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模工事とは、上記以外の場合が該当する。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	3-2-6-14
						厚さ	-45		-15				
						幅	-50		—				
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	14	2	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚 さ	-25	-30	-8		幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。		3-2-6-14
						幅	-50		—				

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	14	3	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント (石灰) 安定処理工	厚 さ	-25	-30	-8		幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模工事とは、上記以外の場合が該当する。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-14
						幅	-50		—				
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	厚 さ	-15	-20	-5		幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		3-2-6-14
						幅	-50		—				
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	14	5	ブロック舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	-12	-3		幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		3-2-6-14
						幅	-25		—				

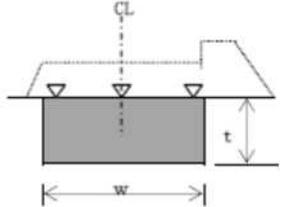
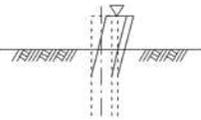
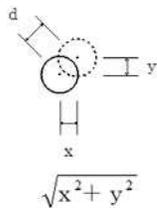
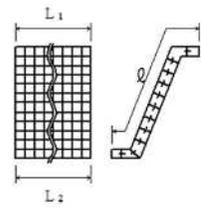
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
							個々の測定値 (X)	平均の測定値 (X ₁₀)				
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	15	1	路面 切削 工	厚 さ t	-7	-2	厚さは40m毎に現舗装高切削後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 延長40m未満の場合は、2ヶ所/施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。 測定方法は自動横断測定法によることが出来る。		3-2-6-15	
						幅 w	-25	—				
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	16		舗装 打換 え工	路 盤 工	幅 w	-50		各層毎1ヶ所/1施工箇所		3-2-6-16
							延長 L	-100				
							厚さ t	該当工種				
						舗 設 工	幅 w	-25				
							延長 L	-100				
							厚さ t	該当工種				
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	17		オー バー レイ 工	厚 さ t	-9		厚さは40m毎に現舗装高とオーバーレイ後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、延長80m未満の場合は、2ヶ所/施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。		3-2-6-17	
						幅 w	-25					
						延 長 L	-100					
						平 坦 性	—	3m ² プロファイルメーター(σ)2.4mm以下直読式(足付き)(σ)1.75mm以下				

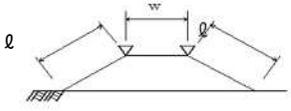
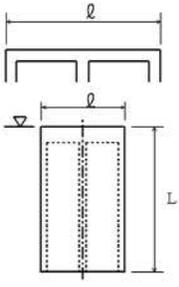
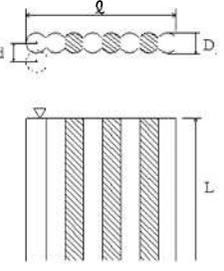
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	7 地盤 改良 工	2		路床安定処理工	基 準 高 ∇	± 50	延長40m毎に1ヶ所の割で測定。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。 厚さは中心線及び端部で測定。		3-2-7-2
						施 工 厚 さ t	-50			
						幅 w	-100			
						延 長 L	-200			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	7 地盤 改良 工	3		置換工	基 準 高 ∇	± 50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 厚さは中心線及び端部で測定。		3-2-7-3
						置 換 厚 さ t	-50			
						幅 w	-100			
						延 長 L	-200			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	4		表層安定処理工 (サンドマット海上)	基 準 高 ∇	特記仕様書に明示	施工延長10mにつき、1測点当たり5 点以上測定。 w. (L)は施工延長40mにつき1ヶ 所、80m以下のものは1施工箇所につ き3箇所。 (L)はセンターライン及び表裏法肩 で行う。		3-2-7-4
						法 長 l	-500			
						天 端 幅 w	-300			
						天端延長 L	-500			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	5		パイルネット工	基 準 高 ∇	± 50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は 50m）につき1ヶ所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして 測定。 杭については、当該杭の項目に準ず る。		3-2-7-5
						厚 さ t	-50			
						幅 w	-100			
						延 長 L	-200			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	6		サンドマット工	施工厚さ t	-50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は 50m）につき1ヶ所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして 測定。		3-2-7-6
						幅 w	-100			
						延 長 L	-200			

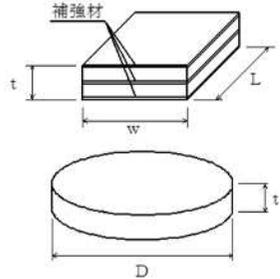
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	7	1	パーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーパードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工)	位置・間隔w	±100	100本に1ヶ所。 100本以下は2ヶ所測定。1ヶ所に4本測定。 ただし、ペーパードレーンの杭径は対象外とする。		3-2-7-7 3-2-7-8
						杭 径 D	設計値以上			
			打 込 長 さ h		設計値以上	全本数				
			サンドドレーン、袋詰式サンドドレーン、サンドコンパクションパイルの砂投入量		—	全本数 計器管理にかえることができる。				
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	9	1	固結工 (粉体噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	基 準 高 ▽	-50	100本に1ヶ所。 100本以下は2ヶ所測定。 1ヶ所に4本測定。		3-2-7-9
						位置・間隔w	D/4以内			
						杭 径 D	設計値以上			
						深 度 L	設計値以上	全本数 $L = \ell_1 - \ell_2$ ℓ_1 は改良体先端深度 ℓ_2 は改良体天端深度		

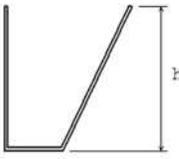
※余長は、適用除外

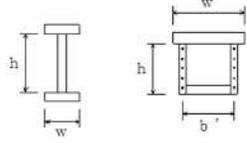
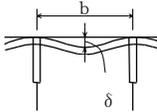
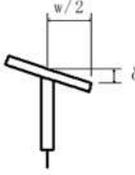
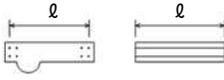
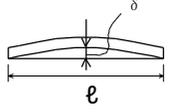
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	9	3	固結工 (中間混合処理)	基 準 高 ∇	設計値以上	1,000m ³ ～4,000m ³ につき1ヶ所、又は 施工延長40m(測点間隔25mの場合は 50m)につき1ヶ所。 1,000m ³ 以下、又は施工延長40m(50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 施工厚さは施工時の改良深度確認を出 来形とする。 「施工履歴データを用いた出来形管理 要領(表層安定処理等・中層地盤改良 工事編)(案)」による管理の場合 は、全体改良範囲図を用いて、施工厚 さt、幅w、延長Lを確認(実測は不 要)。		3-2-7-9
						施 工 厚 さ t	設計値以上			
						幅 w	設計値以上			
						延 長 L	設計値以上			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	5	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	基 準 高 ∇	±100	基準高は施工延長40m(測点間隔25m の場合は50m)につき1ヶ所。延長40 m(又は50m)以下のものは、1施工 箇所につき2ヶ所。		3-2-10-5
						根 入 長	設計値以上			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	5	2	土留・仮締切工 (アンカー工)	削 孔 深 さ ϕ	設計深さ以上	全数		3-2-10-5
						配 置 誤 差 d	100			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	5	3	土留・仮締切工 (連節ブロック張り 工)	法 長 ϕ	-100	施工延長40m(測点間隔25mの場合 は50m)につき1ヶ所、延長40m(又 は50m)以下のものは1施工箇所につ き2ヶ所。		3-2-10-5
						延 長 L ₁ L ₂	-200			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	5	4	土留・仮締切工 (締切盛土)	基 準 高 ∇	-50	施工延長50mにつき1ヶ所。 延長50m以下のものは1施工箇所につ き2ヶ所。		3-2-10-5
						天 端 幅 w	-100			
						法 長 l	-100			
編 3 土木 工事 共通	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	5	5	土留・仮締切工 (中詰盛土)	基 準 高 ∇	-50	施工延長50mにつき1ヶ所。 延長50m以下のものは、1施工箇所につ き2ヶ所。		3-2-10-5
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	9		地中連続壁工（壁式）	基 準 高 ∇	± 50	基準高は施工延長40m（測点間隔25m の場合は50m）につき1ヶ所。延長40 m（又は50m）以下のものについては 1施工箇所につき2ヶ所。 変位は施工延長20m（測点間隔25mの 場合は25m）につき1ヶ所。延長20m （又は25m）以下のものは1施工箇所 につき2ヶ所。		3-2-10-9
						連壁の長さ l	-50			
						変 位	300			
						壁 体 長 L	-200			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	10		地中連続壁工（柱列 式）	基 準 高 ∇	± 50	基準高は施工延長40m（測点間隔25m の場合は50m）につき1ヶ所。延長40 m（又は50m）以下のものについては 1施工箇所につき2ヶ所。 変位は施工延長20m（測点間隔25mの 場合は25m）につき1ヶ所。延長20m （又は25m）以下のものは1施工箇所 につき2ヶ所。		3-2-10-10 D：杭径
						連壁の長さ l	-50			
						変 位 d	D/4以内			
						壁 体 長 L	-200			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	1	1	鋳造費（金属支承工）	上下部鋼構造物との接合用ボルト孔	孔の直径差	+2 -0	製品全数を測定。		3-2-12-1	
							中心距離	ボスの突起を基準とした孔の位置ずれ				
								≦1000mm				1以下
								ボスの突起を基準とした孔の位置ずれ				
								>1000mm				1.5以下
							アンカーバーンカーボルト（鑄放し）ア	ドリル加工孔				≦100mm
								>100mm				+4 -2
							孔の中心距離※1	JIS B 0403-1995 CT13				
						センターボス	ボスの直径	+0 -1				
							ボスの高さ	+1 -0				
						ボス※5	ボスの直径	+0 -1				
							ボスの高さ	+1 -1				

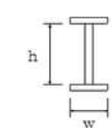
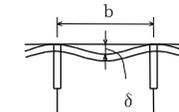
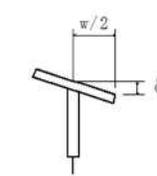
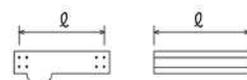
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	1	1	鋳造費（金属支承工）	上杢の橋軸及び橋軸直角方向の長さ寸法	JIS B 0403-1995 CT13	製品全数を測定。 ※1) ガス切断寸法を準用する ※2) 片面のみの削り加工の場合も含む。 ※3) ソールプレートの接触面の橋軸及び橋軸直角方向の長さ寸法に対してはCT13を適用するものとする。 ※4) 全移動量分の遊間が確保されているのかをする。 ※5) 組立て後に測定		3-2-12-1		
						※4 全移動量 ℓ	$\ell \leq 300\text{mm}$				± 2	
							$\ell > 300\text{mm}$				$\pm \ell / 100$	
						組立高さ H	上, 下面加工仕上げ				± 3	
							コンクリート構造用				$H \leq 300\text{mm}$	± 3
											$H > 300\text{mm}$	($H / 200 + 3$) 小数点以下切り捨て
						普通寸法	鋳放し長さ寸法 ※2)、※3)				JIS B 0403-1995 CT14	
							鋳放し肉厚寸法 ※2)				JIS B 0403-1995 CT15	
							削り加工寸法				JIS B 0405-1991 粗級	
							ガス切断寸法				JIS B 0417-1979 B級	
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	1	2	鋳造費（大型ゴム支承工）	幅 w 長さ L 直径 D	$w, L, D \leq 500$	$0 \sim +5$	製品全数を測定。 平面度：1個のゴム支承の厚さ（t）の最大相対誤差		3-2-12-1	
							$500 < w, L, D \leq 1500\text{mm}$	$0 \sim +1\%$				
							$1500 < w, L, D$	$0 \sim +15$				
						厚さ t	$t \leq 20\text{mm}$					± 0.5
							$20 < t \leq 160$					$\pm 2.5\%$
							$160 < t$					± 4
						相対誤差	$w, L, D \leq 1000\text{mm}$					1
							$1000\text{mm} < w, L, D$					$(w, L, D) / 1000$

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	1	3	仮設材製作工	部 材	部材長 ℓ (m) $\pm 3 \cdots \ell \leq 10$ $\pm 4 \cdots \ell > 10$	図面の寸法表示箇所 で測定。		3-2-12-1
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	1	4	刃口金物製作工	刃 口 高 さ h (m)	$\pm 2 \cdots h \leq 0.5$ $\pm 3 \cdots 0.5 < h \leq 1.0$ $\pm 4 \cdots 1.0 < h \leq 2.0$	図面の寸法表示箇所 で測定。		3-2-12-1
						外周長 L (m)	$\pm (10 + L / 10)$			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準		測 定 箇 所	摘 要	
								鋼桁等	トラス・アーチ等			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工 共 通	3	1	桁製作工 (仮組立による検査を実施する場合) (シミュレーション仮組立検査を行う場合)	部 材 精 度	フランジ幅 w (m)	±2…… ±3…… ±4…… ±(3+w/2)……	w ≤ 0.5 0.5 < w ≤ 1.0 1.0 < w ≤ 2.0 2.0 < w	主桁・主構 各支点及び各支間中央付近を測定。 床組など 構造別に、5部材につき1個抜き 取った部材の中央付近を測定。 なお、JISマーク表示品を使用する場 合は、製造工場の発行するJISに基づ く試験成績表に替えることができる。	 I型鋼桁 トラス弦材	3-2-12-3
							板の 平面 度 δ (mm)	鋼桁及びト ラス等の部 材の腹板	h / 250	主桁 各支点及び各支間中央付近を測定。 h : 腹板高 (mm) b : 腹板又はリップの間隔 (mm) w : フランジ幅 (mm)		3-2-12-3
								箱桁及びト ラス等のフ ランジ鋼床 版のデッキ プレート	b / 150			3-2-12-3
							フランジの直角度 δ (mm)		w / 200			
							部 材 長 ℓ (m)	鋼桁	±3… ℓ ≤ 10 ±4… ℓ > 10	原則として仮組立をしない状態の部材 について、主要部材全数を測定。		3-2-12-3
								トラス、 アーチなど	±2… ℓ ≤ 10 ±3… ℓ > 10			
							圧縮材の曲がり δ (mm)		ℓ / 1000	—	主要部材全数を測 定。 ℓ : 部材長 (mm)	
<p>※規格値のwに代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「板の平面度 δ、フランジの直角度 δ、圧縮材の曲り δ」の規格値のh、b、wに代入する数値はmm単位の数値とする。</p>												

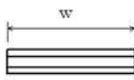
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準		測 定 箇 所	摘 要	
								鋼桁等	トラス・アーチ等			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	3	1	桁製作工 (仮組立による検査を 実施する場合) (シミュレーション仮 組立検査を行う場合)	仮 組 立 精 度	全長 L (m) 支間長 Ln (m)	$\pm(10+L/10)$ $\pm(10+Ln/10)$	各桁毎に全数測定。		<p>単径間の場合 多径間の場合</p>	3-2-12-3
							主桁、主構の中心 間距離 B (m)	$\pm 4 \cdots \cdots B \leq 2$ $\pm(3+B/2)$ $\cdots \cdots B > 2$	各支点及び各支間中央付近を測定。			3-2-12-3
							主構の組立高さ h (m)	$\pm 5 \cdots \cdots h \leq 5$ $\pm(2.5+h/2)$ $\cdots \cdots h > 5$	—	両端部及び中心部 を測定。		3-2-12-3
							主桁、主構の通り δ (mm)	$5+L/5 \cdots \cdots$ $L \leq 100$ $25 \cdots \cdots L > 100$	最も外側の主桁又は主構について支点 及び支間中央の1点を測定。 L：測線上 (m)			3-2-12-3
							主桁、主構のそり δ (mm)	$-5 \sim +5 \cdots \cdots$ $L \leq 20$ $-5 \sim +10 \cdots \cdots$ $20 < L \leq 40$ $-5 \sim +15 \cdots \cdots$ $40 < L \leq 80$ $-5 \sim +25 \cdots \cdots$ $80 < L \leq 200$	各主桁について10 ～12m間隔を測 定。 L：主桁の 支間長 (m)	各主構の各格点を 測定。 L：主構の支間長 (m)		3-2-12-3
							主桁、主構の橋端 における出入差 δ (mm)	± 10	どちらか一方の主桁（主構）端を測 定。			3-2-12-3
							主桁、主構の鉛直 度 δ (mm)	$3+h/1000$	各主桁の両端部を 測定。 h：主桁の高さ (mm)	支点及び支間中央 付近を測定。 h：主構の高さ (mm)		3-2-12-3
							現場継手部のすき 間 $\delta 1, \delta 2$ (mm)	± 5	主桁、主構の全継手数の1/2を測定。 $\delta 1, \delta 2$ のうち大きいもの なお、設計値が5mm未満の場合は、す き間の許容範囲の下限値を0mmとす る。（例：設計値が3mmの場合、すき 間の許容範囲は0mm～8mm）			3-2-12-3
							<p>※規格値のL, B, h に代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「主桁、主構の鉛直度 δ」の規格値のh に代入する数値はmm単位の数値とする。</p>					

出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要				
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	3	2	桁製作工 (仮組立検査を実施しない場合)	部 材 精 度	フランジ幅 w (m)	±2…… w ≤ 0.5 ±3…… 5 < w ≤ 1.0 ±4……	主桁、主構 各支点及び各支間中央付近を測定。 床組など 構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。	 I型鋼桁	3-2-12-3			
							腹板高 h (m)	1.0 < w ≤ 2.0 ±(3+w/2)…… 2.0 < w						
							板 の 平 面 度 δ (mm)	鋼桁等の部 材の腹板				h / 250	主桁 各支点及び各支間中央付近を測定。 h : 腹板高 (mm) b : 腹板又はリブの間隔 (mm) w : フランジ幅 (mm)	
								箱桁等のフ ランジ鋼床 版のデッキ プレート				b / 150		
							フランジの直角度 δ (mm)	w / 200						
							部 材 長 ℓ (m)	鋼桁				±3…ℓ ≤ 10 ±4…ℓ > 10	主要部材全数を測定。	
<p>※規格値のwに代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「板の平面度 δ、フランジの直角度 δ」の規格値のh, b, wに代入する数値はmm単位の数値とする。</p>														

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	3	3	桁製作工 (鋼製堰堤製作工(仮組立時))	部材の水平度	10	全数を測定。		3-2-12-3
						堤 長 L	±30			
						堤 長 l	±10			
						堤 幅 W	±30			
						堤 幅 w	±10			
						高 さ H	±10			
						ベースプレートの高さ	±10			
						本体の傾き	±H/500			

出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	4		検査路製作工	部材	部材長 l (m)	$\pm 3 \cdots l \leq 10$ $\pm 4 \cdots l > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。		3-2-12-4
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	5		鋼製伸縮継手製作工	部材	部材長 w (m)	0～+30	製品全数を測定。		3-2-12-5
						仮 組 立 時	組合せる伸縮装置 との高さの差 δ_1 (mm)	± 4			
							フィンガーの食い 違い δ_2 (mm)	± 2	 (実測値) δ_2		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	6		落橋防止装置製作工	部材	部材長 l (m)	$\pm 3 \cdots l \leq 10$ $\pm 4 \cdots l > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。		3-2-12-6
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	7		橋梁用防護柵製作工	部材	部材長 l (m)	$\pm 3 \cdots l \leq 10$ $\pm 4 \cdots l > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。		3-2-12-7

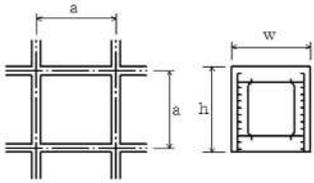
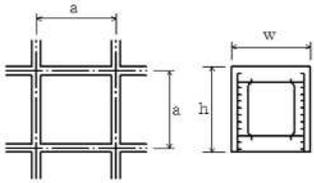
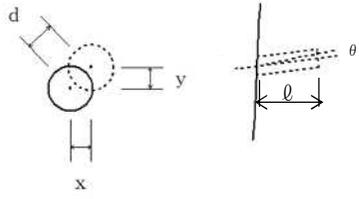
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	8		アンカーフレーム製作工	仮組立時	上面水平度 δ_1 (mm)	$b/500$	軸心上全数測定。		3-2-12-8	
							鉛直度 δ_2 (mm)	$h/500$				
							高さ h (mm)	± 5				
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	9		プレビーム用桁製作工	部材	フランジ幅 w (m) 腹板高 h (m)	$\pm 2 \dots \dots$ $w \leq 0.5$ $\pm 3 \dots \dots$ $0.5 < w \leq 1.0$ $\pm 4 \dots \dots$ $1.0 < w \leq 2.0$ $\pm (3 + w/2) \dots$ $2.0 < w$	各支点及び各支間中央付近を測定。	 I型鋼桁	3-2-12-9	
							フランジの直角度 δ (mm)	$w/200$	各支点及び各支間中央付近を測定。		3-2-12-9	
							部材長 ℓ (m)	$\pm 3 \dots \ell \leq 10$ $\pm 4 \dots \ell > 10$	原則として仮組立をしない部材について主要部材全数で測定。		3-2-12-9	
							仮組立時	主桁のそり δ	$-5 \sim +5$ $\dots L \leq 20$ $-5 \sim +10$ $\dots 20 < L \leq 40$	各主桁について10～12m間隔を測定。		3-2-12-9

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	10		鋼製排水管製作工	部材	部材長 \varnothing (m)	$\pm 3 \cdots \varnothing \leq 10$ $\pm 4 \cdots \varnothing > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。		3-2-12-10
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	11		工場塗装工	塗 膜 厚		<p>a. ロット塗膜厚の平均値は、目標塗膜厚合計値の90%以上。</p> <p>b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。</p> <p>c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%以下。ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。</p>	<p>外面塗装では、無機ジンクリッチペイントの塗付後と上塗り終了時に測定し、内面塗装では内面塗装終了時に測定。</p> <p>1ロットの大きさは、500m²とする。</p> <p>1ロット当たり測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。ただし、1ロットの面積が200m²に満たない場合は10m²ごとに1点とする。</p>		3-2-12-11

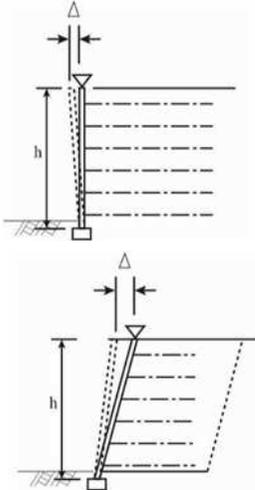
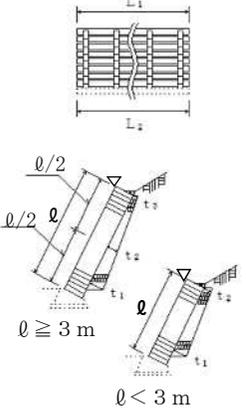
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	13 橋 梁 架 設 工			架設工（鋼橋） （クレーン架設） （ケーブルクレーン架設） （ケーブルエレクション架設） （架設桁架設） （送出し架設） （トラベラークレーン架設）	全 長 L (m) 支間長 L _n (m)	±(20+L/5) ±(20+L _n /5)	各桁毎に全数測定。		3-2-13
						通 り δ (mm)	±(10+2L/5)	L：主桁・主構の支間長(m)		
						そ り δ (mm)	±(25+L/2)	主桁、主構を全数測定。 L：主桁・主構の支間長(m)		
						※主桁、主構の中心間 距離B(m)	±4…… B≤2 ±(3+B/2)…… B>2	各支点及び各支間中央付近を測定。		
						※主桁の橋端における 出入差 δ (mm)	±10	どちらか一方の主桁（主構）端を測定。		
						※主桁、主構の鉛直度 δ (mm)	3+h/1000	各主桁の両端部を測定。h：主桁・主構の高さ(mm)		
						※現場継手部のすき間 δ ₁ , δ ₂ (mm)	±5	主桁、主構の全継手数の1/2を測定。 δ ₁ , δ ₂ のうち大きいもの なお、設計値が5mm未満の場合は、すき間の許容範囲の下限値を0mmとする。 （例：設計値が3mmの場合、すき間の許容範囲は0mm～8mm）		
								※は仮組立検査を実施しない工事に適用。		
<p>※規格値のL, Bに代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「主げた、主構の鉛直度 δ」の規格値のhに代入する数値はmm単位の数値とする。</p>										

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要					
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	13 橋梁 架設 工			架設工（コンクリート橋） （クレーン架設） （架設桁架設） 架設工支保工（固定） （移動） 架設桁架設（片持架設） （押し架設）	全 長・支 間	—	各桁毎に全数測定。		3-2-13					
						桁の中心間距離	—	一連毎の両端及び支間中央について各上下間を測定。							
						そ り	—	主桁を全数測定。							
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	14 法面 工 共 通	2	1	植生工 （種子散布工） （張芝工） （筋芝工） （市松芝工） （植生シート工） （植生マット工） （植生筋工） （人工張芝工） （植生穴工）	切土法長 ϕ	$\phi < 5m$	-200	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。	3-2-14-2					
							$\phi \geq 5m$	法長の-4%							
						盛土法長 ϕ	$\phi < 5m$	-100							
							$\phi \geq 5m$	法長の-2%							
						延 長 L	-200	1 施工箇所毎							
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	14 法面 工 共 通	2	2	植生工 （植生基材吹付工） （客土吹付工）	法長 ϕ	$\phi < 5m$	-200	施工延長40mにつき1ヶ所、40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。	3-2-14-2					
							$\phi \geq 5m$	法長の-4%							
						厚さ t	$t < 5cm$	-10			施工面積200㎡につき1ヶ所、面積200㎡以下のものは、1施工箇所につき2ヶ所。 検査孔により測定。				
							$t \geq 5cm$	-20							
						ただし、吹付面に凹凸がある場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、平均厚は設計厚以上。									
						延 長 L	-200	1 施工箇所毎							

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	14 法面 工 共通	3		吹付工 (コンクリート) (モルタル)	法長 ℓ	$\ell < 3m$	-50	施工延長40mにつき1ヶ所、40m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。測定断面に凹凸があり、曲線法長の測定が困難な場合は直線法長とする。		3-2-14-3
							$\ell \geq 3m$	-100			
						厚さ t	$t < 5cm$	-10	200㎡につき1ヶ所以上、200㎡以下は2ヶ所をせん孔により測定。		
							$t \geq 5cm$	-20			
						ただし、吹付面に凹凸がある場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、平均厚は設計厚以上					
延 長 L		-200	1 施工箇所毎								

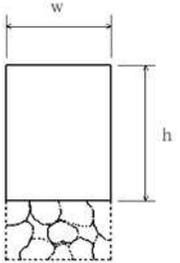
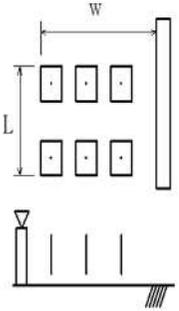
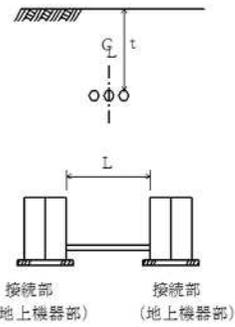
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	14 法面 工 共通	4	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長 ℓ	$\ell < 10\text{m}$	-100	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-14-4 曲線部は設計図書による	
							$\ell \geq 10\text{m}$	-200				
						幅	w	-30				枠延長100mにつき1ヶ所、枠延長100m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。
						高 さ	h	-30				
						枠中心間隔	a	± 100				
						延 長	L	-200				1 施工箇所毎
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	14 法面 工 共通	4	2	法枠工 (プレキャスト法枠工)	法長 ℓ	$\ell < 10\text{m}$	-100	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-14-4	
							$\ell \geq 10\text{m}$	-200				
						延 長	L	-200				1 施工箇所毎
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	14 法面 工 共通	6		アンカー工	削孔深さ	ℓ	設計値以上	全数		3-2-14-6 ※鉄筋挿入工にも適用する	
						配置誤差	d	100				
						せん孔方向	θ	± 2.5 度				
									$d = \sqrt{x^2 + y^2}$			

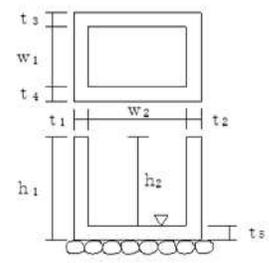
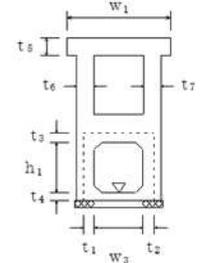
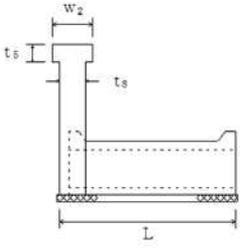
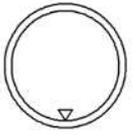
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	15 擁 壁 工 共 通	1		(一般事項) 場所打擁壁工	基 準 高 ∇	± 50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-15-1	
						厚 さ t	-20				
						裏 込 厚 さ	-50				
						幅 w_1, w_2	-30				
						高 さ h	$h < 3m$				-50
							$h \geq 3m$				-100
						延 長 L	-200				1 施工箇所毎
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	15 擁 壁 工 共 通	2		プレキャスト擁壁工	基 準 高 ∇	± 50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-15-2	
						延 長 L	-200				1 施工箇所毎

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
I-61	3 土木工事 共通編	2 共通的 工種	15 擁壁工 共通	3	補強土壁工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	基準高 ∇	± 50	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-15-3 誤解を招く可能性があるため控え長さは、補強材の設計長とすると記載。	
						高さ h	$h < 3\text{m}$				-50
							$h \geq 3\text{m}$				-100
						鉛直度 Δ	$\pm 0.03\text{h}$ かつ ± 300 以内				
						控え長さ (補強材の設計長)	設計値以上				
						延長 L	-200				1 施工箇所毎
	3 土木工事 共通編	2 一般 施工	15 擁壁工 共通	4	井桁ブロック工	基準高 ∇	± 50	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-15-4	
						法長 ℓ	$\ell < 3\text{m}$				-50
							$\ell \geq 3\text{m}$				-100
						厚さ t_1, t_2, t_3	-50				
延長 L_1, L_2	-200	1 施工箇所毎									

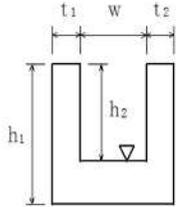
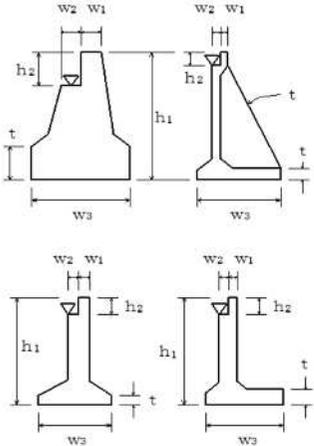
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	16 浚 渫 工 共 通	3	1	浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船)	基準高▽	電気船	200ps	-800~+200	延長方向は、設計図書により指定された測点毎。 横断方向は、5 m毎。 また、斜面は法尻、法肩とし必要に応じ中間点も加える。ただし、各測定値の平均値の設計基準高以下であること。		3-2-16-3
								500ps	-1000~+200			
								1000ps	-1200~+200			
							ディーゼル船	250ps	-800~+200			
								420ps 600ps	-1000~+200			
								1350ps	-1200~+200			
							幅		-200			
							延 長		-200			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	16 浚 渫 工 共 通	3	2	浚渫船運転工 (グラブ浚渫船) (バックホウ浚渫船)	基準高▽		+200以下	延長方向は、設計図書により指定された測点毎。 横断方向は、5 m毎。 また、斜面は法尻、法肩とし必要に応じ中間点も加える。ただし、各測定値の平均値の設計基準高以下であること。		3-2-16-3	
						幅		-200				
						延 長		-200				

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木工事共通編	2 一般施工	18 床版工	2		床版工	基準高 ▽	±20	基準高は、1径間当たり2ヶ所（支点付近）で、1箇所当たり両端と中央部の3点、幅は1径間当たり3ヶ所、厚さは型枠設置時におおむね10㎡に1ヶ所測定。 （床版の厚さは、型枠検査をもって代える。）		3-2-18-2
						幅 w	0～+30			
						厚 さ t	-10～+20			
						鉄筋のかぶり	設計値以上	1径間当たり3断面（両端及び中央）測定。1断面の測定箇所は断面変化毎1ヶ所とする。		
						鉄筋の有効高さ	±10			
						鉄筋間隔	±20	1径間当たり3ヶ所（両端及び中央）測定。 1ヶ所の測定は、橋軸方向の鉄筋は全数、橋軸直角方向の鉄筋は加工形状毎に2mの範囲を測定。		
上記、鉄筋の有効高さがマイナスの場合	±10									

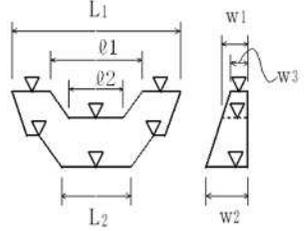
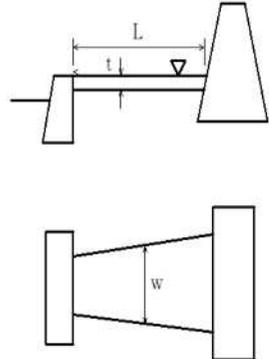
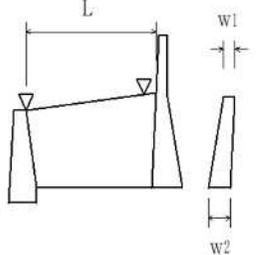
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
6 河川編	1 築堤護岸工	7 法覆護岸工	4		護岸付属物工	幅 w	-30			6-1-7-4
						高さ h	-30			
6 河川編	1 築堤・護岸	10 水制工	8		杭出し水制工	基準高 ▽	±50	1組毎		6-1-10-8
						幅 w	±300			
						方向	±7°			
						延長 L	-200			
6 河川編	1 築堤・護岸	13 光ケーブル配管工	3		配管工	埋設深 t	0～+50	接続部（地上機器部）間毎に1ヶ所。		6-1-13-3
						延長 L	-200	接続部（地上機器部）間毎で全数。 【管路センターで測定】		

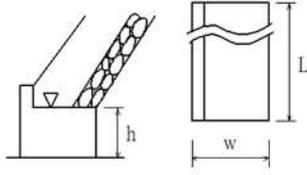
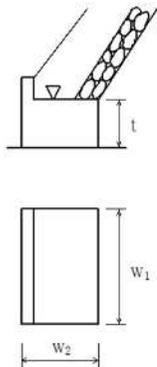
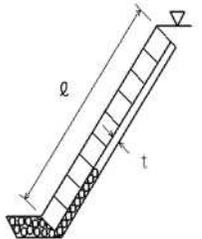
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
6 河川編	1 築堤・護岸	13 光ケーブル配管工	4		ハンドホール工	基準高 ▽	±30	1ヶ所毎 ※は現場打部分のある場合		6-1-13-4
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20			
						※幅 w_1, w_2	-30			
						※高さ h_1, h_2	-30			
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管本体内工	6	1	函渠工 (本体内工)	基準高 ▽	±30	柔構造樋門の場合は埋戻前（載荷前）に測定する。 函渠寸法は、両端、施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所にて測定。 門柱、操作台等は、図面の寸法表示箇所にて測定。 プレキャスト製品使用の場合は、製品寸法を規格証明書で確認するものとし、『基準高』と『延長』を測定。	 	6-3-5-6
						厚さ $t_1 \sim t_8$	-20			
						幅 w_1, w_2	-30			
						内空幅 w_3	-30			
						内空高 h_1	±30			
						延長 L	-200			
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管本体内工	6	2	函渠工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	基準高 ▽	±30	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 1 施工箇所毎		6-3-5-6
						延長 L	-200			

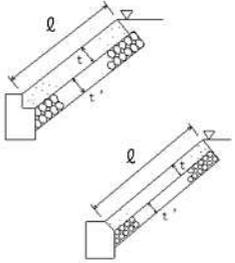
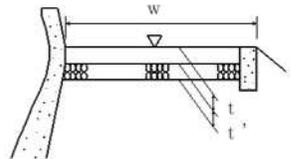
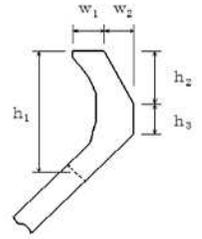
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管本體工	7 8		翼壁工 水叩工	基 準 高 ∇	± 30	図面の寸法表示箇所にて測定。		6-3-5-7 6-3-5-8	
						厚 さ t	-20				
						幅 w	-30				
						高 さ h	± 30				
						延 長 L	-50				
6 河川編	4 水門	6 水門本體工	7 8 9 10 11		床版工 堰柱工 門柱工 ゲート操作台工 胸壁工	基 準 高 ∇	± 30	図面の寸法表示箇所にて測定。		6-4-6-7 6-4-6-8 6-4-6-9 6-4-6-10 6-4-6-11	
						厚 さ t	-20				
						幅 w	-30				
						高 さ h	± 30				
						延 長 L	-50				
6 河川編	5 堰	6 可動堰本體工	13 14		閘門工 土砂吐工	基 準 高 ∇	± 30	図面の寸法表示箇所にて測定。		6-5-6-13 6-5-6-14	
						厚 さ t	-20				
						幅 w	-30				
						高 さ h	± 30				
						延 長 L	-50				
6 河川編	5 堰	7 固定堰本體工	8 9 10		堰本體工 水叩工 土砂吐工	基 準 高 ∇	± 30	基準高、幅、高さ、厚さは両端、施工継手箇所及び構造図の寸法表示箇所にて測定。		6-5-7-8 6-5-7-9 6-5-7-10	
						厚 さ t	-20				
						幅 w	-30				
						高 さ h	± 30				
						堰長 L	L < 20m				-50
							L \geq 20m				-100

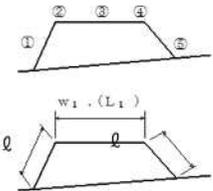
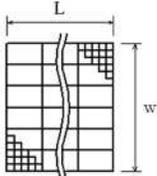
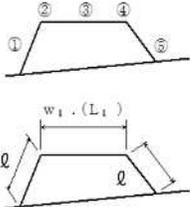
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
6 河川編	5 堰	8 魚道工	3		魚道本体工	基準高 ∇	± 30	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		6-5-8-3
						厚さ t_1, t_2	-20			
						幅 w	-30			
						高さ h_1, h_2	-30			
						延長 L	-200			
6 河川編	5 堰	9 管理橋下部工	2		管理橋橋台工	基準高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は図面の寸法表示箇所で測定。		6-5-9-2
						厚 さ t	-20			
						天 端 幅 w_1 (橋軸方向)	-10			
						天 端 幅 w_2 (橋軸方向)	-10			
						敷 幅 w_3 (橋軸方向)	-50			
						高 さ h_1	-50			
						胸壁の高さ h_2	-30			
						天 端 長 l_1	-50			
						敷 長 l_2	-50			
						胸壁間距離 l	± 30			
						支 点 長 及 び 中心線の変 化	± 50			

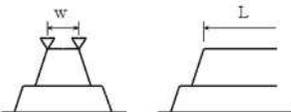
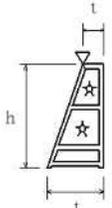
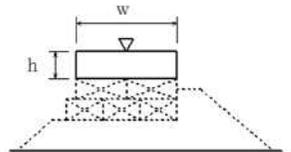
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
6 河川編	6 排水機場	4 機場本 体工	6		本 体工	基 準 高 ∇	± 30	図面の表示箇所 で測定。		6-6-4-6
						厚 さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高 さ h_1, h_2	± 30			
						延 長 L	-50			
6 河川編	6 排水機場	4 機場本 体工	7		燃 料貯油 槽工	基 準 高 ∇	± 30	図面の表示箇所 で測定。		6-6-4-7
						厚 さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高 さ h	± 30			
						延 長 L	-50			
6 河川編	6 排水機場	5 沈砂池 工	7		コ ンクリ ート床 版工	基 準 高 ∇	± 30	図面の表示箇所 で測定。		6-6-5-7
						厚 さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高 さ h	± 30			
						延 長 L	-50			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
6 河川編	7 床止め・床固め	4 床止め工	6		本體工 (床固め本體工)	基準高 ∇	± 30	図面に表示してある箇所にて測定。		6-7-4-6
						天端幅 w_1, w_3	-30			
						堤幅 w_2	-30			
						堤長 L_1, L_2	-100			
						水通し幅 ϕ_1, ϕ_2	± 50			
6 河川編	7 床止め・床固め	4 床止め工	8		水叩工	基準高 ∇	± 30	基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所にて測定。 厚さは目地及びその中間点にて測定。		6-7-4-8
						厚さ t	-30			
						幅 w	-100			
						延長 L	-100			
6 河川編	7 床止め・床固め	5 床固め工	6		側壁工	基準高 ∇	± 30	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎にて測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。		6-7-5-6
						天端幅 w_1	-30			
						堤幅 w_2	-30			
						長さ L	-100			

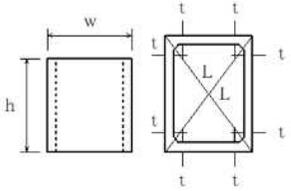
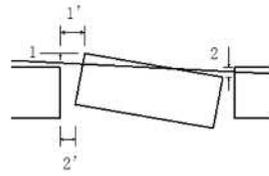
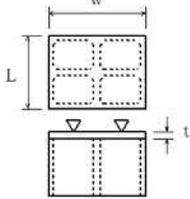
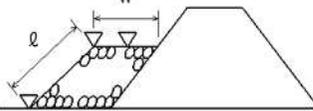
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	5 護岸 基礎工	5		場所打コンクリート工	基 準 高 ∇	± 30	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-1-5-5	
						幅 w	-30				
						高 さ h	-30				
						延 長 L	-200				
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	5 護岸 基礎工	6		海岸コンクリートブロック工	基 準 高 ∇	± 50	ブロック個数40個につき1ヶ所の割で測定。基準高、延長は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-1-5-6	
						ブロック厚 t	-20				
						ブロック縦幅 w_1	-20				
						ブロック横幅 w_2	-20				
						延 長 L	-200				
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	6 護岸 工	4		海岸コンクリートブロック工	基 準 高 ∇	± 50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-1-6-4	
						法長 l	$l < 5m$				-100
							$l \geq 5m$				$l \times (-2\%)$
						厚 さ t	-50				
						延 長 L	-200				

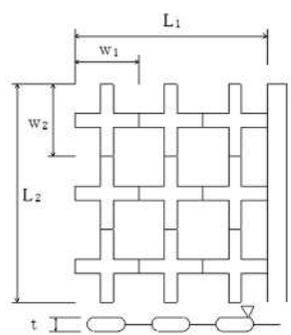
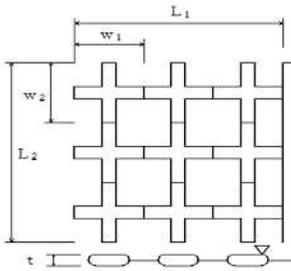
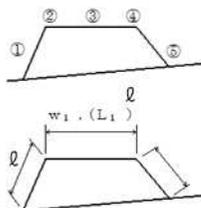
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	6 護岸工	5		コンクリート被覆工	基準高 ∇	± 50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-1-6-5	
						法長 ℓ	$\ell < 3\text{m}$				-50
							$\ell \geq 3\text{m}$				-100
						厚さ t	$t < 100$				-20
							$t \geq 100$				-30
						裏込材厚 t'	-50				
延長 L	-200										
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	8 天端被覆工	2		コンクリート被覆工	基準高 ∇	± 50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-1-8-2	
						幅 w	-50				
						厚さ t	-10				
						基礎厚 t'	-45				
						延長 L	-200				
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	9 波返工	3		波返工	基準高 ∇	± 50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-1-9-3	
						幅 w_1, w_2	-30				
						高さ $h < 3\text{m}$ h_1, h_2, h_3	-50				
						高さ $h \geq 3\text{m}$ h_1, h_2, h_3	-100				
						延長 L	-200				

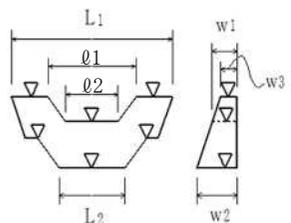
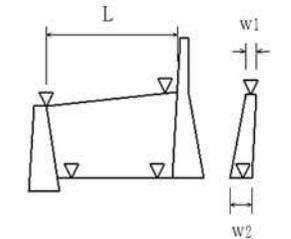
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	4 突堤基礎工	4		捨石工	基準 高 ▽	本 均 し	±50	施工延長10mにつき、1測点当たり5 点以上測定。		7-2-4-4	
							表 面 均 し	±100				
							荒均 し	異形ブロック据付面 (乱積)の 高さ				±500
								異形ブロック据付面 (乱積)以 外の高さ				±300
						被覆 均し	異形ブロック据付面 (乱積)の 高さ	±500				
							異形ブロック据付面 (乱積)以 外の高さ	±300				
						法 長 ℓ	-100	幅は施工延長40m (測点間隔25mの場 合は50m)につき1ヶ所、延長40m (又は50m)以下のものは1施工箇所 につき2ヶ所、延長はセンターライン 及び表裏法肩。				
						天 端 幅 w_1	-100					
天 端 延 長 L_1	-200											
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	4 突堤基礎工	5		吸出し防止工	幅 w	-300	施工延長40m (測点間隔25mの場合 は50m)につき1ヶ所、延長40m (又 は50m)以下のものは1施工箇所につ き2ヶ所。		7-2-4-5		
						延 長 L	-500					
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	5 突堤本 体工	2		捨石工	基準 高 ▽	異形ブロック据付面 (乱積)の高さ	±500	施工延長10mにつき、1測点当たり5 点以上測定。		7-2-5-2	
							異形ブロック据付面 (乱積)以 外の高 さ	±300				
						法 長 ℓ	-100	幅は施工延長40m (測点間隔25mの場 合は50m)につき1ヶ所、延長40m (又は50m)以下のものは1施工箇所 につき2ヶ所、延長はセンターライン 及び表裏法肩。				
						天 端 幅 w_1	-100					
						天 端 延 長 L_1	-200					

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	5 突堤本 体工	5		海岸コンクリートブ ロック工	基準高▽	(層積) ブ ロック 規格26t未 満	±300	施工延長40m (測点間隔25mの場合は 50m) につき1ヶ所、延長40m (又は 50m) 以下のものは1施工箇所につ き2ヶ所。延長は、センターラインで行 う。		7-2-5-5
							(層積) ブ ロック 規格26t以 上	±500			
							(乱 積)	±ブロックの高さ の1/2			
						天 端 幅 w	-ブロックの高さ の1/2				
						天 端 延 長 L	-ブロックの高さ の1/2				
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	5 突堤本 体工	9		石砕工	基準高▽	±50	施工延長40m (測点間隔25mの場合は 50m) につき1ヶ所、延長40m (又は 50m) 以下のものは1施工箇所につ き2ヶ所。		7-2-5-9	
	厚 さ t	-50									
高さ h	h < 3m	-50									
	h ≥ 3m	-100									
	延 長 L	-200	1 施工箇所毎								
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	5 突堤本 体工	10		場所打コンクリート工	基準高▽	±30	施工延長40m (測点間隔25mの場合は 50m) につき1ヶ所、延長40m (又は 50m) 以下のものは1施工箇所につ き2ヶ所。		7-2-5-10	
	幅 w	-30									
	高 さ h	-30									
	延 長 L	-200									

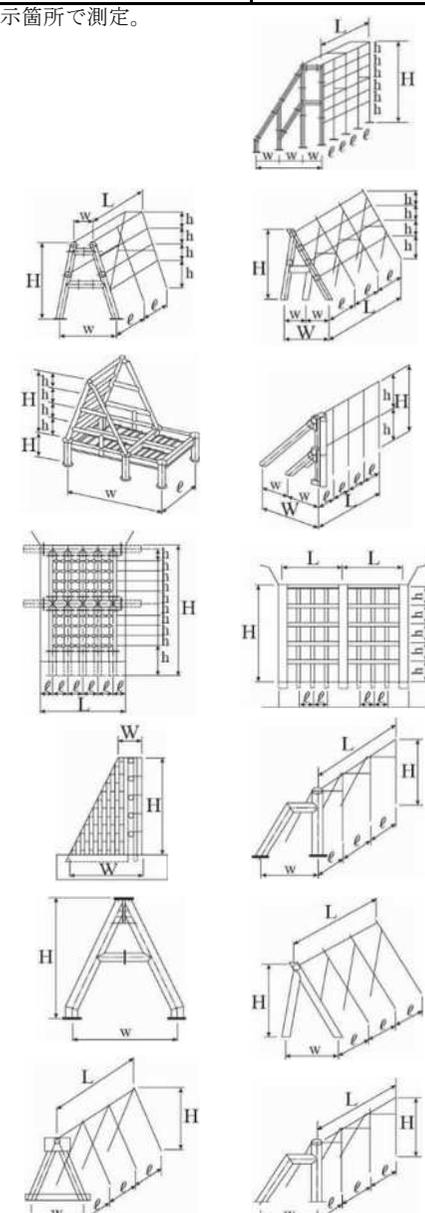
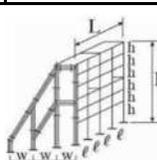
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本 体工	11	1	ケーソン工 (ケーソン工製作)	バ ラ ス ト の 基 準 高 ▽	砕石、砂	±100	各室中央部1ヶ所		7-2-5-11
							コンクリート	±50			
						壁 厚 t ₁	±10	底版完成時、各壁1ヶ所			
						幅 w	+30, -10	各層完成時に中央部及び底版と天端は両端			
						高 さ h ₁	+30, -10	完成時、四隅			
						長 さ L	+30, -10	各層完成時に中央部及び底版と天端は両端			
						底版厚さ t ₂	+30, -10	底版完成時、各室中央部1ヶ所			
						フーチング高さ h ₂	+30, -10	底版完成時、四隅			
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本 体工	11	2	ケーソン工 (ケーソン工据付)	法線に対する出入 1、2	ケーソン重量2000 t未満 ±100	据付完了後、両端2ヶ所		7-2-5-11	
							ケーソン重量2000 t以上 ±150				
						据付目地間隔 1'、2'	ケーソン重量2000 t未満 100以下	据付完了後、天端2ヶ所			
							ケーソン重量2000 t以上 200以下				
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本 体工	11	3	ケーソン工 (突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブ ロック	基 準 高 ▽	陸 上	±30	1室につき1ヶ所(中心)		7-2-5-11
							水 中	±50			
						厚 さ t	±30				
						幅 w	±30				
						長 さ L	±30				

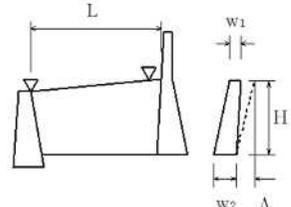
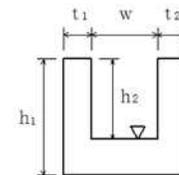
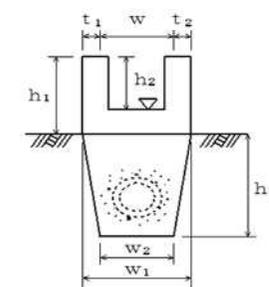
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	5 突堤本 体工	12	1	セルラー工 (セルラー工製作)	壁 厚 t	±10	型枠取外し後全数		7-2-5-12	
						幅 w	+20, -10				
						高 さ h	+20, -10				
						長 さ L	+20, -10				
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	5 突堤本 体工	12	2	セルラー工 (セルラー工据付)	法線に対する 出入 1、2	±50	据付後ブロック1個に2ヶ所(各段毎)		7-2-5-12	
						隣接ブロックと の間隔1'、2'	50以下				
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	5 突堤本 体工	12	3	セルラー工 (突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブ ロック	基準高▽	陸 上	±30	1室につき1ヶ所(中心)		7-2-5-12
							水 中	±50			
						厚 さ t	±30				
						幅 w	±30				
						長 さ L	±30				
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	6 根固め 工	2		捨石工	基準高▽	異形ブロック据付面 (乱積)の高さ	±500	施工延長10mにつき、1測点当たり5 点以上測定。		7-2-6-2
							異形ブロック据付面 (乱積)以外の高 さ	±300			
						法 長 l	-100	幅は施工延長40m(測点間隔25mの場 合は50m)につき1ヶ所、延長40m (又は50m)以下のものは1施工箇所 につき2ヶ所、延長はセンターライン 及び表裏法肩。			
						天 端 幅 w	-100				
						天 端 延 長 L	-200				

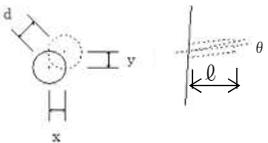
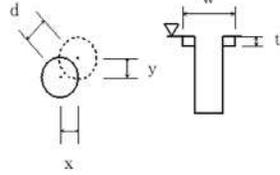
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要			
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工 岬	6 根固め工	3		根固めブロック工	基準 高▽	層 積	±300	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-2-6-3		
							乱 積	± t / 2					
						厚 さ t		-20	幅、厚さは40個につき1ヶ所測定。				
						幅 w ₁ w ₂	層 積	-20					
							乱 積	- t / 2					
						延長 L ₁ L ₂	層 積	-200	1 施工箇所毎				
乱 積	- t / 2												
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工 岬	7 消波工	3		消波ブロック工	基準 高▽	層 積	±300	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所。延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-2-7-3		
							乱 積	± t / 2					
						厚 さ t		-20	幅、厚さは40個につき1ヶ所測定。				
						幅 w ₁ , w ₂		-20					
						延長 L ₁ , L ₂		-200					
7 河川 海岸 編	3 海域堤防（人工 リーフ、離岸堤、 潜堤）	3 海域堤基礎工	3		捨石工	基準 高▽	本 均 し	±50	施工延長10mにつき、1 測点当たり5点以上測定。		7-3-3-3		
							荒 均し	異形ブロック据付面(乱積)の高さ				±500	
								異形ブロック据付面(乱積)以外の高さ				±300	
							被 覆均し	異形ブロック据付面(乱積)の高さ				±500	
								異形ブロック据付面(乱積)以外の高さ				±300	
							法 長 l					-100	幅は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所、延長はセンターライン及び表裏法肩。
							天 端 幅 w ₁					-100	
							天 端 延 長 L ₁					-200	

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
8 砂防編	1 砂防堰堤	3 工場製作工	4		鋼製堰堤仮設材製作工	部材 部材長 ℓ (m)	$\pm 3 \cdots \ell \leq 10$ $\pm 4 \cdots \ell > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。		8-1-3-4
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	4		コンクリート堰堤本体工	基準高 ∇	± 30	図面の表示箇所にて測定。		8-1-8-4
						天端部 堰幅 w_1, w_3 w_2	-30			
						水通しの幅 ℓ_1, ℓ_2	± 50			
						堤長 L_1, L_2	-100			
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	6		コンクリート側壁工	基準高 ∇	± 30	1. 図面の寸法表示箇所を測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。		8-1-8-6
						幅 w_1, w_2	-30			
						長さ L	-100			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	8		水叩工	基準高 ∇	± 30	基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。		8-1-8-8	
						幅 w	-100				
						厚さ t	-30				
						延長 L	-100				
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鋼製堰堤工	5	1	鋼製堰堤本體工 (不透過型)	水 通 し 部	堤 高 ∇	± 50	1. 図面の表示箇所で測定する。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。		8-1-9-5
							長 さ l_1, l_2	± 100			
							幅 w_1, w_3	± 50			
							下流側倒れ Δ	$\pm 0.02H_1$			
						袖 部	袖 高 ∇	± 50			
							幅 w_2	± 50			
							下流側倒れ Δ	$\pm 0.02H_2$			

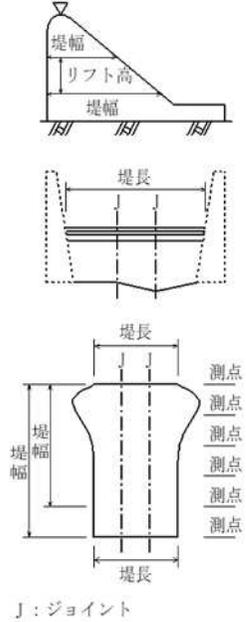
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
8	1	9	5	2	鋼製堰堤本工 (透過型)	堤長 L	±50	図面の寸法表示箇所にて測定。 		8-1-9-5
						堤長 ℓ	±10			
						堤幅 W	±30			
						堤幅 w	±10			
						高さ H	±10			
						高さ h	±10			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鉄製堰堤工	6		鋼製側壁工	堤 高 ∇	± 50	1. 図面に表示してある箇所にて測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。		8-1-9-6	
						長 さ L	± 100				
						幅 w_1, w_2	± 50				
						下流側倒れ Δ	$\pm 0.02H$				
						高さ h	$h < 3m$				-50
							$h \geq 3m$				-100
8 砂防編	2 流路	5 床固め工	8		魚道工	基 準 高 ∇	± 30	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		8-2-5-8	
						幅 w	-30				
						高さ h_1, h_2	-30				
						厚 さ t_1, t_2	-20				
						延 長 L	-200				
8 砂防編	3 斜面对策	6 山腹水路工	4		山腹明暗渠工	基 準 高 ∇	± 30	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		8-3-6-4	
						厚 さ t_1, t_2	-20				
						幅 w	-30				
						幅 w_1, w_2	-50				
						高さ h_1, h_2	-30				
						深 さ h_3	-30				
						延 長 L	-200				

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	7 地 下 水 排 除 工	4		集排水ボーリング工	削孔深さ ϕ	設計値以上	全数	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	8-3-7-4
						配置誤差 d	100			
						せん孔方向 θ	± 2.5 度			
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	7 地 下 水 排 除 工	5		集水井工	基準高 ∇	± 50	全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	8-3-7-5
						偏心量 d	150			
						長さ L	-100			
						巻立て幅 w	-50			
						巻立て厚さ t	-30			
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	9 抑 止 杭 工	6		合成杭工	基準高 ∇	± 50	全数測定。		8-3-9-6
						偏心量 d	D/4以内かつ 100以内			

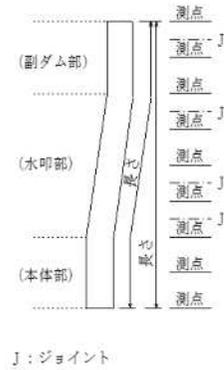
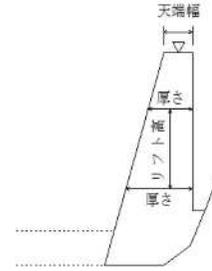
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工 (本体)	天 端 高 ▽	±20	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 ①天端高（越流部堤頂高を含む）は、各ジョイントについて測定。 ②堤幅、リフト高は、各ジョイントについて5リフトごとに測定。 (注) 堤幅、リフト高の測定は、上下流面型枠と水平打継目の接触部とする。（堤幅は、中心線又は、基準線との関係づけも含む） ③ジョイント間隔（横継目）は、5リフトごと上流端、下流端を対象に測定。 ④堤長は、天端中心線延長を測定。 3. ①越流堤頂部、天端仕上げなどの平坦性の測定方法は、監督職員の指示による。 ②監査廊の敷高、幅、高さ、平坦性などの測定方法は監督職員の指示による。		9-1-4
						天 端 幅	±20			
						ジョイント間隔	±30			
						リ フ ト 高	±50			
						堤 幅	-30, +50			
						堤 長	-100			
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工 (水叩)	天 端 高 ▽	±20	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 ①天端高（敷高）、ジョイント間は各ジョイント、各測点の交差点を測定。 ②長さは、各ジョイントごとに測定。 ③幅は、各測点ごとに測定。 3. 水叩の平坦性の測定は監督職員の指示による。		9-1-4
						ジョイント間隔	±30			
						幅	±40			
						長 さ	-100, +60			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工 (副ダム)	天 端 高 ▽	±20	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 ①天端高は、各ジョイントごとに測定。 ②堤幅、リフト高は、各ジョイントについて3リフトごとに測定。 (注) 堤幅、リフト高の測定は、上下流面型枠と水平打継目の接触部とする。(堤幅は、中心線又は、基準線との関係づけも含む) ③ジョイント間隔は、3リフトごと上流端、下流端を対象に測定。 ④堤長は、各測点ごとに測定。		9-1-4
						ジョイント間隔	±30			
						リ フ ト 高	±50			
						堤 幅	-30, +50			
						堤 長	±40			

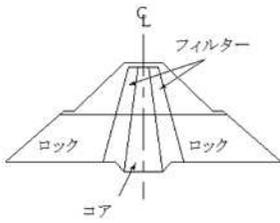


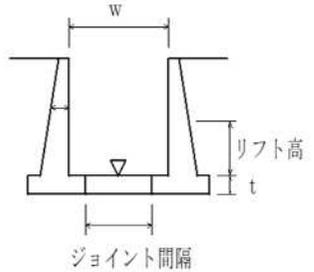
出来形管理基準及び規格値

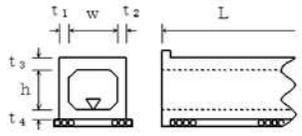
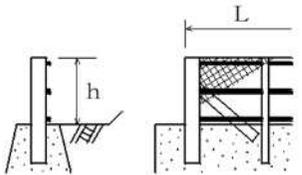
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工 (導流壁)	天 端 高 ▽	±30	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 ①天端高、天端幅は、各測点、又はジョイントごとに測定。 ②リフト高、厚さは、各測点、又はジョイントについて3リフトごとに測定。 (注) リフト高、厚さの測定は、前面、背面型枠設置後からとする。なお、リフト高、厚さの測定箇所は、前面背面型枠と水平打継目の接触部とする。 ③長さは、天端中心線の水平延長又は、測点に直角な水平延長を測定。		9-1-4
						ジョイント間隔	±20			
						リ フ ト 高	±50			
						長 さ	±100			
						厚 さ	±20			

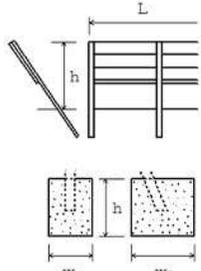
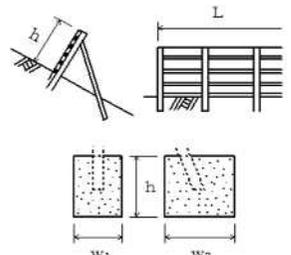
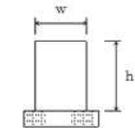
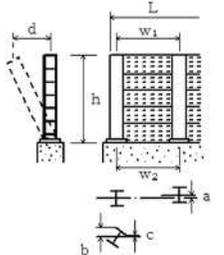


出来形管理基準及び規格値

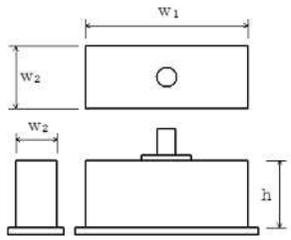
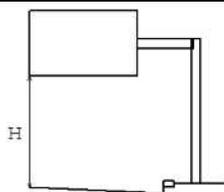
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
9 ダム 編	2 フィル ダム	4 盛立工	5		コアの盛立	基 準 高 ▽	設計値以上	各測点について5層毎に測定。 ※外側境界線は標準機種（タンピング ローラ）の場合		9-2-4-5
						外 側 境 界 線	-0, +500			
9 ダム 編	2 フィル ダム	4 盛立工	6		フィルターの盛立	基 準 高 ▽	-0	各測点について5層毎に測定。		9-2-4-6
						外 側 境 界 線	-0, +1000			
						盛 立 幅	-0, +1000			
9 ダム 編	2 フィル ダム	4 盛立工	7		ロックの盛立	基 準 高 ▽	-100	各測点について盛立5m毎に測定。		9-2-4-7
						外 側 境 界 線	-0, +2000			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
9 ダム 編	2 フィル ダム				フィルダム (洪水吐)	基 準 高 ∇	± 20	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 1回/1施工箇所		9-2
						ジョイント間隔	± 30			
						厚 さ t	± 20			
						幅 w	± 40			
						リフト高さ	± 20			
						長 さ L	± 100			
9 ダム 編	3 基礎 グラウ チング	3 ボー リング 工			ボーリング工	深 度 L	設計値以上	ボーリング工毎 ※配置位置の規定はコンクリート面 で行うカーテングラウトに適用する。		9-3-3
						配 置 誤 差	100			

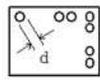
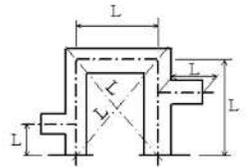
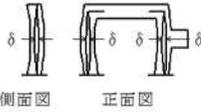
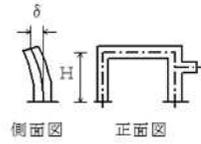
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
10 道路 編	1 道路 改良	3 工場 製作 工	2		遮音壁支柱製作工	部材	部材長 l (m)	$\pm 3 \cdots l \leq 10$ $\pm 4 \cdots l > 10$	図面の寸法表示箇所 で測定。		10-1-3-2
10 道路 編	1 道路 改良	9 カル バート 工	6		場所打函渠工	基準高 ∇	± 30	両端、施工継手及び図面の寸法表示箇所 で測定。		10-1-9-6	
						厚さ $t_1 \sim t_4$	-20				
						幅 (内法) w	-30				
						高 さ h	± 30				
						延長 L	L < 20m				-50
	L \geq 20m	-100									
10 道路 編	1 道路 改良	11 落石 雪害 防止 工	4		落石防止網工	幅 w	-200	1 施工箇所毎		10-1-11-4	
						延 長 L	-200				
10 道路 編	1 道路 改良	11 落石 雪害 防止 工	5		落石防護柵工	高 さ h	± 30	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、施工延長40m (又は50m) 以下のものは1 施工箇所につき2ヶ所。		10-1-11-5	
						延 長 L	-200				1 施工箇所毎

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
10 道路編	1 道路改良	11 落石雪害防止工	6		防雪柵工	高 さ h	±30	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、施工延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		10-1-11-6	
						延 長 L	-200				1 施工箇所毎
						基礎	幅 w ₁ , w ₂	-30			基礎 1 基毎
							高 さ h	-30			
10 道路編	1 道路改良	11 落石雪害防止工	7		雪崩予防柵工	高 さ h	±30	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、施工延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		10-1-11-7	
						延 長 L	-200				1 施工箇所毎
						基礎	幅 w ₁ , w ₂	-30			基礎 1 基毎
							高 さ h	-30			
						アンカー長ℓ	打 込 み ℓ	-10%			全数
埋 込 み ℓ	-5%										
10 道路編	1 道路改良	12 遮音壁工	4		遮音壁基礎工	幅 w	-30	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、施工延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		10-1-12-4	
						高 さ h	-30				
						延 長 L	-200	1 施工箇所毎			
10 道路編	1 道路改良	12 遮音壁工	5		遮音壁本体工	支柱	間隔 w ₁ , w ₂	±15	施工延長5スパンにつき1ヶ所		10-1-12-5
							ず れ a	10			
							ねじれ b-c	5			
							倒 れ d	h×0.5%			
						高 さ h	+30, -20				
						延 長 L	-200	1 施工箇所毎			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
							個々の測定値 (X)					10個の測定値の平均 (X ₁₀)
							中規模以上	小規模以下				中規模以上
10 道 路 編	2 舗 装	4 舗 装 工			歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	基準高▽	±50	—	基準高は片側延長40m毎に1ヶ所の割で測定。 厚さは、片側延長200m毎に1ヶ所掘り起こして測定。 幅は、片側延長80m毎に1ヶ所測定。 ※両端部2点で測定する。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500 t未満あるいは施工面積が2000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	10-2-4	
						厚 さ	t < 15cm	-30				-10
							t ≥ 15cm	-45				-15
						幅	-100	—				
10 道 路 編	2 舗 装	4 舗 装 工			歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	厚 さ	-9	-3	幅は、片側延長80m毎に1ヶ所の割で測定。厚さは、片側延長200m毎に1ヶ所コアを採取して測定。		10-2-4	
						幅	-25	—				

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道 路 編	2 舗 装	5 排 水 構 造 物 工	9		排水性舗装用路肩排水工	基 準 高 ∇	± 30	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		10-2-5-9
						延 長 L	-200			
10 道 路 編	2 舗 装	7 踏 掛 版 工	4		踏掛版工 (コンクリート工)	基 準 高	± 20	1ヶ所/1踏掛版		10-2-7-4
						各 部 の 厚 さ	± 20	1ヶ所/1踏掛版		
						各 部 の 長 さ	± 30	1ヶ所/1踏掛版		
					(ラバーシュー)	各 部 の 長 さ	± 20	全数		
					厚 さ	—				
					(アンカーボルト)	中 心 の ず れ	± 20	全数		
					ア ン カ ー 長	± 20	全数			
10 道 路 編	2 舗 装	9 標 識 工	4	1	大型標識工 (標識基礎工)	幅 w_1, w_2	-30	基礎一基毎		10-2-9-4
					高 さ h	-30				
10 道 路 編	2 舗 装	9 標 識 工	4	2	大型標識工 (標識柱工)	設置高さ H	設計値以上	1ヶ所/1基		10-2-9-4

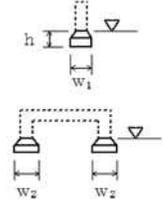
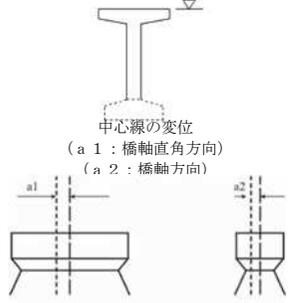
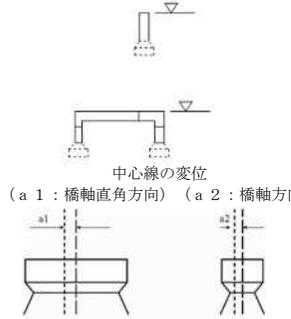
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路 編	2 舗 装	12 道 路 付 属 施 設 工	5	1	ケーブル配管工	埋 設 深 t	0～+50	接続部間毎に1ヶ所		10-2-12-5
						延 長 L	-200	接続部間毎で全数		
10 道路 編	2 舗 装	12 道 路 付 属 施 設 工	5	2	ケーブル配管工 (ハンドホール)	基 準 高 ∇	± 30	1ヶ所毎 ※印は、現場打ちのある場合		10-2-12-5
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20			
						※幅 w_1, w_2	-30			
						※高さ h_1, h_2	-30			
10 道路 編	2 舗 装	12 道 路 付 属 施 設 工	6		照明工 (照明柱基礎工)	幅 w	-30	1ヶ所／1施工箇所		10-2-12-6
						高 さ h	-30			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
10 道路編	3 橋梁下部	3 工場製作工	3		鋼製橋脚製作工	部 材	脚柱とベースプレートの鉛直度 δ (mm)	$w/500$	各脚柱、ベースプレートを測定。		10-3-3-3	
							ベ ー ス プ レ ー ト	孔の位置	± 2	全数を測定。		10-3-3-3
								孔の径 d	0~5	全数を測定。		
						仮 組 立 時	柱の中心間隔、 対角長 L (m)	$\pm 5 \dots L \leq 10m$ $\pm 10 \dots$ $10 < L \leq 20m$ $\pm (10 + (L - 20) / 10) \dots$ $20m < L$	両端部及び片持ばり部を測定。		10-3-3-3	
							はりのキャンバー 及び柱の曲がり δ (mm)	$L/1000$	各主構の各格点を測定。		10-3-3-3	
							柱の鉛直度 δ (mm)	$10 \dots H \leq 10$ $H \dots H > 10$	各柱及び片持ばり部を測定。 H：高さ (m)		10-3-3-3	

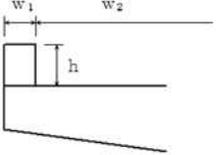
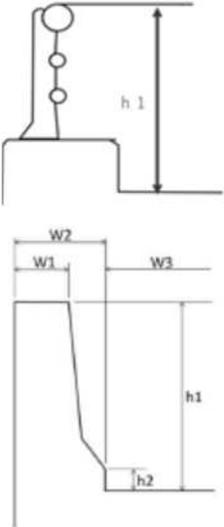
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
10 道路編	3 橋梁下部	6 橋台工	8		橋台躯体工	基 準 高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。 箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。		10-3-6-8	
						厚 さ t	-20				
						天 端 幅 w_1 (橋軸方向)	-10				
						天 端 幅 w_2 (橋軸方向)	-10				
						敷 幅 w_3 (橋軸方向)	-50				
						高 さ h_1	-50				
						胸壁の高さ h_2	-30				
						天 端 長 l_1	-50				
						敷 長 l_2	-50				
						胸壁間距離 l	± 30				
						支 間 長 及 び 中心線の変位	± 50				
						支 承 部 ア ン カ ー ボ ルト の 箱 抜 き 規 格 値	計 画 高				+10～-20
							平 面 位 置				± 20
							ア ン カ ー ボ ルト 孔 の 鉛 直 度				1/50以下

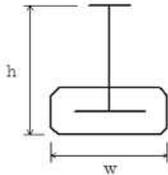
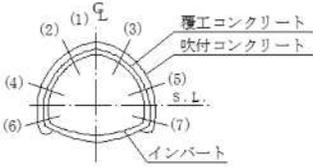
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部	7 R C 橋 脚 工	9	1	橋脚躯体工 (張出式) (重力式) (半重力式)	基 準 高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。箱抜き形状の詳細については「道路橋支保便覧」による。	<p>中心線の変位 (a 1 : 橋軸直角方向) (a 2 : 橋軸方向)</p>	10-3-7-9	
						厚 さ t	-20				
						天 端 幅 w_1 (橋軸方向)	-20				
						敷 幅 w_2 (橋軸方向)	-50				
						高 さ h	-50				
						天 端 長 l_1	-50				
						敷 長 l_2	-50				
						橋脚中心間距離 l	± 30				
						支 間 長 及 び 中心線の変位	± 50				
						支 承 部 ア ン カ ー ボ ル ト の 箱 抜 き 規 格 値	計 画 高				+10~-20
							平 面 位 置				± 20
ア ン カ ー ボ ル ト 孔 の 鉛 直 度	1/50以下										

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部	7 R C 橋 脚 工	9	2	橋脚躯体工 (ラーメン式)	基 準 高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。 箱抜き形状の詳細については「道路橋支保便覧」による。		10-3-7-9	
						厚 さ t	-20				
						天 端 幅 w_1	-20				
						敷 幅 w_2	-20				
						高 さ h	-50				
						長 さ l	-20				
						橋脚中心間距離 l	± 30				
						支 間 長 及 び 中心線の変位	± 50				
						支 承 部 ア ン カ ー ボ ル ト の 箱 抜 き 規 格 値	計 画 高				+10~-20
							平 面 位 置				± 20
ア ン カ ー ボ ル ト 孔 の 鉛 直 度	1/50以下										
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部	8 鋼 製 橋 脚 工	9	1	橋脚フーチング工 (I型・T型)	基 準 高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		10-3-8-9	
						幅 (橋軸方向) w	-50				
						高 さ h	-50				
						長 さ l	-50				

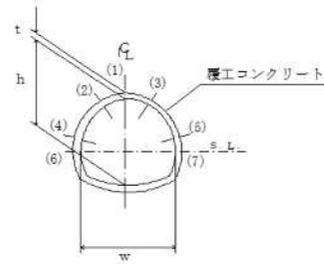
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路 編	3 橋梁 下部	8 鋼製 橋脚 工	9	2	橋脚フーチング工 (門型)	基 準 高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		10-3-8-9
						幅 w_1, w_2	-50			
						高 さ h	-50			
10 道路 編	3 橋梁 下部	8 鋼製 橋脚 工	10	1	橋脚架設工 (I型・T型)	基 準 高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		10-3-8-10
						橋脚中心間距離 ℓ	± 30			
						支 間 長 及 び 中心線の変位	± 50			
10 道路 編	3 橋梁 下部	8 鋼製 橋脚 工	10	2	橋脚架設工 (門型)	基 準 高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		10-3-8-10
						橋脚中心間距離 ℓ	± 30			
						支 間 長 及 び 中心線の変位	± 50			
10 道路 編	3 橋梁 下部	8 鋼製 橋脚 工	11		現場継手工	現場継手部のすき間 $\delta 1, \delta 2$ (mm)	5 ※ ± 5	主桁、主構の全継手数の1/2を測定。 ※は耐候性鋼材（裸使用）の場合		10-3-8-11

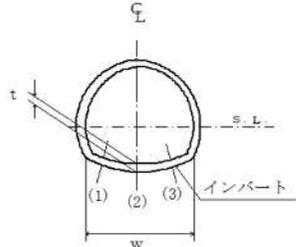
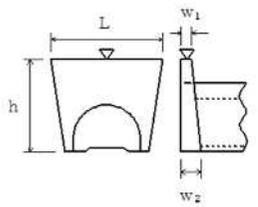
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10	4	3	9		橋梁用高欄製作工	部材 部材長 l (m)	$\pm 3 \cdots l \leq 10$ $\pm 4 \cdots l > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。		10-4-3-9
10	4	5	10	1	支承工 (鋼製支承)	据付け高さ 注1)	± 5	支承全数を測定。 B：支承中心間隔 (m) 支承の平面寸法が300mm以下の場合は、水平面の高低差を1mm以下とする。なお、支承を勾配なりに据付ける場合を除く。 注1) 先固定の場合は、支承上面で測定する。 注2) 可動支承の遊間 (La, Lb) を計測し、支承据付時のオフセット量 δ を考慮して、移動可能量が道路橋支承便覧の規格値を満たすことを確認する。 注3) 可動支承の移動量検査は、架設完了後に実施する。 詳細は、道路橋支承便覧参照。		10-4-5-10
				可動支承の移動 可能量 注2)	設計移動量以上					
				支承中心間隔 (橋軸直角方向)	コンクリート 橋	鋼橋				
					± 5	$\pm (4+0.5 \times (B-2))$				
				水平 度	橋軸方向	1/100				
					橋軸直角方向					
				可動支承の橋軸 方向のずれ 同一支承線上の 相対誤差	5					
				可動支承の 機能確認 注3)	温度変化に伴う移動 量計算値の1/2 以上					
10	4	5	10	2	支承工 (ゴム支承)	据付け高さ 注1)	± 5	支承全数を測定。 B：支承中心間隔 (m) 上部構造部材下面とゴム支承面との接触面及びゴム支承と台座モルタルとの接触面に肌すきが無いことを確認。 支承の平面寸法が300mm以下の場合は、水平面の高低差を1mm以下とする。なお、支承を勾配なりに据付ける場合を除く。 注1) 先固定の場合は、支承上面で測定する。 注2) 可動支承の遊間 (La, Lb) を計測し、支承据付時のオフセット量 δ を考慮して、移動可能量が道路橋支承便覧の規格値を満たすことを確認する。 注3) 可動支承の移動量検査は、架設完了後に実施する。 詳細は、道路橋支承便覧参照。		10-4-5-10
				可動支承の移動 可能量 注2)	設計移動量以上					
				支承中心間隔 (橋軸直角方向)	コンクリート 橋	鋼橋				
					± 5	$\pm (4+0.5 \times (B-2))$				
				水平 度	橋軸方向	1/100				
					橋軸直角方向					
				可動支承の橋軸 方向のずれ 同一支承線上の 相対誤差	5					
				可動支承の 機能確認 注3)	温度変化に伴う移動 量計算値の1/2 以上					

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路 編	4 鋼 橋 上 部	8 橋 梁 付 属 物 工	3		落橋防止装置工	アンカーボルト孔の削孔長	設計値以上	全数測定 全数測定 D：アンカーボルト径（mm）		10-4-8-3
						アンカーボルト定着長	-20以内 かつ -1D以内			
10 道路 編	4 鋼 橋 上 部	8 橋 梁 付 属 物 工	5		地覆工	地覆の幅 w_1	-10～+20	1 径間当たり両端と中央部の3ヶ所測定。		10-4-8-5
						地覆の高さ h	-10～+20			
						有効幅員 w_2	0～+30			
10 道路 編	4 鋼 橋 上 部	8 橋 梁 付 属 物 工	6		橋梁用防護柵工	天 端 幅 w_1	-5～+10	1 径間当たり両端と中央部の3ヶ所測定。		10-4-8-6 10-4-8-7 ブロックアウト型高欄に測定箇所を見直し
			7		橋梁用高欄工	地 覆 の 幅 w_2	-10～+20			
						高 さ h_1	-20～+30			
						高 さ h_2	-10～+20			
						有 効 幅 員 w_3	0～+30			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路 編	4 鋼 橋 上 部	8 橋 梁 付 属 物 工	8		検査路工	幅	±3	1ブロックを抽出して測定。		10-4-8-8
						高 さ	±4			
10 道路 編	5 コ ン ク リ ー ト 橋 上 部	6 プ レ ビ ー ム 桁 橋 工	2		プレビーム桁製作工 (現場)	幅 w	±5	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッ シング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央 部の3ヶ所とする。 ℓ：スパン長		10-5-6-2
						高 さ h	10 -5			
						桁 長 ℓ スパン長	ℓ < 15… ±10 ℓ ≥ 15… ± (ℓ - 5) かつ -30mm以内			
						横方向最大タワミ	0.8ℓ			
10 道路 編	6 ト ン ネ ル (N A T M)	4 支 保 工	3		吹付工	吹 付 け 厚 さ	設計吹付け厚以 上。ただし、良好 な岩盤で施工端 部、突出部等の特 殊な箇所は設計吹 付け厚の1/3以上 を確保するものと する。	施工延長40m毎に図に示す。 (1)～(7)及び断面変化点の検測孔を測 定。 注) 良好な岩盤とは、道路トンネル技 術基準(構造編)にいう地盤等級A又 はBに該当する地盤とする。		10-6-4-3

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	4 支 保 工	4		ロックボルト工	位 置 間 隔	—	施工延長40m毎に断面全本数検測。		10-6-4-4
						角 度	—			
						削 孔 深 さ	—			
						孔 径	—			
						突 出 量	プレート下面 から10cm以内			
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	5 覆 工	3		覆工コンクリート工	基準高▽ (拱頂)	±50	(1) 基準高、幅、高さは、施工40mにつき1ヶ所。 (2) 厚さ (イ) コンクリート打設前の巻立空間を1打設長の終点を図に示す各点で測定。中間部はコンクリート打設口で測定。 (ロ) コンクリート打設後、覆工コンクリートについて1打設長の端面(施工継手の位置)において、図に示す各点の巻厚測定を行う。 (ハ) 検測孔による巻厚の測定は図の(1)は40mに1ヶ所、(2)～(3)は100mに1ヶ所の割合で行う。 なお、トンネル延長が100m以下のものについては、1トンネル当たり2ヶ所以上の検測孔による測定を行う。 ただし、以下の場合には、左記の規格値は適用除外とする。 ・良好な地山における岩又は吹付コンクリートの部分的な突出で、設計覆工厚の3分の1以下のもの。 なお、変形が収束しているものに限る。 ・異常土圧による覆工厚不足で、型枠の据付け時には安定が確認されかつ別途構造的に覆工の安全が確認されている場合。 ・鋼アーチ支保工、ロックボルトの突出。		10-6-5-3
						幅 w (全幅)	-50			
						高さ h (内法)	-50			
						厚 さ t	設計値以上			
						延 長 L	—			

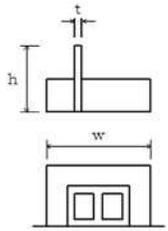
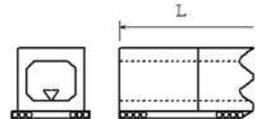
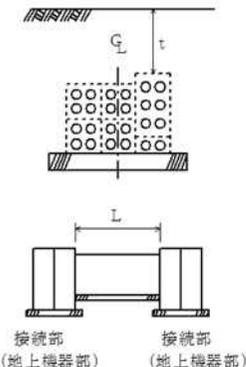


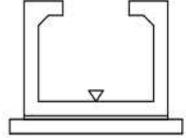
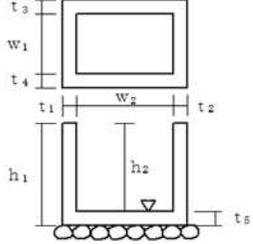
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
10 道路編	6 トンネル (NATM)	5 覆工	5		床版コンクリート工	幅 w	-50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		10-6-5-5	
						厚 さ t	-30				
10 道路編	6 トンネル (NATM)	6 インバート工	4		インバート本体工	幅 w (全幅)	-50	(1) 幅は、施工40mにつき1ヶ所。 (2) 厚さ (イ) コンクリート打設前の巻立空間を1打設長の間と終点を図に示す各点で測定。 (ロ) コンクリート打設後、インバートコンクリートについて1打設長の端面（施工継手の位置）において、図に示す各点の巻厚測定を行う。		10-6-6-4	
						厚 さ t	設計値以上				
						延 長 L	—				
10 道路編	6 トンネル (NATM)	8 坑門工	4		坑門本体工	基 準 高 ∇	± 50	図面の主要寸法表示箇所にて測定。		10-6-8-4	
						幅 w_1, w_2	-30				
						高 さ h	$h < 3m$				-50
							$h \geq 3m$				-100
						延 長 L	-200				

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道 路 編	6 ト ン ネ ル (N A T M)	8 坑 門 工	5		明り巻工	基準高▽ (拱頂)	±50	基準高、幅、高さ、厚さは、施工延長40mにつき1ヶ所を測定。 なお、厚さについては図に示す各点①～⑩において、厚さの測定を行う。		10-6-8-5
						幅 w (全幅)	-50			
						高さ h (内法)	-50			
						厚 さ t	-20			
						延 長 L	—			

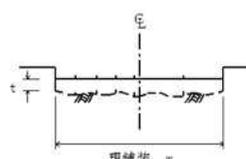
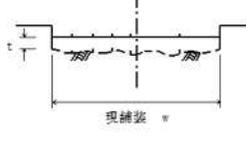
出来形管理基準及び規格値

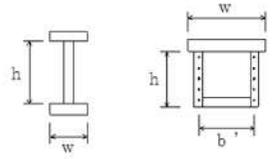
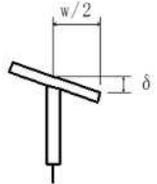
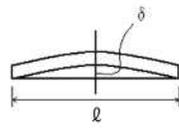
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路 編	11 共同 溝	6 現場 打構 築工	2		現場打躯体工	基 準 高 ∇	± 30	両端・施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所 で測定。		10-11-6-2
						厚 さ t	-20			
						内 空 幅 w	-30			
						内 空 高 h	± 30			
						ブロック長 L	-50			
10 道路 編	11 共同 溝	6 現場 打構 築工	4		カラー継手工	厚 さ t	-20	図面の寸法表示箇所 で測定。		10-11-6-4
						幅 w	-20			
						長 さ L	-20			
10 道路 編	11 共同 溝	6 現場 打構 築工	5	1	防水工 (防水)	幅 w	設計値以上	両端・施工継手箇所の底版・側壁・頂版 で測定。		10-11-6-5
10 道路 編	11 共同 溝	6 現場 打構 築工	5	2	防水工 (防水保護工)	厚 さ t	設計値以上	両端・施工継手箇所の「四隅」 で測定。		10-11-6-5

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路 編	11 共同 溝	6 現場 打構 築工	5	3	防水工 (防水壁)	高 さ h	-20	図面の寸法表示箇所 で測定。		10-11-6-5
						幅 w	±50			
						厚 さ t	-20			
10 道路 編	11 共同 溝	7 プレ キャスト 構築工	2		プレキャスト躯体工	基 準 高 ▽	±30	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。ただし、基準高の適用は据付後の段階検査時のみ適用する。		10-11-7-2
						延 長 L	-200			
10 道路 編	12 電線 共同 溝	5 電線 共同 溝工	2		管路工（管路部）	埋 設 深 t	0～+50	接続部（地上機器部）間毎に1ヶ所。		10-12-5-2
						延 長 L	-200			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路編	12 電線共同溝	5 電線共同溝工	3		プレキャストボックス工 (特殊部)	基準高 ∇	± 30	接続部 (地上機器部) 間毎に1ヶ所。		10-12-5-3
10 道路編	12 電線共同溝	6 付帯設備工	2		ハンドホール工	基準高 ∇	± 30	1ヶ所毎 ※は現場打部分のある場合		10-12-6-2
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20			
						※幅 w_1, w_2	-30			
						※高さ h_1, h_2	-30			

出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)	平均の測定値 (X ₁₀)			
10 道路 編	14 道路 維持	4 舗 装 工	5	1	切削オーバーレイ工	厚さ t (切削)	-7	-2	厚さは40m毎に「現舗装高と切削後の基準高の差」「切削後の基準高とオーバーレイ後の基準高の差」で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、延長80m未満の場合は、2ヶ所/施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。		10-14-4-5
						厚さ t (オーバーレイ)	-9				
						幅 w	-25				
						延長 L	-100				
						平坦性	—	3m ² プロファイルメーター (σ)2.4mm以下直読式(足付き)			
10 道路 編	14 道路 維持	4 舗 装 工	7		路上再生工	厚さ t	-30		幅は延長80m毎に1ヶ所の割で測定。 厚さは、各車線200m毎に左右両端及び中央の3点を掘り起こして測定。		10-14-4-7
						幅 w	-50				
						延長 L	-100				

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準		測 定 箇 所	摘 要
								鋼桁等	トラス・アーチ等		
10 道路編	16 道路修繕	3 工場製作工	4		桁補強材製作工	フランジ幅 w (m) 腹板高 h (m) 腹板間隔 b' (m)	$\pm 2 \dots w \leq 0.5$ $\pm 3 \dots$	主桁・主構	各支点及び各支間中央付近を測定。	 <p>I型鋼桁 トラス弦材</p>	10-16-3-4
							$0.5 < w \leq 1.0$ $\pm 4 \dots$ $1.0 < w \leq 2.0$ $\pm (3 + w/2) \dots$ $2.0 < w$	床組など	構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。		
						フランジの直角度 δ (mm)	$w/200$	主桁	各支点及び各支間中央付近を測定。		10-16-3-4
					圧縮材の曲がり δ (mm)	$\ell/1000$	—	主要部材全数を測定。 ℓ ：部材長 (mm)		10-16-3-4	

公園緑地工事施工管理基準

令和3年7月

国土交通省 都市局 公園緑地・景観課

目 次

出来形管理基準および規格値	1
1. 基盤整備	1
2. 植栽	10
3. 施設整備	11
4. グラウンド・コート整備	33
5. 自然育成	42
品質管理基準および規格値	46
写真管理基準	52
1. 基盤整備	52
2. 植栽	61
3. 施設整備	65
4. グラウンド・コート整備	78
5. 自然育成	82
品質写真管理基準	87

(注1) 「国土交通省 関東地方整備局 土木工事施工管理基準及び規格値（令和3年4月改定）」及び「国土交通省 関東地方整備局 土木工事写真管理基準（令和3年4月改定）」を本文中で引用する場合は、当該基準及び規格値の名称を省略し、項目番号と項目名のみを記載している。

（当該基準及び規格値の第1編共通編 第2章土工 第3節河川土工・海岸土工・砂防土工 2-3-2 掘削工を引用する場合は、「第1編 2-3-2 掘削工」と記載。）

(注2) 目次頁欄の「-」は基準及び規格値のない項目を示す。

出来形管理基準および規格値

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考
第1章 基盤整備					1	
第3節 敷地造成工	1-3-2 表土保全工	1	表土掘削		1	
		2	表土運搬		—	
	1-3-3 整地工				—	
	1-3-4 *掘削工	1	*掘削		1	
		3	*河床等掘削			
		2	*土砂等運搬		—	
		4	*軟弱土等運搬			
		5	*整地			
		6	*転石破碎			
		7	*押土（ルーズ）			
	8	*積込（ルーズ）				
	9	*人力積込				
	1-3-5 *盛土工	1	*路体（築堤）盛土		1	
		2	*路床盛土	1-3-6 *路床盛土	1	
		3	*土砂等運搬		—	
		4	*整地			
		5	*押土（ルーズ）			
6		*積込（ルーズ）				
7		*人力積込				
8		*土材料				
1-3-6 *路床盛土工	1	*路床盛土		1		
	2	*土砂等運搬		—		
	3	*整地				
	4	*押土（ルーズ）				
	5	*積込（ルーズ）				
	6	*人力積込				
	7	*土材料				
1-3-7 *法面整形工	1	*法面整形（切土部）		—		
	2	*法面整形（盛土部）		1		
1-3-8 *路床安定処理工	1	*安定処理		2		
1-3-9 *置換工	1	*置換		2		
1-3-10 *サントマット工	1	*サントマット		2		

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考
第3節 敷地造成工	1-3-11 *ハッチカルトレーン工	1	*サントレーン		2	
		2	*ベーパードレーン		-	
	1-3-12 *残土処理工					-
第4節 公園土工	1-4-2 小規模造成工	1	小規模掘削	1-3-4 *掘削工	(1)	
		2	小規模敷均・締固	1-3-5 *盛土工 1-3-6 *路床盛土工	(1)	
	1-4-3 *残土処理工					-
第5節 植栽基盤工	1-5-3 透水層工	1	開渠排水		3	
		2	暗渠排水		3	
		3	縦穴排水		-	
	1-5-4 土層改良工	1	普通耕		3	
		2	深耕			
		3	混層耕			
		4	心土破碎			
	1-5-5 土性改良工	1	土性改良		3	
		2	中和剤施用			
		3	除塩			
		4	施肥			
	1-5-6 表土盛土工	1	盛土 (流用表土)		3	
		2	盛土 (発生表土)			
3		盛土 (採取表土)				
4		盛土 (購入表土)				
1-5-7 人工地盤工	1	防水		-		
	3	*目地板				
	7	人工地盤客土				
	2	押さえコンクリート		4		
	4	人工地盤排水層		4		
	5	フィルター		4		
	6	防根シート				
1-5-8 造形工	1	表面仕上げ		-		
	2	築山				
第6節 *コンクリート工	1-6-2 *張りコンクリート工			-		

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考	
第7節*法面工	1-7-3 法面ネット工	1	法面ネット		4		
		1-7-4 *植生工	1	*種子散布		4	
			2	*養生(散水養生)			
			5	*植生シート			
			6	*植生マット			
			7	公園種子帯			
			8	公園張芝			
			9	公園筋芝			
			10	公園市松芝			
			11	*人工張芝			
			12	*植生穴			
			3	*客土吹付		5	
		4	*植生基材吹付				
1-7-5 *法枠工	1	1	*現場打法枠		5		
		4	*吹付枠				
	2	*プレキャスト法枠		5			
		3	金属製法枠				
1-7-6 編柵工	1	編柵		5			
1-7-7 *かご工	1	*じゃかご		5			
	2	*ふとんかご		5			
第8節*軽量盛土工	1-8-2 *作業土工				-		
	1-8-3 *軽量盛土工	1	*軽量盛土		5		
		2	*コンクリート床版		-		
		3	*基礎コンクリート				
		4	*支柱				
		5	*壁面材				
		6	*裏込砕石				

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考			
第9節*擁壁工	1-9-3*作業土工				—				
	1-9-4 *場所打擁壁工(構造物単位) *場所打擁壁工	1	*小型擁壁			6			
		2	*重力式擁壁						
		3	*もたれ式擁壁						
		4	*逆T型擁壁						
		5	*L型擁壁						
		6	*裏込砕石						
		7	*止水板						
		8	*化粧型枠						
		9	*ペーラインコンクリート						
		14	*コンクリート						
		15	*鉄筋						
		16	*型枠						
		17	*足場						
		18	*目地板						
		19	*水抜パイプ						
		10	*基礎材					6	
		12	*均しコンクリート						
		11	公園基礎材					6	
		13	公園均しコンクリート						
	20	*吸出し防止材		—					
21	擁壁高さ調整		6						
1-9-5*プレキャスト擁壁工	1	*プレキャスト擁壁		6					
1-9-6 *帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁工 *ジオテキスタイル補強土壁工	1	*補強土壁基礎			7				
	2	*補強土壁壁面材組立・設置							
	3	*補強材取付							
	8	*ジオテキスタイル壁面材組立・設置							
	9	*ジオテキスタイル敷設							
	4	*まき出し・敷均し・締固め					—		
	5	*採取土盛土材							
6	*壁面上端処理								
7	*排水管敷設								

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考
第9節*擁壁工	1-9-7	1	*コンクリートブロック基礎		8	
		2	*フレキスト基礎			
		3	*基礎材			
		4	*中詰コンクリート			
		5	*コンクリートブロック積			
		6	*大型ブロック積			
		7	*大型ブロック積			
		8	*胴込・裏込コンクリート			
		9	*胴込・裏込材(碎石)			
		10	*吸出し防止材(全面)設置			
		11	*遮水シート張			
		12	*目地板			
		13	*養生費			
		14	*天端コンクリート			
		15	*小口止コンクリート			
		16	*間知ブロック張			
		17	*平ブロック張			
		18	*裏込栗石			
		19	*連節ブロック張			
		20	*緑化ブロック積			
		21	*ブロック植栽			
		22	*天端保護ブロック			
1-9-8 石積工		1	崩れ積		8	
		2	面積		9	
		3	玉石積			
		4	小端積			
		5	こぶだし石積			
		6	切石積			
		7	間知石積			
		8	雑割石積			
		9	雑石積			
		10	割石積			
		11	雑割石張			
		12	雑石張			
		13	石積高さ調整			9
1-9-9 土留め工		1	土留め		9	

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考	
第10節 公園カルハート工	1-10-3 *作業土工				—		
	1-10-4 *場所打函渠工（構造物単位） *場所打函渠工	1	*函渠			10	
		2	*鉄筋				
		7	*コンクリート				
		9	*型枠				
		10	*足場				
		11	*支保				
		12	*目地板				
		13	*止水板				
		14	*水抜パイプ				
3		*基礎材	1-9-4 *場所打擁壁工	(6)			
5		*均しコンクリート	(*基礎材・*均しコンクリート)				
4		公園基礎材	1-9-4 *場所打擁壁工	(6)			
6		公園均しコンクリート	(*公園基礎材・*公園均しコンクリート)				
1-10-5 *プレキャストカルハート工		1	*プレキャストボックス		10		
	2	*止水シート(大型プレキャストボックスカルハート)		—			
第11節 公園施設等撤去・移設工	1-11-2 公園施設撤去工				—		
	1-11-3 移設工	1	遊具移設		11		
		2	小工作物移設		11		
		3	景石移設		—		
	1-11-4 伐採工				—		
	1-11-5 発生土再利用工				—		

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考	
第2章 植栽					1 1		
第3節 植栽工	2-3-3		高木植栽工		-		
	2-3-4		中低木植栽工		-		
	2-3-5		特殊樹木植栽工		-		
	2-3-6		地被類植栽工		-		
	2-3-7		草花種子散布工		-		
	2-3-8		播種工		-		
	2-3-9		花壇植栽工		-		
	2-3-10	樹木養生工	1	防風ネット		1 1	
			2	寒冷紗巻き		-	
			3	植穴透水層			
			4	空気管			
			5	マルチング A			
			6	マルチング B			
			9	支柱設置			
			7	防根シート	1-5-7 人工地盤工 (防根シート)	(4)	
	2-3-11	樹名板工	1	埋込型樹名板		1 1	
2			幹巻型樹名板		-		
2-3-12	根囲い保護工	1	根囲い保護		1 2		
2-3-13	芝生保護工				-		
2-3-14	壁面緑化施設工				-		
第4節 移植工	2-4-3		根回し工		-		
	2-4-4		高木移植工		-		
	2-4-5		根株移植工		-		
	2-4-6		中低木移植工		-		
	2-4-7		地被類移植工		-		

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考
第4節 移植工	2-4-10 樹木養生工	1	防風ネット	2-3-10 樹木養生工 (防風ネット)	(11)	
		2	寒冷紗巻き		-	
		3	植穴透水層			
		4	空気管			
		5	マルチング [※] A			
		6	マルチング [※] B			
		9	支柱設置			
		7	防根シート	1-5-7 人工地盤工 (防根シート)	(4)	
	8	養生柵	2-3-10 樹木養生工 (養生柵)	(11)		
	2-3-11 樹名板工	1	埋込型樹名板	2-3-11 樹名板工 (埋込型樹名板)	(11)	
2		幹巻型樹名板		-		
2-3-12 根囲い保護工	1	根囲い保護工	2-3-12 根囲い保護工	(12)		
第5節 樹木整姿工	2-5-3 高中木整姿工				-	
	2-5-4 低木整姿工				-	
	2-5-5 樹勢回復工				-	
第6節 公園施設等撤去・移設工	2-6-1 公園施設撤去工					
	2-6-2 移設工	1	遊具移設	1-11-3 移設工 (遊具移設)	(11)	
		2	小工作物移設	1-11-3 移設工 (小工作物移設)	(11)	
		3	景石移設		-	
	2-6-3 伐採工				-	
2-6-4 発生土再利用工				-		

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考	
第3章 施設整備					12		
第3節 給水設備工	3-3-3		水栓類取付工		-		
	3-3-4		貯水施設工		-		
	3-3-5		循環設備工		-		
	3-3-6			散水施設工	1	スプリンクラー	-
					4	散水栓	-
					5	散水栓ボックス	-
					2	ミスト	12
					3	トリップパイプ	12
	6	散水栓高さ調整	12				
	3-3-7		消火栓工		-		
3-3-8		給水設備修繕工		-			
3-3-9*		作業土工		-			
3-3-10			給水管路工	1	給水管	12	
				3	埋設シート	-	
				2	埋設標	-	
第4節 雨水排水設備工	3-4-3		調整池工		-		
	3-4-4		貯留施設工		-		
	3-4-5*		作業土工		-		
	3-4-6*			側溝工	1	プレキャストL型・V型側溝	12
					3	*管(函)渠型側溝	-
					5	*プレキャストU型側溝	-
					7	プレキャスト皿型側溝	-
					8	*コルゲートフリューム	-
					9	*自由勾配側溝	-
					10	特殊円形側溝	-
					2	現場打L型側溝	12
					4	*側溝基礎	-
					12	U型側溝小口止め	-
14	*側溝蓋	-					
6	現場打側溝	13					
11	公園素掘側溝	13					
13	側溝高さ調整	13					

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考	
第4節 雨水排水設備工	3-4-7 *管渠工	1	公園管渠		13		
		2	*PC管				
		3	*ヒューム管(B形管)				
		4	*暗渠排水管				
		5	*鉄筋コンクリート台付管				
		6	*巻きコンクリート				
		7	*コルゲートパイプ				
		8	副管				
		9	接続用ソケット				
		10	立体網状管				
		11	管閉塞				
		12	管口フィルター				
	第4節 雨水排水設備工	3-4-8 *集水樹・マンホール工	1	*現場打ち街渠樹		13	
			2	*現場打ち集水樹			
3			浸透樹				
4			*プレキャスト街渠樹				
5			*プレキャスト集水樹				
6			*集水樹・マンホール基礎				
7			塩化ビニル製樹				
8			*マンホール				
9			*プレキャストマンホール				
10			公園マンホール				
11			浸透マンホール				
第4節 雨水排水設備工		3-4-8 *集水樹・マンホール工	12	樹高さ調整		13	
			13	マンホール高さ調整			
			14	*蓋			
第4節 雨水排水設備工	3-4-9 *地下排水工	1	透水コンクリート管		14		
		2	化学繊維管				
		3	*地下排水				
第4節 雨水排水設備工	3-4-10 公園水路工	1	*場所打水路		14		
		2	プレキャスト水路				
		3	水路蓋				
第5節 汚水排水設備工	3-5-3 *作業土工				—		

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考	
第5節 汚水排水設備工	3-5-4 *管渠工	1	公園管渠	3-4-7 *管渠工 (公園管渠・*コルゲートパイプ)	(13)		
		2	*PC管				
		3	*ヒューム管(B形管)				
		4	*暗渠排水管				
		5	*鉄筋コンクリート台付管				
		6	*巻きコンクリート				
		7	*コルゲートパイプ				
		8	副管		-		
		9	接続用ソケット				
		10	管閉塞				
3-5-5 汚水桝・マンホール工	1	1	汚水桝	3-4-8 *集水桝・マンホール工 (*街渠桝・*集水桝・浸透桝・*プレキャスト街渠桝・*プレキャスト集水桝・塩化ビニル製桝・*マンホール・*プレキャストマンホール・公園マンホール・浸透マンホール)	(13)		
		2	塩化ビニル製桝				
		3	*マンホール				
		4	プレキャストマンホール				
		5	集水桝・マンホール基礎				
		6	公園マンホール				
7	インバート		-				
10	*蓋						
3-5-6 浄化槽工	8	8	桝高さ調整	3-4-8 *集水桝・マンホール工 (桝高さ調整・マンホール高さ調整)	(13)		
		9	マンホール高さ調整				
第6節 電気設備工	3-6-3 照明設備工	1	*ハントール		14		
			2				ハントール高さ調整
			3				引込柱
			4				分電盤
			5				分電盤高さ調整
			6				照明灯基礎
			7				照明灯
			8				遮光板
	3-6-4 放送設備工	1	*ハントール	3-6-3 照明設備工 (*ハントール)	(14)		
			2	ハントール高さ調整	3-6-3 照明設備工 (*ハントール高さ調整)	(14)	
3			放送設備		-		
5			スピーカー柱				
4	4	スピーカー柱基礎		15			

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考	
第6節 電気設備工	3-6-5 監視カメラ設置工	1	*ハントホール	3-6-3 照明設備工 (*ハントホール)	(14)		
		2	ハントホール高さ調整	3-6-3 照明設備工 (ハントホール高さ調整)	(14)		
		3	監視カメラ設備		—		
		5	監視カメラ柱		—		
	4	監視カメラ柱基礎		15			
	3-6-6 電気設備修繕工					—	
	3-6-7 *作業土工					—	
	3-6-8 電線管路工	1	電線管		15		
		2	電線				
		4	埋設シート				
		3	埋設標		—		
第7節 園路広場整備工	3-7-3 *舗装撤去工					—	
	3-7-4 *舗装準備工					—	
	3-7-5 *アスファルト舗装工	1	*下層路盤(車道・路肩部)		16		
		2	*下層路盤(歩道部)				
		3	*上層路盤(車道・路肩部)		16		
		4	*上層路盤(歩道部)				
		5	*基層(車道・路肩部)		17		
		6	*基層(歩道部)				
		7	*中間層(車道・路肩部)		—		
		8	*中間層(歩道部)				
9	*表層(車道・路肩部)		17				
10	*表層(歩道部)						

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考	
第7節 園路広場整備工	3-7-6 *排水性舗装工	1	*下層路盤(車道・路肩部)		18		
		2	*下層路盤(歩道部)				
		3	*上層路盤(車道・路肩部)		18		
		4	*上層路盤(歩道部)				
		5	*基層(車道・路肩部)		19		
		6	*基層(歩道部)				
		7	*中間層(車道・路肩部)		-		
		8	*中間層(歩道部)				
		9	*排水性舗装・表層(車道・路肩部)		19		
	3-7-7 *透水性舗装工	1	*フィルター層		-		
		2	*下層路盤(車道・路肩部)		20		
		3	*下層路盤(歩道部)				
		4	*表層		20		
	3-7-8 アスファルト系舗装工	1	公園アスファルト舗装			21	
		2	公園アスファルト薄層カラー舗装				
		3	透水性アスファルト舗装				
		4	脱色アスファルト舗装				
	3-7-9 コンクリート系舗装工	1	インターロッキング舗装	3-7-8 アスファルト系舗装工(公園アスファルト舗装・公園アスファルト薄層カラー舗装・透水性アスファルト舗装・脱色アスファルト舗装)	(21)		
		2	公園コンクリート舗装				
		3	透水性コンクリート舗装				
		4	平板舗装				
5		洗い出し舗装					
3-7-10 土系舗装	1	土舗装	3-7-8 アスファルト系舗装工(公園アスファルト舗装・公園アスファルト薄層カラー舗装・透水性アスファルト舗装・脱色アスファルト舗装)	(21)			
	2	芝舗装					
	3	耐踏圧性芝生舗装					
	4	砂舗装					
	5	石灰岩ダスト舗装					
3-7-11 レンガ・タイル舗装工	1	レンガ舗装	3-7-8 アスファルト系舗装工(公園アスファルト舗装・公園アスファルト薄層カラー舗装・透水性アスファルト舗装・脱色アスファルト舗装)	(21)			
	2	タイル舗装					
3-7-12 木系舗装工	1	チップ舗装	3-7-8 アスファルト系舗装工(公園アスファルト舗装・公園アスファルト薄層カラー舗装・透水性アスファルト舗装・脱色アスファルト舗装)	(21)			
	2	木レンガ舗装					
	3	木道					
	4	枕木舗装					

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考
第7節 園路広場整備工	3-7-13 樹脂系舗装工	1	樹脂舗装	3-7-8 アスファルト系舗装工(公園アスファルト舗装・公園アスファルト薄層カラー舗装・透水性アスファルト舗装・脱色アスファルト舗装)	(21)	
		2	ゴムチップ舗装			
	3-7-14 石材系舗装工	1	砂利舗装	3-7-8 アスファルト系舗装工(公園アスファルト舗装・公園アスファルト薄層カラー舗装・透水性アスファルト舗装・脱色アスファルト舗装)	(21)	
		2	碎石舗装			
		3	平石張舗装			
		4	ごろた石張舗装			
		5	玉石張舗装			
		6	割板石張舗装			
		7	小舗石舗装			
		8	切板石張舗装			
9		延段				
10		飛石				
	3-7-15 *舗装仮復旧工				-	
	3-7-16 園路縁石工	1	コンクリート縁石		22	
		2	現場打縁石			
		3	駒止めブロック			
		4	舗装止め			
		5	擬石縁石			
		6	レンガ縁石			
		7	木縁石			
		8	見切材(仕切材)			
		9	石材縁石			
		10	縁石高さ調整			
	3-7-17 *区画線工	1	*溶融式区画線		22	
		2	*ペイント式区画線			
		3	*区画線消去			
		4	*区画線消去(WJ式日当施工量未満)			
		5	ロープ区画線			
		6	ロープ止め			

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考	
第7節 園路広場整備工	3-7-18 階段工	1	コンクリート階段		22		
		2	コンクリートブロック階段				
		3	丸太階段				
		4	擬木階段				
		5	石材階段				
		6	階段高さ調整			22	
		7	スロープ			-	
		8	手すり	3-11-8 柵工(フェンス・柵・手すり・*転落(横断)防止柵・*ガードレール・*ガードケーブル・*ガードパイプ)		(33)	
	3-7-19 公園橋工	1	公園橋橋台			23	
		4	石橋橋台				
		6	木橋橋台				
		2	公園橋設置			23	
		3	八ッ橋				
		5	石橋設置				
7		木橋設置					
8		浮き栈橋					
3-7-20 デッキ工	1	デッキ基礎			23		
	2	デッキ設置					
3-7-21 視覚障害者誘導用ブロック工					-		
3-7-22 *作業土工					-		
3-7-23 植樹ブロック工	1	*植樹ブロック			24		
第8節 修景施設整備工	3-8-3 石組工				-		
	3-8-4 添景物工				-		
	3-8-5 袖垣・垣根工	1	袖垣			24	
		2	垣根				
	3-8-6 花壇工				-		
	3-8-7 トレリス工	1	トレリス			24	
		2	緑化フェンス				
3-8-8 モニュメント工	1	モニュメント			25		
	2	記念碑					

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考	
第8節 修景施設整備工	3-8-9 小規模水景施設工	1	流れ		25		
		2	滝		25		
		3	池		26		
		4	州浜		26		
		5	壁泉		26		
		6	カスケード		27		
		7	カナル		27		
		3-8-10 修景施設修繕工				-	
		3-8-11 *作業土工				-	
	3-8-12 水景施設工	1	公園基礎材	1-9-4 *場所打擁壁工 (公園基礎材・公園均しコンクリート)	(6)		
		2	公園均しコンクリート				
	3-8-12 水景施設工	3	*コンクリート	1-9-4 *場所打擁壁工 (*コンクリート・*鉄筋・*型枠)	(6)		
		4	*鉄筋				
	5	*型枠					
	3-8-12 水景施設工	6	防水			-	
		7	塗装仕上げ				
		8	加工仕上げ				
9		左官仕上げ					
10		タイル仕上げ					
11		石仕上げ					
12		護岸					
13		石組					
14		滝石組					
15		沢飛					
16	流出口						
17	吐出口						
第9節 遊戯施設整備工	3-9-3 遊具組立設置工	1	ブランコ		27		
		2	ジャンプ・リズム		27		
		3	滑台		28		
		4	シーソー		28		
		5	鉄棒		28		
		6	ラダー		28		
		7	はん登棒		28		
		8	スプリング遊具		29		

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考
第9節 遊戯施設整備工	3-9-3 遊具組立設置工	9	複合遊具		29	
		10	アスレチック遊具		29	
		11	健康遊具施設		29	
		12	安全柵	3-11-8 柵工(フェンス・柵・手すり・*転落(横断)防止柵・*カートレール・*カートケープル・*カートハイプ)	(33)	
		13	安全マット		—	
	3-9-4 小規模現場打遊具工	1	砂場		29	
		2	現場打遊具		30	
		3	徒渉池		30	
	3-9-5	遊具施設修繕工			—	
	3-9-6	*作業土工			—	
	3-9-7 現場打遊具工	1	公園基礎材	1-8-4 *場所打擁壁工(公園基礎材・公園均しコンクリート)	(6)	
		2	公園均しコンクリート			
		3	*コンクリート	1-8-4 *場所打擁壁工(*コンクリート・*鉄筋・*型枠)	(6)	
		4	*鉄筋			
		5	*型枠			
		6	防水		—	
		7	塗装仕上げ			
8		加工仕上げ				
9		左官仕上げ				
10		タイル仕上げ				
11	石仕上げ					
12	特殊仕上げ					
13	砂					
14	石取付					
15	砂場枠					
16	付属施設取付(鋼材・チェーン等)					
18	吐出口					
17	流出口	3-9-4 小規模現場打遊具工(徒渉池)	(29)			

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考
第10節 サービス施設整備工	3-10-3	1	時計台		30	
	3-10-4	1	水飲み場		30	
	3-10-5	1	手洗い場	3-10-4 水飲み場工（水飲み場）	(30)	
		2	足洗い場			
	3-10-6	1	ベンチ		31	
		2	縁台			
		3	テーブル			
		4	スツール			
		5	野外卓			
3-10-7	1	野外炉	3-10-3 時計台工(時計台)	(31)		
3-10-8	1	炊事場		31		
3-10-9	1	サイン	3-10-3 時計台工(時計台)	(31)		
3-10-10				-		
第11節 管理施設整備工	3-11-3	1	リサイクル施設基礎		31	
		2	リサイクル施設設置			
		3	リサイクル施設設備			
	3-11-4	1	ごみ焼却施設基礎	3-11-3 リサイクル施設工（リサイクル施設基礎）	(32)	
		2	ごみ焼却施設設置			
		3	ごみ焼却施設設備			
	3-11-5	1	くず入れ		32	
		2	吸殻入れ			
		3	ごみ置場			
	3-11-6	1	さく井		-	
		3	井戸設備			
		2	手押しポンプ			
	3-11-7	1	門壁		32	
2		門柱				
3		門扉				

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考	
第11節 管理施設整備工	3-11-8 柵工	1	フェンス		33		
		2	柵				
		3	手すり				
		4	*転落(横断)防止柵				
		5	*ガードレール				
		6	*ガードケーブル				
		7	*ガードパイプ				
8		*基礎ブロック、鋼管基礎					
9		*金網・支柱(立入防止柵)					
10		*門扉					
第11節 管理施設整備工	3-11-9 車止め工	1	車止め		33		
		2	*車止めポスト				
		3	車椅子ゲート				
	3-11-10 園名板工	1	園名板	3-11-9 車止め工(車止め・*車止めポスト・車椅子ゲート)	(33)		
		3-11-11 掲揚ポール工	1	掲揚ポール	3-11-9 車止め工(車止め・*車止めポスト・車椅子ゲート)	(33)	
			3-11-12 反射鏡工	1	カーブミラー	3-11-9 車止め工(車止め・*車止めポスト・車椅子ゲート)	(33)
3-11-13 *境界工				-			
3-11-14 管理施設修繕工				-			
第12節 建築施設組立設置工	3-12-3 四阿工	1	四阿基礎		33		
		2	四阿設置				
		3	四阿設備				
	3-12-4 ハーコラ工	1	ハーコラ基礎	3-12-3 四阿工(四阿基礎)	(33)		
		2	ハーコラ設置		-		
		3	ハーコラ設備				
	3-12-5 シェルター工	1	シェルター基礎	3-12-3 四阿工(四阿基礎)	(33)		
		2	シェルター設置		-		
		3	シェルター設備				
	3-12-6 キャビン(ロッジ)工	1	キャビン(ロッジ)基礎	3-12-3 四阿工(四阿基礎)	(33)		
		2	キャビン(ロッジ)設置		-		
		3	キャビン(ロッジ)設備				

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考
第12節 建築施設組立 設置工	3-12-7 温室工	1	温室基礎	3-12-3 四阿工（四阿基礎）	(33)	
		2	温室設置		—	
		3	温室設備			
	3-12-8 観察施設工	1	観察施設基礎	3-12-3 四阿工（四阿基礎）	(33)	
		2	観察施設設置		—	
		3	観察施設設備			
	3-12-9 売店工	1	売店基礎	3-12-3 四阿工（四阿基礎）	(33)	
		2	売店設置		—	
		3	売店設備			
	3-12-10 荷物預り所 工	1	荷物預り所基礎	3-12-3 四阿工（四阿基礎）	(33)	
		2	荷物預り所設置		—	
		3	荷物預り所設備			
	3-12-11 更衣室工	1	更衣室基礎	3-12-3 四阿工（四阿基礎）	(33)	
		2	更衣室設置		—	
		3	更衣室設備			
3-12-12 便所工	1	便所基礎	3-12-3 四阿工（四阿基礎）	(33)		
	2	便所設置		—		
	3	便所設備				
3-12-13 倉庫工	1	倉庫基礎	3-12-3 四阿工（四阿基礎）	(33)		
	2	倉庫設置		—		
	3	倉庫設備				
3-12-14 自転車置場 工	1	自転車置場基礎	3-12-3 四阿工（四阿基礎）	(33)		
	2	自転車置場設置		—		
	3	自転車置場設備				
3-12-15 建築施設修 繕工					—	
第13節 施設仕上げ工	3-13-3 塗装仕上げ工				—	
	3-13-4 加工仕上げ工				—	
	3-13-5 左官仕上げ工				—	
	3-13-6 タイル仕上げ工				—	
	3-13-7 石仕上げ工				—	
第14節 公園施設等撤 去・移設工	3-14-1 公園施設撤去 工				—	

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考
第14節 公園施設等撤去・移設工	3-14-2 移設工	1	遊具移設	1-11-3 移設工（遊具移設）	(11)	
		2	小工作物移設	1-11-3 移設工（小工作物移設）	(11)	
		3	景石移設		—	
	3-14-3 伐採工				—	
	3-14-4 発生土再利用工				—	
第4章 グラウンド・コート整備					34	
第3節 グラウンド・コート舗装工	4-3-3 *舗装準備工				—	
	4-3-4 グラウンド・コート用舗装工	1	*下層路盤（車道・路肩部）		34	
		2	*下層路盤（歩道部）			
		3	*上層路盤（車道・路肩部）		34	
		4	*上層路盤（歩道部）			
		5	中層			
		6	*基層（車道・路肩部）		35	
		7	*基層（歩道部）			
		8	クレー舗装		36	
		9	アソウカー舗装			
		10	天然芝舗装		37	
		11	人工芝舗装		38	
		12	全天候型舗装（樹脂系）		39	
		13	全天候型舗装（アスファルト系）			
		14	グラウンド・コート砂舗装		40	
15	グラウンド・コートダスト舗装					
4-3-5 グラウンド・コート縁石工	1	コンクリート縁石		41		
	2	舗装止め				
	3	見切材（仕切材）				
	4	内圏縁石				
第4節 スタンド整備工	4-4-3 スタンド擁壁工	1	スタンド擁壁		41	
	4-4-4 ベンチ工	1	スタンドベンチ		41	
		2	現場打ベンチ			
4-4-5 スタンド施設修繕工				—		

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考	
第5節 グラウンド・コート施設整備工	4-5-3 ダックアウト工	1	ダックアウト基礎		42		
		2	ダックアウト設置		—		
		3	ダックアウト設備				
	4-5-4 スコアボード工	1	スコアボード基礎	4-5-3 ダックアウト工 (ダックアウト基礎)	(42)		
		2	スコアボード設置		—		
		3	スコアボード設備				
	4-5-5 ハックネット工	1	ハックネット基礎	4-5-3 ダックアウト工 (ダックアウト基礎)	(42)		
		2	ハックネット設置		—		
	4-5-6 競技施設工	1	フェールポール			42	
		2	ポスト				
		3	ゴールポスト				
		4	支柱台				
		5	スポーツサークル				
		6	跳躍箱				
		7	踏切板				
		8	競技用砂場			—	
9		センターカイト					
10		ピッチャープレート					
11		ホームベース					
12		塁ベース					
13		塁ベース基礎			42		
4-5-7	スポーツポイント工				—		
4-5-8	審判台工	1	審判台	3-11-9 車止め工 (車止め・* 車止めポスト・車椅子ゲート)	(33)		
4-5-9	掲揚ポール工	1	掲揚ポール	3-11-9 車止め工 (車止め・* 車止めポスト・車椅子ゲート)	(33)		
4-5-10	衝撃吸収材工				—		
4-5-11	グラウンド・コート柵工	1	高尺ネットフェンス		42		
		2	フェンス				
		3	防球ネット				
4-5-12	グラウンド・コート施設修繕工	1	グラウンド・コート施設修繕		—		

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考
第6節 公園施設等撤去・移設工	4-6-1 公園施設撤去工				—	
	4-6-2 移設工	1	遊具移設	1-11-3 移設工（遊具移設）	(11)	
		2	小工作物移設	1-11-3 移設工（小工作物移設）	(11)	
		3	景石移設		—	
	4-6-3 伐採工				—	
4-6-4 発生土再利用工				—		
第5章 自然育成					43	
第2節 自然育成施設工	5-2-3 自然育成盛土工	1	蒔き出し		43	
		2	遮水・止水シート		43	
	5-2-4 自然水路工	1	たたき粘土		—	
		2	ごろた石積		43	
		3	崩れ積		—	
		4	砂・礫敷		43	
		5	遮水・止水シート		44	
	5-2-5 水田工	1	たたき粘土		—	
		2	水田土壌盛土		—	
		3	流入口		—	
		4	排出口		—	
		5	*角落し		—	
		6	*角落し受枠		—	
7				—		
5-2-6 ガレ山工	1	ガレ山		—		
5-2-7 粗朶山工	1	粗朶山		—		
5-2-8 カントリーヘッジ工	1	カントリーヘッジ		—		
5-2-9 石積土堰堤工	1	石積土堰堤		—		
5-2-10 しがらみ柵工	1	しがらみ柵		44		

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考		
第2節 自然育成施設工	5-2-11 自然育成型 護岸工	1	*天端コンクリート		-			
		2	*小口止コンクリート					
		5	*裏込・胴込コンクリート					
		6	*裏込材					
		7	*木杭					
		11	*ブロックマット					
		12	*杭柵					
		13	*連紫柵					
		14	*玉石柳枝					
		3	*石積				4 4	
		4	*石張					
		8	*雑割石張					
		9	*かごマット(スロープ型)				4 4	
		10	*かごマット(多段積型)					
		15	*種子散布		4 4			
		19	公園張芝					
		20	公園筋芝					
		21	公園市松芝					
		16	*野芝種子吹付					
		17	*被覆シート張		-			
18	*養生(散水養生)							
22	*覆土(流用土)							
23	*覆土(発生土)							
24	*覆土(採取土)							
25	*覆土(購入土)							
26	*遮水シート張							
27	*じゃかご	17-7*かご工(*じゃかご)	(5)					
28	*ふとんかご	17-7*かご工(*ふとんかご)	(5)					
5-2-12	保護柵工	1	保護柵				4 4	
5-2-13	解説板工	1	解説板		4 5			
5-2-14	自然育成施設 修繕工				-			
5-2-15	*作業土工				-			

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	備考
第2節 自然育成施設工	5-2-16 自然育成型護岸基礎工	1	*現場打基礎		45	
		2	*プレキャスト基礎		45	
		3	*中詰コンクリート		—	
		4	*中詰コンクリート殻			
		5	*一本土台			
		6	*片梯子土台			
		7	*梯子土台			
		8	*止杭一本土台			
		9	*詰杭			
	5-2-17 *沈床工	1	*粗朶沈床		45	
		2	*袋詰玉石			
		3	*吸出し防止材			
		4	*粗朶単床			
	5-2-18 *捨石工	1	*捨石		45	
		2	*表面均し			
		3	*吸出し防止材			
	5-2-19 *かご工	1	*じゃかご	17-7 *かご工 (*じゃかご)	(5)	
		2	*ふとんかご	17-7 *かご工 (*ふとんかご)	(5)	
		3	植生かご		—	
		4	植生かごマット			
5-2-20 *元付工				—		
第3節 自然育成植栽工	5-3-3 湿地移設工				—	
	5-3-4 水生植物植栽工	1	水生植物植栽		—	
	5-3-5 林地育成工				—	
第4節 公園施設等撤去・移設工	5-6-1 公園施設撤去工				—	
	5-6-2 移設工	1	遊具移設	1-11-3 移設工 (遊具移設)	(11)	
		2	小工作物移設	1-11-3 移設工 (小工作物移設)	(11)	
		3	景石移設		—	
第4節 公園施設等撤去・移設工	5-6-3 伐採工				—	
	5-6-4 発生土再利用工				—	

品質管理基準および規格値

区分	番号	材料	頁	備考
土・石材	1	たたき粘土	4 6	
	2	土舗装材	4 6	
	3	クレー舗装材	4 6	
	4	アンツーカー舗装材	4 6 ~ 4 8	
	5	舗装用石材	4 8	
	6	積み・張り用石材		
	7	火山砂利	4 9	
造園材料	1	客土	4 9	
	2	高木	5 0	
	3	中低木	5 0	
	4	特殊樹木	5 0	
	5	地被類	5 0	
木材	1	木材	5 1	

写真管理基準

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考
第1章 基盤整備					5 2	
第3節 敷地造成工	1-3-2 表土保全工	1	表土掘削		5 2	
		2	表土運搬		—	
	1-3-3 整地工	1	公園整地		5 2	
	1-3-4 *掘削工	1	*掘削		5 2	
		3	*河床等掘削			
		2	*土砂等運搬		—	
		4	*軟弱土等運搬			
		5	*整地			
		6	*転石破碎			
		7	*押土（ルーズ）			
		8	*積込（ルーズ）			
		9	*人力積込			
	1-3-5 *盛土工	1	*路体（築堤）盛土		5 2	
		2	*路床盛土	1-3-6 *路床盛土工	5 2	
		3	*土砂等運搬		—	
		4	*整地			
		5	*押土（ルーズ）			
6		*積込（ルーズ）				
7		*人力積込				
8		*土材料				
1-3-6 *路床盛土工	1	*路床盛土		5 2		
	2	*土砂等運搬		—		
	3	*整地				
	4	*押土（ルーズ）				
	5	*積込（ルーズ）				
	6	*人力積込				
	7	*土材料				
1-3-7 *法面整形工	1	*法面整形（切土部）		—		
	2	*法面整形（盛土部）		5 3		
1-3-8 *路床安定処理工	1	*安定処理		5 3		
1-3-9 *置換工	1	*置換		5 3		
1-3-10 *サントマット工	1	*サントマット		5 3		

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考
第3節 敷地造成工	1-3-1 1 *パッチカルトレン工	1	*サトトレン		54	
		2	*パッチトレン			
	1-3-1 2 *残土処理工				-	
第4節 公園土工	1-4-2 小規模土工	1	小規模掘削	1-3-4 *掘削工(*掘削(土砂)・*掘削(軟岩)・*掘削(硬岩))	(52)	
		2	小規模敷均・締固	1-3-5 *盛土工(*盛土(流用土)・*盛土(発生土)・*盛土(採取土)・*盛土(購入土))	(52)	
	1-4-3 *残土処理工				-	
第5節 植栽基盤工	1-5-3 透水層工	1	開渠排水		54	
		2	暗渠排水		54	
		3	縦穴排水		-	
	1-5-4 土層改良工	1	普通耕		54	
		2	深耕			
		3	混層耕			
		4	心土破碎			
	1-5-5 土性改良工	1	土性改良		54	
		2	中和剤施用			
		3	除塩			
		4	施肥			
	1-5-6 表土盛土工	1	盛土(流用表土)		54	
		2	盛土(発生表土)			
3		盛土(採取表土)				
4		盛土(購入表土)				
1-5-7 人工地盤工	1	防水		-		
	2	押さえコンクリート				
	3	*目地板				
	7	人工地盤客土				
	4	人工地盤排水層		55		
	5	フィルター		55		
	6	防根シート				
1-5-8 造形工	1	表面仕上げ		55		
	2	築山				
第6節 *コンクリート工	1-6-2 *張りコンクリート工			-		

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考
第7節*法面工	1-7-3 法面柵工	1	法面柵		5 5	
	1-7-4*植生工	1	*種子散布		5 5	
		2	*養生(散水養生)			
		5	*植生シート			
		6	*植生マット			
		7	公園種子帯			
		8	公園張芝			
		9	公園筋芝			
		10	公園市松芝			
		11	*人工張芝			
		12	*植生穴			
		3	*客土吹付			5 6
*植生基材吹付						
1-7-5*法柵工	1	*現場打法柵		5 6		
	4	*吹付柵				
	2	*プレキャスト法柵		5 6		
	3	金属製法柵				
1-7-6 編柵工	1	編柵		5 6		
1-7-7*かご工	1	*じゃかご		5 6		
	2	*ふとんかご		5 6		
第8節*軽量盛土工	1-8-2*作業土工				-	
	1-8-3*軽量盛土工	1	*軽量盛土		5 6	
		2	*コンクリート床版		-	
		3	*基礎コンクリート			
		4	*支柱			
		5	*壁面材			
		6	*裏込砕石			

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考			
第9節*擁壁工	1-9-3*作業土工				—				
	1-9-4*場所打擁壁工 (構造物単位) *場所打擁壁工	1	*小型擁壁			57			
		2	*重力式擁壁						
		3	*もたれ式擁壁						
		4	*逆T型擁壁						
		5	*L型擁壁						
		6	*裏込砕石						
		7	*止水板						
		8	*化粧型枠						
		9	*ペーラインコンクリート						
		14	*コンクリート						
		15	*鉄筋						
		16	*型枠						
		17	*足場						
		18	*目地板						
		20	*水抜パイプ						
		10	*基礎材					57	
		12	*均しコンクリート						
		11	公園基礎材					57	
		13	公園均しコンクリート						
		21	*吸出し防止材					—	
		22	擁壁高さ調整					57	
1-9-5*プレキャスト擁壁工		1	*プレキャスト擁壁					57	
1-9-6 *帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁工 *ジオテキスタイル補強土壁工	1	*補強土壁基礎			58				
	2	*補強土壁壁面材組立・設置							
	3	*補強材取付							
	8	*ジオテキスタイル壁面材組立・設置							
	9	*ジオテキスタイル敷設							
	4	*まき出し・敷均し・締固め					—		
	5	*採取土盛土材							
6	*壁面上端処理								
7	*排水管敷設								

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考
第9節*擁壁工	1-9-7 *コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積) *コンクリートブロック工(間知ブロック張) *コンクリートブロック工(平ブロック張) *コンクリートブロック工(連節ブロック張) *コンクリートブロック工(緑化ブロック積)	1	*コンクリートブロック基礎		58	
		2	*フレキャスト基礎			
		3	*基礎材			
		4	*中詰コンクリート			
		5	*コンクリートブロック積			
		6	*大型ブロック積			
		7	*大型ブロック積			
		8	*胴込・裏込コンクリート			
		9	*胴込・裏込材(砕石)			
		10	*吸出し防止材(全面)設置			
		11	*遮水シート張			
		12	*目地板			
		13	*養生費			
		14	*天端コンクリート			
		15	*小口止コンクリート			
		16	*間知ブロック張			
		17	*平ブロック張			
		18	*裏込栗石			
		19	*連節ブロック張			
		20	*緑化ブロック積			
		21	*ブロック植栽			
		22	*天端保護ブロック			
1-9-8 石積工		1	崩れ積		58	
		2	面積		59	
		3	玉石積			
		4	小端積			
		5	こぶだし石積			
		6	切石積			
		7	間知石積			
		8	雑割石積			
		9	雑石積			
		10	割石積			
		11	雑割石張			
		12	雑石張			
		13	石積高さ調整			
1-9-9 土留め工		1	土留め		59	

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考	
第10節 公園カルハート工	1-10-3 *作業土工				—		
	1-10-4 *場所打函渠工(構造物単位) *場所打函渠工	1	*函渠			60	
		2	*鉄筋				
		7	*コンクリート				
		9	*型枠				
		10	*足場				
		11	*支保				
12		*目地板					
	13	*止水板					
	14	*水抜パイプ					
1-10-4 *現場打函渠工(構造物単位) *現場打函渠工	3	*基礎材		19-4 *場所打擁壁工(*基礎材・*均しコンクリート)	(57)		
	5	*均しコンクリート					
1-10-5 *プレキャストカルハート工	4	公園基礎材		19-4 *場所打擁壁工(公園基礎材・公園均しコンクリート)	(57)		
	6	公園均しコンクリート					
	1	プレキャストボックス			60		
第11節 公園施設等撤去・移設工	1-11-2 公園施設撤去工				—		
	1-11-3 移設工	1	遊具移設		61		
		2	小工作物移設		61		
		3	景石移設		61		
	1-11-4 伐採工				—		
1-11-5 発生材再利用工				—			
第2章 植栽					61		
第3節 植栽工	2-3-3 高木植栽工	1	高木植栽		61		
		2	高木植栽(支柱有・幹巻有)				
3		高木植栽(支柱有・幹巻無)					
2-3-4 中低木植栽工	1	中低木植栽		2-3-3 高木植栽工(高木植栽・高木植栽(支柱有・幹巻有)・高木植栽(支柱有・幹巻無))	(61)		
	2	中低木植栽(支柱無・幹巻無)					
	3	中低木植栽(支柱有・幹巻有)					
	4	中低木植栽(支柱有・幹巻無)					

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考
第3節 植栽工	2-3-5 特殊樹木植栽工	1	特殊樹種植栽（高木）	2-3-3 高木植栽工（高木植栽・高木植栽（支柱有・幹巻有）・高木植栽（支柱有・幹巻無））	(61)	
		2	特殊樹種植栽（高木） （支柱有・幹巻有）			
		3	特殊樹種植栽（高木） （支柱有・幹巻無）			
		4	特殊樹種植栽（中木）			
		5	特殊樹種植栽（中木） （支柱無・幹巻無）			
		6	特殊樹種植栽（中木） （支柱有・幹巻有）			
		7	特殊樹種植栽（中木） （支柱有・幹巻無）			
	2-3-6 地被類植栽工	1	地被類植栽		61	
	2-3-7 草花種子散布工	1	草花種子散布		62	
		2	草花植生マット			
	2-3-8 播種工	1	播種		62	
	2-3-9 花壇植栽工	1	花壇植栽		62	
	2-3-10 樹木養生工	1	防風ネット		62	
		2	寒冷紗巻き		62	
		3	植穴透水層		62	
		4	空気管		62	
		5	マルチング [®] A		—	
		6	マルチング [®] B			
		7	防根シート	15-7 人工地盤工（防根シート）	(55)	
		8	養生柵		62	
9		支柱設置		62		
2-3-11 樹名板工	1	埋込型樹名板		63		
	2	幹巻型樹名板		63		
2-3-12 根囲い保護工	1	根囲い保護		63		
2-3-13 芝生保護工				—		

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考
第3節 植栽工	2-3-14 壁面緑化施設工	1	壁面緑化フェンス		63	
		2	壁面緑化パネル			
		3	登はん補助資材			
		4	壁面緑化設備		—	
第4節 移植工	2-4-3 根回し工	1	高中木根回し		63	
	2-4-4 高木移植工	1	高木移植		63	
		2	樹木運搬		—	
		3	特殊機械掘取			
		4	特殊機械運搬			
	2-4-5 根株移植工	1	根株移植		64	
		2	根株運搬		—	
		3	特殊機械掘取			
		4	特殊機械運搬			
	2-4-6 中低木移植工	1	中低木移植		64	
		2	樹木運搬		—	
	2-4-7 地被類移植工	1	地被類移植		64	
		2	地被類運搬		—	
	2-4-8 樹木養生工	1	防風ネット	2-3-10 樹木養生工（防風ネット）	(63)	
		2	寒冷紗巻き	2-3-10 樹木養生工（寒冷紗巻き）	(63)	
		3	植穴透水層	2-3-10 樹木養生工（植穴透水層）	(63)	
		4	空気管	2-3-10 樹木養生工（空気管）	(63)	
		5	マルチング [®] A マルチング [®] B		—	
		6	防根シート	15-7 人工地盤工（防根シート）	(55)	
		7	養生柵	2-3-10 樹木養生工（養生柵）	(63)	
8		支柱設置	2-3-10 樹木養生工（支柱設置）	(63)		
2-4-9 樹名板工	1	埋込型樹名板	2-3-11 樹名板工（埋込型樹名板）	(63)		
	2	幹巻型樹名板	2-3-11 樹名板工（幹巻型樹名板）	(63)		
2-4-10 根囲い保護工	1	根囲い保護	2-3-12 根囲い保護工	(63)		
第5節 樹木整姿工	2-5-3 高中木整姿工	1	基本剪定		64	
		2	軽剪定			
		3	機械剪定			

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考
第5節 樹木整姿工	2-5-4 低木整姿工	1	手刈		64	
		2	機械刈			
	2-5-5 樹勢回復工	1	樹勢回復		65	
2		樹木修復		65		
第6節 公園施設等撤去・移設工	2-6-1 公園施設撤去工				-	
	2-6-2 移設工	1	遊具移設	1-11-3 移設工(遊具移設)	(61)	
		2	小工作物移設	1-11-3 移設工(小工作物移設)	(61)	
		3	景石移設	1-11-3 移設工(景石移設)	(61)	
	2-6-3 伐採工				-	
2-6-4 発生材再利用工				-		
第3章 施設整備					65	
第3節 給水設備工	3-3-3 水栓類取付工	1	メーターボックス		65	
		2	止水栓			
		3	止水栓ボックス			
		4	不凍水栓			
		5	ボックス類高さ調整			
	3-3-4 貯水施設工				-	
	3-3-5 循環設備工				-	
	3-3-6 散水施設工	1	スプレッシャー		-	
			ミスト			
			トリップパイプ		65	
		4	散水栓		65	
散水栓ボックス						
6	散水栓高さ調整		65			
3-3-7 消火栓工				-		
3-3-8 給水施設修繕工		1	給水施設修繕		65	
3-3-9*作業土工				-		
第3節 給水設備工	3-3-10 給水管路工	1	給水管		65	
		3	埋設シート			
		2	埋設標			
第4節 雨水排水設備工	3-4-3 調節地工				-	
	3-4-4 貯留施設工				-	
	3-4-5*作業土工				-	

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考	
第4節 雨水排水設備工	3-4-6 *側溝工	1	プレキャストL型・V型側溝		66		
		3	*管(函)渠型側溝				
		5	*プレキャストU型側溝				
		7	プレキャスト皿型側溝				
		8	*コルゲートフリューム				
		9	*自由勾配側溝				
		10	特殊円形側溝				
		2	現場打L型側溝				66
		4	*側溝基礎				—
		12	U型側溝小口止め				
		14	*側溝蓋				
		6	現場打側溝				66
		11	公園素掘側溝				66
	13	側溝高さ調整		66			
	3-4-7 *管渠工	1	公園管渠		66		
		2	*PC管				
		3	*ヒューム管(B形管)				
		4	*暗渠排水管				
		5	*鉄筋コンクリート台付管				
		6	*巻きコンクリート				
7		*コルゲートパイプ					
8		副管		—			
9		接続用ソケット					
10	立体網状管						
11	管閉塞						
12	管口フィルター						

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考		
第4節 雨水排水設備工	3-4-8 *集水樹・マンホール工	1	*現場打ち街渠樹		66			
		2	*現場打ち集水樹					
		3	浸透樹					
		4	*プレキャスト街渠樹					
		5	*プレキャスト集水樹					
		6	*集水樹・マンホール基礎					
		7	塩化ビニル製樹					
		8	*マンホール					
		9	*プレキャストマンホール					
		10	公園マンホール					
		11	浸透マンホール					
		12	樹高さ調整				66	
		13	マンホール高さ調整					
		14	*蓋				—	
3-4-9 *地下排水工	1	透水コンクリート管		67				
	2	化学繊維管						
	3	*地下排水						
3-4-10 公園水路工	1	*場所打水路		67				
	2	プレキャスト水路						
	3	水路蓋				—		
第5節 汚水排水設備工	3-5-3 *作業土工				—			
	3-5-4 *管渠工	1	公園管渠	3-4-7 *管渠工 (公園管渠・*コ ルゲートパイプ)	(67)			
		2	*PC管					
		3	*ヒューム管(B形管)					
		4	*暗渠排水管					
		5	*鉄筋コンクリート台付管					
		6	*巻きコンクリート					
		7	*コルゲートパイプ					
	8	副管		—				
	9	接続用ソケット						
10	管閉塞							

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考	
第5節 汚水排水設備工	3-5-5 汚水桝・マンホール工	1	汚水桝	3-4-8 *集水桝・マンホール工 (*街渠桝・*集水桝・浸透桝・*プレキャスト街渠桝・*プレキャスト集水桝・塩化ビニル製桝・*マンホール・*プレキャストマンホール・公園マンホール・浸透マンホール)	(67)		
		2	塩化ビニル製桝				
		3	*マンホール				
		4	プレキャストマンホール				
		5	集水桝・マンホール基礎				
		6	公園マンホール				
	7	インハート		—			
	10	*蓋		—			
	8	桝高さ調整	3-4-8 *集水桝・マンホール工 (桝高さ調整・マンホール高さ調整)	(67)			
9	マンホール高さ調整						
	3-5-6 浄化槽工			—			
第6節 電気設備工	3-6-3 照明設備工	1	*ハントール		67		
		2	ハントール高さ調整		67		
		3	引込柱		67		
		4	分電盤				
		5	分電盤高さ調整		67		
		6	照明灯基礎		67		
		7	照明灯		—		
		8	遮光板		—		
	3-6-4 放送設備工	1	*ハントール	3-6-3 照明設備工 (*ハントール)	(67)		
		2	ハントール高さ調整	3-6-3 照明設備工 (ハントール高さ調整)	(67)		
		3	放送設備		—		
		5	スピーカー柱				
			4	スピーカー柱基礎		67	
	3-6-5 監視カメラ設置工	1	*ハントール	3-6-3 照明設備工 (*ハントール)	(67)		
		2	ハントール高さ調整	3-6-3 照明設備工 (ハントール高さ調整)	(67)		
		3	監視カメラ設備		—		
		5	監視カメラ柱				
			4	監視カメラ柱基礎		68	
	3-6-6 電気設備修繕工	1	電気設備修繕		68		

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考
第6節 電気設備工	3-6-7 *作業土工				—	
	3-6-8 電線管路工	1	電線管		68	
		2	電線			
		4	埋設シート			
		3	埋設標		—	
第7節 園路広場整備工	3-7-3 *舗装撤去工				—	
	3-7-4 *舗装準備工				—	
	3-7-5 *アスファルト舗装工	1	*下層路盤(車道・路肩部)		69	
		2	*下層路盤(歩道部)			
		3	*上層路盤(車道・路肩部)			
		4	*上層路盤(歩道部)			
		5	*基層(車道・路肩部)		69	
		6	*基層(歩道部)			
		7	*中間層(車道・路肩部)		—	
		8	*中間層(歩道部)			
		9	*表層(車道・路肩部)		69	
		10	*表層(歩道部)			
	3-7-6 *排水性舗装工	1	*下層路盤(車道・路肩部)		69	
		2	*下層路盤(歩道部)			
		3	*上層路盤(車道・路肩部)			
		4	*上層路盤(歩道部)			
		5	*基層(車道・路肩部)		69	
		6	*基層(歩道部)			
		7	*中間層(車道・路肩部)		—	
		8	*中間層(歩道部)			
	9	*排水性舗装・表層(車道・路肩部)		69		
	3-7-7 *透水性舗装工	1	*フィルター層		—	
		2	*下層路盤(車道・路肩部)		70	
3		*下層路盤(歩道部)				
4		*表層		70		
3-7-8 アスファルト系舗装工	1	公園アスファルト舗装		70		
	2	公園アスファルト薄層カラー舗装				
	3	透水性アスファルト舗装				
	4	脱色アスファルト舗装				

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考	
第7節 園路広場整備工	3-7-9 コンクリート系舗装工	1	インターロッキング舗装	3-7-8 アスファルト系舗装工（公園アスファルト舗装・公園アスファルト薄層カラー舗装・透水性アスファルト舗装・脱色アスファルト舗装）	(70)		
		2	公園コンクリート舗装				
		3	透水性コンクリート舗装				
		4	平板舗装				
		5	洗い出し舗装				
	3-7-10 土系舗装工	1	土舗装	3-7-8 アスファルト系舗装工（公園アスファルト舗装・公園アスファルト薄層カラー舗装・透水性アスファルト舗装・脱色アスファルト舗装）	(70)		
		2	芝舗装				
		3	耐踏圧性芝生舗装				
		4	砂舗装				
		5	石灰岩ダスト舗装				
	3-7-11 レンガ・タイル系舗装工	1	レンガ舗装	3-7-8 アスファルト系舗装工（公園アスファルト舗装・公園アスファルト薄層カラー舗装・透水性アスファルト舗装・脱色アスファルト舗装）	(70)		
		2	タイル舗装				
	3-7-12 木系舗装工	3-7-12 木系舗装工	1	チップ舗装	3-7-8 アスファルト系舗装工（公園アスファルト舗装・公園アスファルト薄層カラー舗装・透水性アスファルト舗装・脱色アスファルト舗装）	(70)	
			2	木レンガ舗装			
3			木道				
4			枕木舗装				
3-7-13 樹脂系舗装工	3-7-13 樹脂系舗装工	1	樹脂舗装	3-7-8 アスファルト系舗装工（公園アスファルト舗装・公園アスファルト薄層カラー舗装・透水性アスファルト舗装・脱色アスファルト舗装）	(70)		
		2	ゴムチップ舗装				
3-7-14 石材系舗装工	3-7-14 石材系舗装工	1	砂利舗装	3-7-8 アスファルト系舗装工（公園アスファルト舗装・公園アスファルト薄層カラー舗装・透水性アスファルト舗装・脱色アスファルト舗装）	(70)		
		2	碎石舗装				
		3	平石張舗装				
		4	ごろた石張舗装				
		5	玉石張舗装				
		6	割板石張舗装				
		7	小舗石舗装				
		8	切板石張舗装				
		9	延段				
		10	飛石				
3-7-15 *舗装仮復旧工					70		
					—		

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考
第7節 園路広場整備工	3-7-16 園路縁石工	1	コンクリート縁石		71	
		2	現場打縁石			
		3	駒止めブロック			
		4	舗装止め			
		5	擬石縁石			
		6	レンガ縁石			
		7	木縁石			
		8	見切材（仕切材）			
		9	石材縁石			
		10	縁石高さ調整			
	3-7-17 *区画線工	1	*溶融式区画線		71	
		2	*ペイント式区画線			
		3	*区画線消去			
		4	*区画線消去(WJ式日当施工量未満)			
		5	ロープ区画線			
		6	ロープ止め			
	3-7-18 階段工	1	コンクリート階段		71	
		2	コンクリートブロック階段			
		3	丸太階段			
		4	擬木階段			
5		石材階段				
6		階段高さ調整		71		
7		スロープ		—		
8		手すり	3-11-8 柵工（フェンス・柵・手すり・*転落（横断）防止柵・*ガードレール・*ガードケブル・*ガードパイプ）	(77)		
3-7-19 公園橋工	1	公園橋橋台		71		
	4	石橋橋台				
	6	木橋橋台				
	2	公園橋設置				71
	3	八ッ橋				
	5	石橋設置				
	7	木橋設置				
	8	浮き栈橋				

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考	
第7節 園路広場整備工	3-7-20 デッキ工	1	デッキ基礎		72		
		2	デッキ設置				
	3-7-21 視覚障害者誘導用ブロック工					-	
	3-7-22 *作業土工					-	
第8節 修景施設整備工	3-7-23 植樹ブロック工	1	*植樹ブロック		72		
	3-8-3 石組工	1	石組		72		
		2	景石				
	3-8-4 添景物工	1	つくばい		72		
		2	井筒				
		3	灯籠				
		4	石塔				
		5	擬岩造形				
	3-8-5 袖垣・垣根工	1	袖垣		72		
		2	垣根				
	3-8-6 花壇工					-	
	3-8-7 トレリス工	1	トレリス		72		
		2	緑化フェンス				
3-8-8 モニュメント工	1	モニュメント	3-8-7 トレリス工 (トレリス・緑化フェンス)	(72)			
	2	記念碑					
3-8-9 小規模水景施設工	1	流れ		73			
	2	滝		73			
	3	池		73			
	4	州浜		73			
	5	壁泉		73			
	6	カスケード		73			
	7	カナール		73			
3-8-10 修景施設修繕工					74		
3-8-11 *作業土工					-		

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考
第8節 修景施設整備工	3-8-12 水景施設工	1	公園基礎材	19-4 *場所打擁壁工(公園基礎材・公園均しコンクリート)	(57)	
		2	公園均しコンクリート			
		3	*コンクリート	19-4 *場所打擁壁工(*コンクリート・*鉄筋・*型枠)	(57)	
		4	*鉄筋			
		5	*型枠			
		6	防水			
		7	塗装仕上げ		-	
		8	加工仕上げ			
		9	左官仕上げ			
		10	タイル仕上げ			
		11	石仕上げ			
		12	護岸			
		13	石組			
		14	滝石組			
		15	沢飛			
		16	流出口			
		17	吐出口			
第9節 遊戯施設整備工	3-9-3 遊具組立設置工	1	ブランコ		74	
		2	ジャングルジム			
		3	滑台			
		4	シーソー			
		5	鉄棒			
		6	ラダー			
		7	はん登棒			
		8	スプリング遊具			
		9	複合遊具			
		10	アスレチック遊具			
		11	健康遊具施設			
	12	安全柵	3-11-8 柵工(フェンス・柵・手すり・*転落(横断)防止柵・*カート・レール・*カートケープル・*カート・ハイブ)	(77)		
	13	安全マット		-		
3-9-4 小規模現場打遊具工	1	砂場		74		
	2	現場打遊具		74		
	3	徒渉池		74		

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考
第9節 遊戯施設整備工	3-9-5 遊具施設修繕工	1	遊具施設修繕		75	
	3-9-6 *作業土工				—	
	3-9-7 現場打遊具工	1	公園基礎材	19-4 *場所打擁壁工 (公園基材・公園均しコンクリート)	(57)	
		2	公園均しコンクリート			
		3	*コンクリート	19-4 *場所打擁壁工 (*コンクリート・*鉄筋・*型枠)	(57)	
		4	*鉄筋			
		5	*型枠			
		6	防水		—	
		7	塗装仕上げ			
		8	加工仕上げ			
9		左官仕上げ				
10	タイル仕上げ					
11	石仕上げ					
12	特殊仕上げ					
13	砂					
14	石取付					
15	砂場枠					
16	付属施設取付(鋼材・チェーン等)					
17	吐出口					
18	流出口		3-9-4 小規模現場打遊具工 (徒渉池)	(74)		
第10節 サービス施設整備工	3-10-3 時計台工	1	時計台		75	
	3-10-4 水飲み場工	1	水飲み場		75	
	3-10-5 洗い場工	1	手洗い場	3-10-4 水飲み場工(水飲み場)	(75)	
		2	足洗い場			
	3-10-6 ベンチ・テーブル工	1	ベンチ		75	
		2	縁台			
		3	テーブル			
		4	スツール			
5		野外卓				
3-10-7 野外炉工	1	野外炉	3-10-3 時計台工(時計台)	(75)		
3-10-8 炊事場工	1	炊事場		75		

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考
第10節 サービス施設整備工	3-10-9 サイン工	1	サイン	3-10-3 時計台工 (時計台)	(75)	
	3-10-10 サービス施設修繕工	1	サービス施設修繕		76	
第11節 管理施設整備工	3-11-3 リサイクル施設工	1	リサイクル施設基礎		76	
		2	リサイクル施設設置		—	
		3	リサイクル施設整備		—	
	3-11-4 ごみ焼却施設工	1	ごみ焼却施設基礎	3-11-3 リサイクル施設工 (リサイクル施設基礎)	(76)	
		2	ごみ焼却施設設置		—	
		3	ゴミ焼却施設設備		—	
	3-11-5 ごみ施設工	1	くず入れ		76	
		2	吸殻入れ		—	
		3	ごみ置場		—	
	3-11-6 井戸工	1	さく井		76	
		2	手押しポンプ		76	
		3	井戸設備		—	
	3-11-7 門壁工	1	門壁		76	
		2	門柱		—	
		3	門扉		—	
3-11-8 柵工	1	フェンス		77		
	2	柵		—		
	3	手すり		—		
	4	*転落(横断)防止柵		—		
	5	*ガードレール		—		
	6	*ガードケーブル		—		
	7	*ガードパイプ		—		
	8	*基礎ブロック、鋼管基礎		—		
	9	*金網・支柱(立入防止柵)		—		
	10	*門扉		—		
3-11-9 車止め工	1	車止め		77		
	2	*車止めポスト		—		
	3	車椅子ゲート		—		
3-11-10 園名板工	1	園名板	3-11-9 車止め工 (車止め・*車止めポスト・車椅子ゲート)	(77)		

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考
第11節 管理施設整備工	3-11-11 掲揚ポール工	1	掲揚ポール	3-11-9 車止め工（車止め・*車止めポスト・車椅子ゲート）	(77)	
	3-11-12 反射鏡工	1	カーブミラー	3-11-9 車止め工（車止め・*車止めポスト・車椅子ゲート）	(77)	
	3-11-13 *境界工				—	
	3-11-14 管理施設修繕工	1	管理施設修繕		77	
第12節 建築施設組立設置工	3-12-3 四阿工	1	四阿基礎		77	
		2	四阿設置		—	
		3	四阿設備		—	
	3-12-4 ハーコラ工	1	ハーコラ基礎	3-12-3 四阿工（四阿基礎）	(77)	
		2	ハーコラ設置		—	
		3	ハーコラ設備		—	
	3-12-5 シェルター工	1	シェルター基礎	3-12-3 四阿工（四阿基礎）	(77)	
		2	シェルター設置		—	
		3	シェルター設備		—	
	3-12-6 キャビン(ロッジ)工	1	キャビン(ロッジ)基礎	3-12-3 四阿工（四阿基礎）	(77)	
		2	キャビン(ロッジ)設置		—	
		3	キャビン(ロッジ)設備		—	
	3-12-7 温室工	1	温室基礎	3-12-3 四阿工（四阿基礎）	(77)	
		2	温室設置		—	
	3-12-7 温室工	3	温室設備		—	
	3-12-8 観察施設工	1	観察施設基礎	3-12-3 四阿工（四阿基礎）	(77)	
		2	観察施設設置		—	
		3	観察施設設備		—	
	3-12-9 売店工	1	売店基礎	3-12-3 四阿工（四阿基礎）	(77)	
		2	売店設置		—	
		3	売店設備		—	
3-1210 荷物預り所工	1	荷物預り所基礎	3-12-3 四阿工（四阿基礎）	(77)		
	2	荷物預り所設置		—		
	3	荷物預り所設備		—		
3-12-11 更衣室工	1	更衣室基礎	3-12-3 四阿工（四阿基礎）	(77)		
	2	更衣室設置		—		
	3	更衣室設備		—		

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考
第12節 建築施設組立 設置工	3-12-12 便所工	1	便所基礎	3-12-3 四阿工（四阿基礎）	(77)	
		2	便所設置		—	
		3	便所設備			
	3-12-13 倉庫工	1	倉庫基礎	3-12-3 四阿工（四阿基礎）	(77)	
		2	倉庫設置		—	
		3	倉庫設備			
	3-12-14 自転車置 場工	1	自転車置場基礎	3-12-3 四阿工（四阿基礎）	(77)	
		2	自転車置場設置		—	
		3	自転車置場設備			
3-12-15 建築施設 修繕工	1	建築施設修繕		78		
第13節 施設仕上げ工	3-13-3 塗装仕上げ				—	
	3-13-4 加工仕上げ				—	
	3-13-5 左官仕上げ				—	
	3-13-6 タイル仕上げ				—	
	3-13-7 石仕上げ				—	
第14節 公園施設等撤 去・移設工	3-14-1 公園施設撤去工				—	
	3-14-2 移設工	1	遊具移設	1-11-3 移設工（遊具移設）	(61)	
		2	小工作物移設	1-11-3 移設工（小工作物移設）	(61)	
		3	景石移設	1-11-3 移設工（景石移設）	(61)	
	3-14-3 伐採工				—	
3-14-4 発生材再利用工				—		
第4章 グラウンド・コート整備					78	
第3節 クラウンド・コ ート舗装工	4-3-3*舗装準備工				—	

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考
第3節 クラウンド・コート舗装工	4-3-4 グラウンド・コート用舗装工	1	*下層路盤(車道・路肩部)		78	
		2	*下層路盤(歩道部)			
		3	*上層路盤(車道・路肩部)			
		4	*上層路盤(歩道部)			
		5	中層			
		6	*基層(車道・路肩部)		78	
		7	*基層(歩道部)			
		8	クレー舗装		79	
		9	アソーカー舗装			
		10	天然芝舗装			
		14	グラウンド・コート砂舗装			
		15	グラウンド・コートダスト舗装			
		11	人工芝舗装		79	
12	全天候型舗装(樹脂系)					
13	全天候型舗装(アスファルト系)					
	4-3-5 グラウンド・コート縁石工	1	コンクリート縁石		80	
		2	舗装止め			
		3	見切材(仕切材)			
		4	内圏縁石			
第4節 スタンド整備工	4-4-3 スタンド擁壁工	1	スタンド擁壁		80	
	4-4-4 ベンチ工	1	スタンドベンチ		80	
		2	現場打ベンチ			
4-4-5 スタンド施設修繕工	1	スタンド施設修繕		81		
第5節 グラウンド・コート施設整備工	4-5-3 ダッグアウト工	1	ダッグアウト基礎		81	
		2	ダッグアウト設置			
		3	ダッグアウト設備			
	4-5-4 スコアボード工	1	スコアボード基礎	4-5-3 ダッグアウト工(ダッグアウト基礎)	(81)	
		2	スコアボード設置		-	
	4	スコアボード設備				
	4-5-5 バックネット工	1	バックネット基礎		81	
2		バックネット設置		-		

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考		
第5節 グラウンド・コート施設整備工	4-5-6 競技施設工	1	フェールポール		81			
		2	ポスト					
		3	ゴールポスト					
		4	支柱台					
		5	スポーツサークル					
		6	跳躍箱					
		7	踏切板					
	8	競技用砂場		-				
	9	センターガイ						
	10	ピッチャープレート						
	11	ホームベース						
	12	塁ベース						
	13	塁ベース基礎						
4-5-7	スポーツポイント工			-				
4-5-8	審判台工	1	審判台	3-11-9 車止め工（車止め・*車止めポスト・車椅子ゲート）	(77)			
4-5-9	掲揚ポール工	1	掲揚ポール	3-11-9 車止め工（車止め・*車止めポスト・車椅子ゲート）	(77)			
4-5-10	衝撃吸収材工				-			
4-5-11	グラウンド・コート柵工	1	高尺ネットフェンス		82			
		2	フェンス					
		3	防球ネット					
4-5-12	グラウンド・コート施設修繕工	1	グラウンド・コート施設修繕		82			
第6節 公園施設等撤去・移設工	4-6-1	公園施設撤去工			-			
	4-6-2	移設工	1	遊具移設	1-11-3 移設工（遊具移設）	(61)		
			2	小工作物移設	1-11-3 移設工（小工作物移設）	(61)		
			3	景石移設	1-11-3 移設工（景石移設）	(61)		
	4-6-3	伐採工				-		
4-6-4	発生材再利用工				-			
第5章	自然育成				82			
第2節	自然育成施設工	5-2-3	自然育成盛土工	1	蒔き出し		82	

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考	
第2節 自然育成施設工	5-2-4 自然水路工	1	遮水・止水シート		83		
		2	たたき粘土		—		
		3	ごろた石積		83		
		4	崩れ積				
		5	砂・礫		83		
	5-2-5 水田工	1	遮水・止水シート		83		
		2	たたき粘土		—		
		3	水田土壌盛土				
		4	流入口				
		5	排出口				
		6	* 角落し				
		7	* 角落し受枠				
	5-2-6	ガレ山工	1	ガレ山		83	
	5-2-7	粗朶山工	1	粗朶山		83	
	5-2-8	カントリーヘッジ工	1	カントリーヘッジ		83	
	5-2-9	石積土堰堤工	1	石積土堰堤		84	
	5-2-10	しがらみ柵工	1	しがらみ柵		84	
	5-2-11 自然育成型護岸工	1	* 天端コンクリート			—	
		2	* 小口止コンクリート				
		5	* 裏込・胴込コンクリート				
6		* 裏込材					
7		* 木杭					
11		* フロックマット					
12		* 杭柵					
13		* 連紫柵					
14		* 玉石柳枝					
16		* 野芝種子吹付					
17	* 被覆シート張						
18	* 養生(散水養生)						
		3	* 石積		84		
		4	* 石張				
		8	* 雑割石張				
		9	* かごマット(スロープ型)		84		
		10	* かごマット(多段積型)				

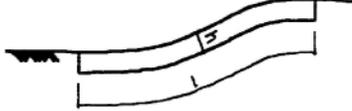
章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考	
第2節 自然育成施設工	5-2-11 自然育成 型護岸工	15	*種子散布		84		
		19	公園張芝		84		
		20	公園筋芝				
		21	公園市松芝		84		
		22	*覆土(流用土)			84	
		23	*覆土(発生土)				
		24	*覆土(採取土)				
		25	*覆土(購入土)				
			26	*遮水シート張		—	
			27	*じゃかご			
			28	*ふとんかご			
		5-2-12 保護柵工	1	保護柵		85	
		5-2-13 解説板工	1	解説板		85	
		5-2-14 自然育成 施設修繕工	1	自然育成施設修繕		85	
		5-2-15 *作業土工				—	
		5-2-16 自然育成 型護岸基礎工	1	*現場打基礎		85	
			2	*プレキャスト基礎		85	
			3	*中詰コンクリート		—	
			4	*中詰コンクリート殻			
			5	*一本土台			
			6	*片梯子土台			
			7	*梯子土台			
			8	*止杭一本土台			
			9	*詰杭			
		5-2-17 *沈床工	1	*粗朶沈床		86	
			2	*袋詰玉石			
			3	*吸出し防止材			
			4	*粗朶単床			
	5-2-18 *捨石工	1	*捨石		86		
		2	*表面均し				
		3	*吸出し防止材				
	5-2-19 *かご工	1	*じゃかご		—		
		2	*ふとんかご		—		
		3	植生かご				
		4	植生かごマット				

章、節	条	枝番	工種	準用する写真管理基準	頁	備考
第2節 自然育成施設工	5-2-20*元付工				-	
第3節 自然育成植栽工	5-3-3 湿地移植工				-	
	5-3-4 水性植物植栽工	1	水性植物植栽		86	
	5-3-5 林地育成工				-	
第4節 公園施設等撤去・移設工	5-4-1 公園施設撤去工				-	
	5-4-2 移設工	1	遊具移設	1-11-3 移設工(遊具移設)	(61)	
		2	小工作物移設	1-11-3 移設工(小工作物移設)	(61)	
		3	景石移設	1-11-3 移設工(景石移設)	(61)	
	5-4-3 伐採工				-	
5-4-4 発生材再利用工				-		

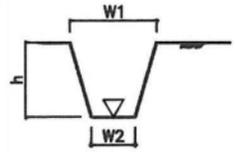
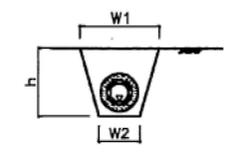
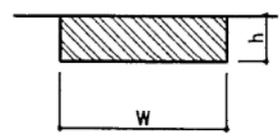
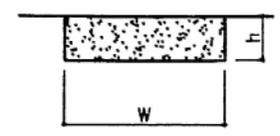
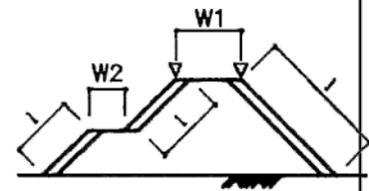
品質写真管理基準

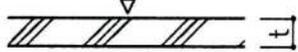
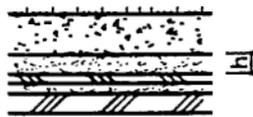
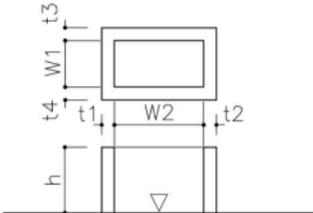
区分	番号	材料	頁	備考
土・石材	1	たたき粘土	87	
	2	土舗装材	87	
	3	クレー舗装材	87	
	4	アンツーカー舗装材	87	
	5	舗装用石材	87	
	6	積み・張り用石材		
	7	火山砂利	87	
造園材料	1	客土	88	
	2	高木	88	
	3	中低木	88	
	4	特殊樹木	88	
	5	地被類	88	
木材	1	木材	88	

出来形管理基準および規格値

章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要
1 基盤整備	3 敷地造成工	2 表土保全工	1	表土掘削	法長	$\varnothing < 5\text{m}$	-200	 <p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。 施工面積 1,600 m² につき 1ヶ所、面積 1,600 m² 以下ものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。</p>	
					$\varnothing \geq 5\text{m}$	法長の -4%			
					深さ h	-30			
		4 *掘削工	1 3	*掘削 *河床等掘削			第 1 編 2-3-2、2-4-2 掘削工に準ずる。		
		5 *盛土工	1 2	*路体 (築堤) 盛土 *路床盛土			第 1 編 2-3-3 盛土工および第 1 編 2-4-3 路体盛土工に準ずる。		
		6 *路床盛土工	1	*路床盛土			第 1 編 2-4-4 路床盛土工に準ずる。		
7 法面整形工	2	*法面整形 (盛土部)			第 1 編 2-4-5 法面整形工 (盛土部) に準ずる。				

章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要
1 基盤整備	3 敷地造成工	8 *路床安定処理工	1	*安定処理			第3編 2-7-2 路床安定処理工に準ずる。		
		9 *置換工	1	*置換			第3編 2-7-3 置換工に準ずる。		
		10 *サンドマット工	1	*サンド ^ド マット			第3編 2-7-6 サンドマット工に準ずる。		
		11 *バーチカルドレーン工	1	*サンド ^ド トレ ^ン			第3編 2-7-7 バーチカルドレーン工に準ずる。		

章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 ケ 所	摘 要							
1	5	3	1	開渠排水	基準高▽	±30	施工延長 40m(測点間隔 25mの場合 は 50m)につき 1ヶ所、延長 40m(又は 50m)以下のものは、 1 施工箇所につき 2ヶ所。									
					幅 W ₁ 、W ₂	- 50										
					高さ h	- 30										
					延長 L	- 200				1 施工箇所毎						
			2	暗渠排水	幅 W ₁ 、W ₂	- 50	施工延長 40m(測点間隔 25mの場合 は 50m)につき 1ヶ所、延長 40m(又は 50m)以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。									
					高さ h 4	- 30										
		延長 L			- 200	1 施工箇所毎										
		4	土層改良工	1 2 3 4	普通耕 深耕 混層耕 心土破碎	幅 W	- 100	耕耘タイプ 毎につき 1ヶ所。 施工面積 1,600 m ² につき 1ヶ所、面積 1,600 m ² 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所								
						深さ h	- 50									
						5	土性改良工				1 2 3 4	土性改良 中和剤施用 除塩 施肥	幅 W	- 100	施肥配合タイプ あるいは除塩毎につき 1ヶ所。 施工面積 1,600 m ² につき 1ヶ所、面積 1,600 m ² 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所	
													深さ h	- 50		
		6	表土盛土工	1 2 3 4	盛土(流用表土) 盛土(発生表土) 盛土(採取表土) 盛土(購入表土)	基準高▽	- 50	施工延長 40m(測点間隔 25mの場合 は 50m)につき 1ヶ所、延長 40m(又は 50m)以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。 施工面積 1,600 m ² につき 1ヶ所、面積 1,600 m ² 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。 基準高は各法肩で測定。又は、 施工面積のほぼ中心と各法肩で測定。								
						法長 ℓ	□ < 5m				- 100					
							□ ≥ 5m				法長の					
						幅 W ₁ 、W ₂	- 100									

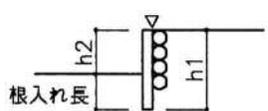
章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 ケ 所	摘 要	
1	5	7	2	押さえコンクリート	基準高▽	設計値以上	施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。			
					厚さ t	設計値以上				
					幅	- 25				
			4	人工地盤排水層	延長 L	- 200		施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。		
		深さ h	- 30							
		5	フィルター	延長 L	- 200	施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。				
		6	防根シート							
		8	立排水浸透柵	基準高▽	±30	1ヶ所毎 ※は、現場打部分のある場合。				
	※厚さ t ₁ ~ t ₄			- 20						
	※幅 W ₁ 、W ₂			- 30						
	※高さ h			- 30						
	7	*	3	法面ネット	法面ネット			第 3 編 2-14-4-2 法枠工 (プレキャスト法枠工) に準ずる。		
4			*	植生工	1	* 種子散布			第 3 編 2-14-2-1 植生工 (種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工) (植生マット工) (植生筋工) (人工張芝工) (植生穴工) に準ずる。	
					2	* 養生 (散水養生)				
					5	* 植生シート				
					6	* 植生マット				
					7	公園種子帯				
					8	公園張芝				
					9	公園筋芝				
					10	公園市松芝				
					11	* 人工張芝				
					12	* 植生穴				

章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要
1 基 盤 整 備	7 * 法 面 工	4 * 植 生 工	3	*客土吹付			第3編 2-14-2-2 植生工(植生基 材吹付工)(客土吹付工)に準ず る。		
			4	*植生基材吹付					
		5 * 法 枠 工	1 4	*現場打法枠			第3編 2-14-4-1 法枠工(現場打 法枠工)(現場吹付法枠工)に準 ずる		
				*吹付枠					
			2 3	*プレキャスト法枠 金属製法枠			第3編 2-14-4-2 法枠工(プレキ ャスト法枠工)に準ずる		
		6 編 柵 工	1	編柵	高さh	±30	1ヶ所/1施工箇所		
					延長L	-200			
	7 * か ご 工	1	*じゃかご			第3編 2-3-27-1 じゃかごに準ず る。			
			*ふとんかご			第3編 2-3-27-2 ふとんかごに準 ずる。			
	8 * 軽 量 盛 土 工	3 * 軽 量 盛 土 工	1	*軽量盛土			第1編 2-4-3 路体盛土工に準ず る。		

章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要	
1	9	4	* 場 * 擁壁 打 擁壁 工 (構 造 物 単 位) ・ 場 所 打 擁壁 工	1	* 小型擁壁			第 3 編 2-15-1 一般事項に準ずる。		
				2	* 重力式擁壁					
				3	* もたれ式擁壁					
				4	* 逆 T 型擁壁					
				5	* L 型擁壁					
				6	* 裏込砕石					
				7	* 止水板					
				8	* 化粧型枠					
				9	* ペーラインコンクリート					
				14	* コンクリート					
				15	* 鉄筋					
				16	* 型枠					
				17	* 足場					
				18	* 目地板					
				19	* 水抜パイプ					
				10	* 基礎材			第 3 編 2-4-1 一般事項 (砕石基礎工) (均しコンクリート) に準じる。		
				12	* 均しコンクリート					
				11	公園基礎材	幅 W	設計値以上			
				13	公園均しコンクリート	厚さ t ₁ 、t ₂	-30			
		延長 L	各構造物の規格値による。							
21	擁壁高さ調整	基準高▽	基準値	1ヶ所 / 1 施工箇所						
5	*	プレキャスト擁壁工	1	* プレキャスト擁壁			第 3 編 2-15-2 プレキャスト擁壁工に準ずる。			

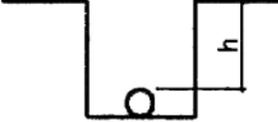
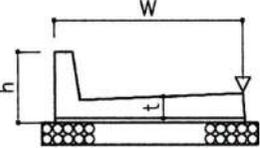
章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要
1	9	6	1	*補強土壁基礎			第3編 2-15-3 補強土壁工に準ずる。		
基	*	*	2	*補強土壁壁面材組立・設置					
盤	擁	*	3	*補強材取付					
整	壁	帯	8	*ジオテキスタイル壁面材組立・設置					
備	工	鋼	9	*ジオテキスタイル敷設					
		補							
		強							
		土							
		壁							
		・							
		ア							
		ン							
		カ							
		ー							
		補							
		強							
		土							
		壁							
		*							
		ジ							
		オ							
		テ							
		キ							
		ス							
		タ							
		イ							
		ル							
		補							
		強							
		土							
		壁							
		工							

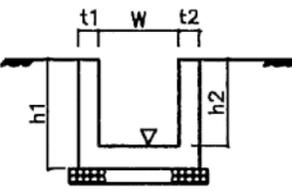
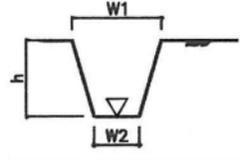
章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要
1	9	* 擁壁工	7	*コンクリートブロック基礎			第3編 2-5-3-1～-4 コンクリートブロック工に準ずる。		
			8	*フレキャスト基礎					
			9	*基礎材					
			10	*中詰コンクリート					
			11	*コンクリートブロック積					
			12	*大型ブロック積					
			13	*大型ブロック積					
			14	*胴込・裏込コンクリート					
			15	*胴込・裏込材(砕石)					
			16	*吸出し防止材(全面)設置					
			17	*遮水シート張					
			18	*目地板					
			19	*養生費					
			20	*天端コンクリート					
			21	*小口止コンクリート					
			22	*間知ブロック張					
			23	*平ブロック張					
			24	*裏込栗石					
			25	*連節ブロック張					
			26	*緑化ブロック積					
			27	*ブロック植栽					
			28	*天端保護ブロック					
		8	1	崩れ積	基準高▽	±100	施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。		
法	□ < 3m	- 50							
長	□ ≥ 3m	- 100							
厚さ (石積・張) t ₁		- 50							
厚さ (裏込) t ₂		- 50							
延長 L		- 200							

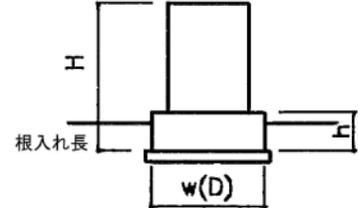
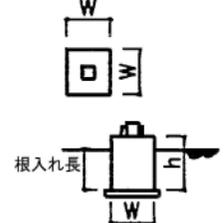
章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要
1 基盤 整備	9 *擁壁工	8 石積工	2	面積			第3編 3-2-5-5 石積(張)工に準ずる。		
			3	玉石積					
			4	小端積					
			5	こぶだし石積					
			6	切石積					
			7	間知石積					
			8	雑割石積					
			9	雑石積					
			10	割石積					
			11	雑割石張					
			12	雑石張					
			13	石積高さ調整	基準高▽	設計値			
		9 土留め工	1	土留め	基準高▽	±50	施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。		
高さ h	-50								
根入れ長	設計値以上								
延長 L	-200				1 施工箇所毎				

章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要
1	10	4	1	*函渠			第10編 1-9-6 場所打函渠工に準ずる。		
			2	*鉄筋					
			7	*コンクリート					
			9	*型枠					
			10	*足場					
			11	*支保					
			12	*目地板					
			13	*止水板					
			14	*水抜パイプ					
		5	1	*プレキャストカルバート			第3編 2-3-28 プレキャストカルバート工に準ずる。		

章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 ケ 所	摘 要	
1	11	3	1	遊具移設	設置高さ H_1 H	± 30	1ヶ所 / 1基			
					基礎	幅 w (D)	-30			基礎 1 基毎
						高さ h	-30			
						根入れ長	設計値以上			
			2	小工作物移設	設置高H	設計値以上	1ヶ所 / 1基			
					基礎	幅 w (D)	-30			基礎 1 基毎
高さ h	-30									
根入れ長	設計値以上									
2	3	10	1	防風ネット	高さH	± 30	施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1ヶ所。延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。			
					延長L	-200				1 施工箇所毎
			8	養生柵	設置高さH	設計値以上	1ヶ所 / 1 施工箇所			
					根入れ長	設計値以上				
					延長L	-200				
			11	1	埋込型樹名板	設置高さH	設計値以上	1ヶ所 / 5基		
基礎	幅 w (D)	-30				基礎 5 基毎				
	高さ h	-30								

章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 ヶ 所	摘 要	
2	3	12	1	根囲い保護	設置高さH	設計値以上	1ヶ所／1基			
					基礎	幅 w (D)	-30			基礎1基毎
						高さ h	-30			
						根入れ長	設計値以上			
3	3	6	2	ミスト	延長L	-200	1ヶ所／1施工箇所			
			3	トリップパイプ	延長L	-200	1施工箇所毎			
			6	散水栓高さ調整	基準高▽	設計値	1ヶ所／1施工箇所			
	10	3	1	給水管 埋設シート	深さ h	-30	施工延長40m（測点ヶ所25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。			
					延長L	-200				
	4	6	* 側溝工	1	プレキャストL型・V型側溝			第3編 2-3-29 側溝工に準ずる。		
				3	*管(函)渠型側溝					
				5	*プレキャストU型側溝					
				7	プレキャスト皿型側溝					
				8	*コルゲートフューム					
9				*自由勾配側溝						
10				特殊円形側溝						
2			2	現場打L型側溝	基準高▽	±30	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。			
					厚さ t	-20				
					幅 W	-30				
					高さ h	-30				
					延長 L	-200				1施工箇所毎

章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 ケ 所	摘 要				
3	4	* 側 溝 工	6	現場打側溝	基準高▽	±30	施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1ヶ所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。						
					厚さ t_1 、 t_2	-20							
					幅 W	-30							
					高さ h_1 、 h_2	-30							
			延長 L	-200	1 施工箇所毎								
			11	公園素掘側溝	基準高▽	±30	施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1ヶ所、延長 40m（又は 50m）以下のものは、1 施工箇所につき 2ヶ所。						
					幅 W_1 、 W_2	-50							
					高さ h	-30							
					延長 L	-200				1 施工箇所毎			
			13	側溝高さ調整	基準高▽	設計値	1ヶ所 / 1 施工箇所						
			* 管 渠 工	1 2 3 4 5 6 7	公園管渠 * PC 管 * ヒューム管 (B 形管) * 暗渠排水管 * 鉄筋コンクリート台付管 * 巻きコンクリート * コルゲートパイプ				第 3 編 2-3-29-1 側溝工（管渠）、 第 3 編 2-3-29-3 暗渠工に準ずる。				
						* 集 水 樹 ・ マ ン ホ ー ル 工	* 現場打ち街渠樹 * 現場打ち集水樹 浸透樹 * プレキャスト街渠樹 * プレキャスト集水樹 * 集水樹・マンホール基礎 塩化ビニル製樹 * マンホール * プレキャストマンホール 公園マンホール 浸透マンホール				第 3 編 2-3-30 集水樹工に準ずる。		
								12	樹高さ調整	基準高▽	設計値	1ヶ所 / 1 施工箇所	
		13						マンホール高さ調整	基準高▽	設計値	1ヶ所 / 1 施工箇所		

章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要			
3	4	9	1	透水コンクリート管	基準高▽	±30	施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m)につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。					
										2	化学繊維管	
			3	* 地下排水			延長 L	-200	1 施工箇所毎			
	10	公園水路工	1	* 場所打水路				第 3 編 2-3-29-2 現場打水路工に準ずる。				
			2	プレキャスト水路								
	6	3	照明設備工	1	* ハンドホル			第 10 編 2-12-5-2 ケーブル配管工 (ハンドホル) に準ずる。				
				2	ハンドホル高さ調整	基準高▽	設計値	1ヶ所 / 1 施工箇所				
				4	引込柱 分電盤	設置高さ H	設計値以上	1ヶ所 / 1 基		基礎 1 基毎		
						基	幅 w (D)	-30				
						礎	高さ h	-30				
				根入れ長	設計値以上							
5	分電盤高さ調整	基準高▽	設計値	1ヶ所 / 1 施工箇所								
6	照明灯基礎	基礎	幅 W	高さ h	根入れ長	設計値以上	基礎 1 基毎					

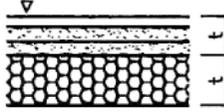
章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要	
3 施設 整備	6 電気 設備 工	4 放送 設備 工	4	テレビカメラ柱基礎	基礎	幅 w	-30	基礎 1 基毎		
						高さ h	-30			
						根入れ長	設計値以上			
		5 監視 カメラ 設置 工	4	監視カメラ柱基礎	基礎	幅 w	-30	基礎 1 基毎		
						高さ h	-30			
						根入れ長	設計値以上			
8 電線 管路 工	1 2 4	電線管 電線 埋設シート	深さ h	-30	施工延長 40m (測点ヶ所 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。					
			延長 L	-200			1 施工箇所毎			

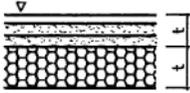
章	節	条	枝 番	工 種	測定項目	規格値				測定基準	摘 要
						個々の 測定値 (X)		10個の測定 値の平均 (X10)			
						中 規模 以上	小 規模 以上	中 規模 以上	小 規模 以上		
3 施 設 整 備	7 園 路 広 場 整 備 工	5 * ア ス フ ァ ルト 舗 装 工	1	*下層路盤(車 道・路肩部)	基準高▽	±40	±50	—	—	基準高は延長 40m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割とし、舗装中心 線および端部で測定。 厚さは各車線 200m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所を掘り起こして測 定。 幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割に測定。ただし、幅 は設計図書の測点によらず延長 80m 以下の間隔で測定することができる。 なお、延長、施工面積が上述の規模以 下の場合は、1 施工箇所につき 2ヶ所 を測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図 等を描いた上での管理が可能な 工事をいい、舗装施工面積が 10,000 m ² 以上あるいは使用する 基層および表層用混合物の総使 用量が、3,000 t 以上の場合が該 当する。 小規模工事とは、中規模以上の 工事より規模は小さいものの、管 理結果を施工管理に反映できる 規模の工事をいい、同一工種の施 工が数日連続する場合で、次のい ずれかに該当するものをいう。 ① 施工面積で 2,000 m ² 以上 10,000 m ² 未滿 ② 使用する基層及び表層用混合 物の総使用量が 500 t 以上 3,000 t 未滿 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足 しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X10) につい て満足しなければならない。ただ し、厚さのデータ数が 10 個未滿 の場合は測定値の平均値は適用 しない。
			2	*下層路盤(歩 道部)	厚さ	-45	-45	-15	-15		
					幅	-50	-50	—	—		
			3	*上層路盤(車 道・路肩部)	厚さ	-25	-30	-8	-10		
4	*上層路盤(歩 道部)	幅	-50	-50	—	—					

章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値				測定基準	摘要
						個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X10)			
						中規模以上	小規模以上	中規模以上	小規模以上		
3 施設整備	7 園路広場整備工	5 *アスファルト舗装工	5	*基層(車道・路肩部)	厚さ	-9	-12	-3	-4	幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割とし、厚さは、施工面積 500 m ² 毎に 1個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m 以下の間隔で測定することができる。 なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合には、1 施工箇所につき 2ヶ所を測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 10,000 m ² 以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で 2,000 m ² 以上 10,000 m ² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500 t 以上 3,000 t 未満 厚さは、個々の規定値が 10個に 9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。 ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアーの採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 園路広場修繕工においては、平坦性の項目を省略することが出来る。
				6	*基層(歩道部)	幅	-25	-25	-		
			9	*表層(車道・路肩部)	厚さ	-7	-9	-2	-3	幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割とし、厚さは、施工面積 500 m ² 毎に 1個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m 以下の間隔で測定することができる。 なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合には、1 施工箇所につき 2ヶ所を測定。	
10	*表層(歩道部)	幅	-25	-25	-	-	平坦性	-	3m プロファイルメータ - (σ) 2.4mm 以下 直読式(足付き)(σ) 1.75 mm 以下		

章	節	条	枝 番	工 種	測定項目	規格値				測定基準	摘 要
						個々の測定 値 (X)		10個の測定 値の平均 (X10)			
						中 規模 以上	小 規模 以上	中 規模 以上	小 規模 以上		
3 施 設 整 備	7 園 路 広 場 整 備 工	6 * 排 水 性 舗 装 工	1	*下層路盤 (車道・路肩 部) *下層路盤 (歩道部)	基準高▽	±40	±50	—	—	基準高は延長 40m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割とし、舗装中心線および端部で測定。 厚さは各車線 200m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所を掘り起こして測定。 幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割に測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m 以下の間隔で測定することができる。 なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1 施工箇所につき 2ヶ所を測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 10,000 m ² 以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000 t 以上の場合は該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は該当する。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れがある場合は、他の方法によることが出来る。
					厚さ	-45	-45	-15	-15		
					幅	-50	-50	—	—		
			3	*上層路盤 (車道・路肩 部)	厚さ	-25	-30	-8	-10		
					幅	-50	-50	—	—		
			4	*上層路盤 (歩道部)	厚さ	-25	-30	-8	-10		
幅	-50	-50			—	—					

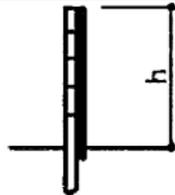
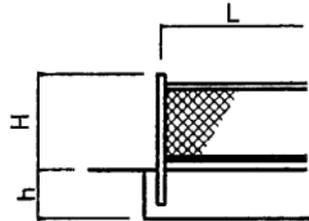
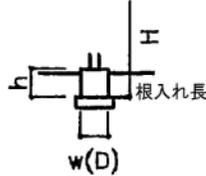
章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値				測定基準	摘要		
						個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X10)					
						中規模以上	小規模以上	中規模以上	小規模以上				
3 施設整備	7 園路広場整備工	6 *排水性舗装工	5	*基層(車道・路肩部)	厚さ	-9	-12	-3	-4	幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割とし、厚さは、施工面積 500 m ² 毎に 1個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m 以下の間隔で測定することができる。 なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1 施工箇所につき 2ヶ所を測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 10,000 m ² 以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。		
				*基層(歩道部)	幅	-25	-25	-	-				
			9	*排水性舗装・表層(車道・路肩部)	厚さ	-7	-9	-2	-3			幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割とし、厚さは、施工面積 500 m ² 毎に 1個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m 以下の間隔で測定することができる。 なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1 施工箇所につき 2ヶ所を測定。	コアーの採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。
					幅	-25	-25	-	-				
					平坦性	-		3m プロファイルメーター (σ)2.4mm 以下 直読式(足付き) (σ)1.75mm 以下					

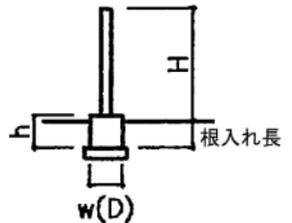
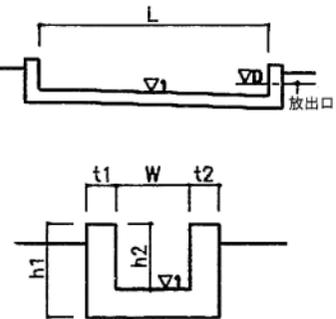
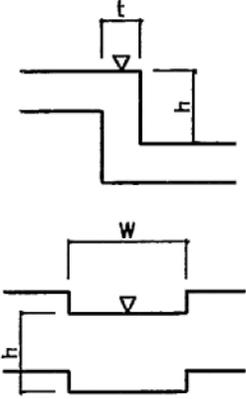
章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値		測定基準	測定ヶ所	摘要	
						個々の測定値(X)	10個の測定値の平均(X/10)				
3	7	7	2 3	*下層路盤 (車道・路肩部) *下層路盤 (歩道部)	基準高▽	±50	—	基準高は延長 40m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割で測定。 厚さは延長 200m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所を掘り起こして測定。 幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割に測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m 以下の間隔で測定することができる。 なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1 施工箇所につき 2ヶ所を測定。		<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が 3,000 t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は該当する。</p> <p>コア採取について</p> <p>橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れがある場合は、他の方法によることができる。</p>	
					厚さ	t < 150	-30				-10
						t ≥ 150	-45				-15
			幅		-100	—					
		4	*表層	厚さ	-9	-3	幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割とし、厚さは、延長 200m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1個の割でコア採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m 以下の間隔で測定することができる。 なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1 施工箇所につき 2ヶ所を測定。 ※歩道舗装に適用する。				
				幅	-25	—					

章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値		測定基準	測定ヶ所	摘要		
						個々の測定値 (X)						
						中規模以上	小規模以上					
3 施設整備	7 園路広場整備工	8 アスファルト系舗装工	1	公園アスファルト舗装	基準高▽	±50		基準高は延長 40m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割で測定。 厚さは延長 200m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所を掘り起こして測定。 幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割に測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m 以下の間隔で測定することができる。 なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1 施工箇所につき 2ヶ所を測定。		<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模以上の工事とは、管理図書等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 10,000 m² 以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000 t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。</p> <p>①施工面積で 2,000 m² 以上 10,000 m² 未満</p> <p>②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500 t 以上 3,000 t 未満</p> <p>厚さは、個々の規定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>		
					路盤工	厚さ	t < 150				—	-30
						厚さ	t ≥ 150				—	-45
					表層工	幅	—				-100	
						厚さ	—				-10	
					幅	—					-25	

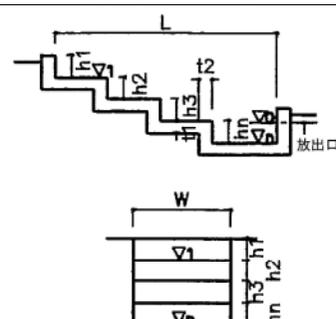
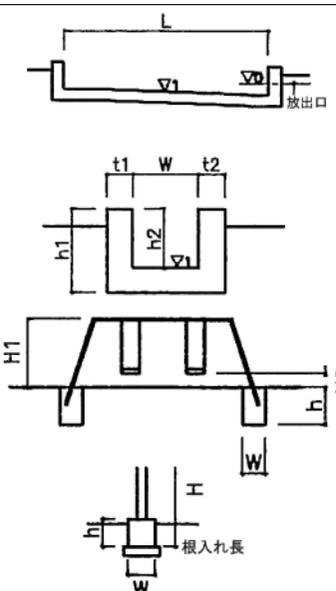
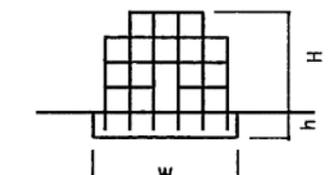
章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要
3 施設 整備	7 園 路 広 場 整 備 工	16 園 路 縁 石 工	1	コンクリート縁石			第3編 2-3-5 縁石工（縁石・アスカーブ）に準ずる。		
			2	現場打縁石					
			3	駒止めブロック					
			4	舗装止め					
			5	擬石縁石					
			6	レンガ縁石					
			7	木縁石					
			8	見切材（仕切材）					
			9	石材縁石					
			10	縁石高さ調整					
	17 * 区 画 線 工	1	* 溶融式区画線			第3編 2-3-9 区画線工に準ずる。			
		2	* ベイント式区画線						
		3	* 区画線消去						
		4	* 区画線消去（WJ式日当施工量未満）						
18 階 段 工	1	コンクリート階段			第3編 2-3-22 階段工に準ずる。				
	2	コンクリートブロック階段							
	3	丸太階段							
	4	擬木階段							
	5	石材階段							
	6	階段高さ調整	基準高▽	設計値				1ヶ所 / 1施工箇所	

章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 ヶ 所	摘 要					
3	7	19	1 4 6	公園橋橋台 石橋橋台 木橋橋台	基準高▽	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び 両端部、その他は図面の寸法表示 ヶ所で測定							
					厚さ t	-20								
					天端幅 W_1 (橋軸方向)	-10								
					天端幅 W_2 (橋軸方向)	-10								
					敷幅 W_3 (橋軸方向)	-50								
					高さ h_1	-50								
					胸壁の高さ h_2	-30								
					天端長 \square_1	-50								
					敷 長 \square_2	-50								
					胸壁間距離 \square	±30								
					支点長及び 中心線の変化	±50								
					2	公園橋設置				基準高▽	±30	1ヶ所 / 1施工箇所		
					3	八ッ橋				高さ h	±30			
		5	石橋設置	幅 W	-30									
		7	木橋設置	延長 L	-30									
		8	浮き栈橋	根入れ長	設計値以上									
		20	デ ッ キ 工	1 2	デッキ基礎 デッキ設置	基準高▽	±30	1 基毎						
						基 礎	幅 w (D)				-30			
							高さ h				-30			
根入れ 長	設計値以上													
延長 L	-30													

章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要	
3 施設整備	7 園路 広場 整備 工	23 植樹 ブロック 工	1	植樹ブロック	基準高▽	±30	第3編 2-3-5 縁石工（縁石・アスカーブ）に準ずる。			
					基	幅 w (D)				-30
						高さ h				-30
					礎	根入れ長				設計値以上
	延長 L	-30								
	8 修景 施設 整備 工	5 袖垣 ・垣 根 工	1	袖垣	高さ h	±30	施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1ヶ所。延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。			
			2	垣根	延長 L	-200				
	7 トレ リス 工	1	2	トリス 緑化フェンス	基準高▽	設計値以上	1ヶ所 / 1基			
					基	幅 w (D)	-30			基礎 1基毎
		高さ h	-30							
		礎	根入れ長	設計値以上						
			延長 L	-200	1ヶ所 / 1 施工箇所					
										

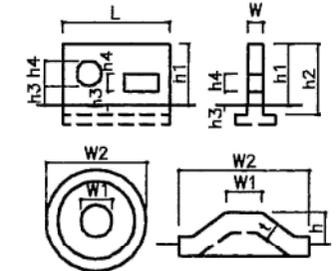
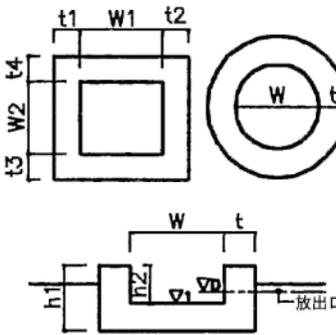
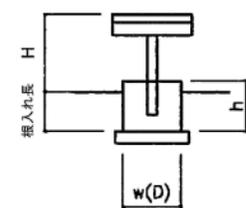
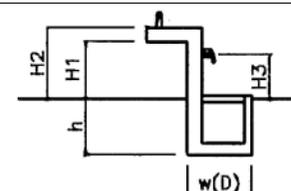
章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要		
3	8	8	1 2	モニュメント 記念碑	基準高▽	設計値以上	1ヶ所／1基				
					基	幅 w (D)	-30			基礎1基毎	
						高さ h	-30				
					礎	根入れ長	設計値以上				
						延長 L	-200			1ヶ所／1施工箇所	
		9	1	流れ	1	流れ	基準高 ▽ ₀ 、▽ ₁	±30	1ヶ所／1施工箇所		
							厚さ t ₁ 、t ₂	-20	※標準図を持っている、又は単一断面の場合に適用する。		
							幅 W	-30			
							高さ h ₁ 、h ₂	-30			
							延長 L	-200			
2	滝	2	滝	滝	基準高▽	±30	1ヶ所／1施工箇所				
					厚さ t	-20	※標準図を持っている、又は単一断面の場合に適用する。				
					幅 W	-30					
					高さ h	-30					

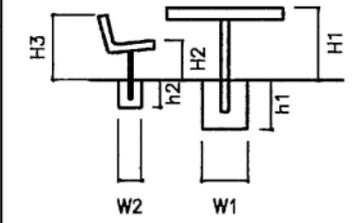
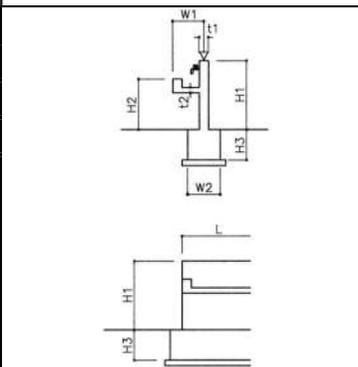
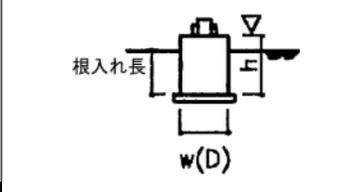
章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要
3	8	9	3	池	基準高 $\nabla_0、\nabla_1$	± 30	1ヶ所／1施工箇所 ※標準図を持っている、又は単一断面の場合に適用する。		
					厚さ $t_1 \sim t_4$	-20			
					幅 $W_1、W_2$	-30			
					高さ $h_1、h_2$	-30			
			4	州浜	厚さ t	-20	1ヶ所／1施工箇所 ※標準図を持っている、又は単一断面の場合に適用する。		
					幅 W	-30			
					面積 A	設計値以上			
			5	壁泉	基準高 $\nabla_0 \sim \nabla$	± 30	1ヶ所／1施工箇所 ※標準図を持っている、又は単一断面の場合に適用する。		
					厚さ $t_1 \sim t_4$	-20			
					幅 W	-30			
					高さ $h_1 \sim h_4$	-30			
					長さ $L_1、L_2$	-30			

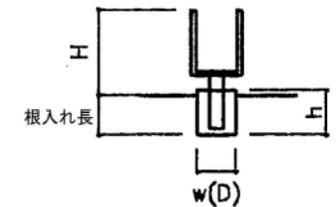
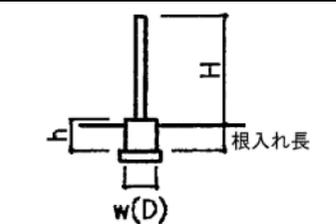
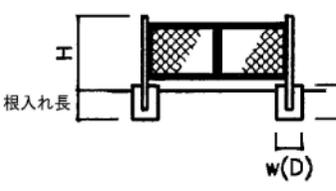
章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要					
3	8	9	6	カスケード*	基準高 $\nabla_0 \sim \nabla_n$	± 30	1ヶ所 / 1施工箇所 ※標準図を持っている、又は単一断面の場合に適用する。							
					厚さ t_1, t_2	-20								
					幅 W	-30								
					高さ $h_1 \sim h_n$	-30								
					長さ L	-30								
					段数	0 段								
	9	3	遊具組立設置工	1	ブランコ	設置高さ H_1, H_2	± 30	1ヶ所 / 1基 基礎 1 基毎						
						基	幅 W				-30			
							高さ h				-30			
							根入れ長				設計値以上			
						礎	設置高さ H				± 30	1ヶ所 / 1基 基礎 1 基毎		
							幅 W				-30			
高さ h	-30													
礎	根入れ長	設計値以上												

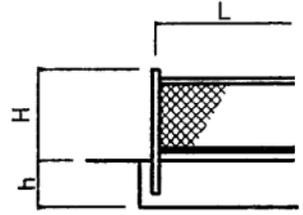
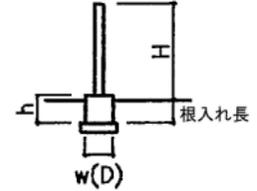
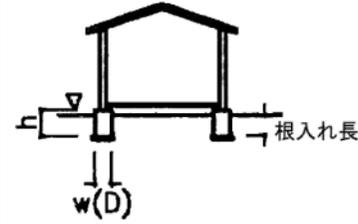
章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 ヲ 所	摘 要	
3 施 設 整 備	9 遊 戯 施 設 整 備 工	3 遊 具 組 立 設 置 工	3	滑 台	設置高さ $H_1、H_2$	± 30	1ヶ所 / 1基			
					基 礎	幅 $W_1、W_2$	-30			基礎 1 基 毎
						高さ $h_1、h_2$	-30			
						根入れ長	設計値以上			
			4	シーソー	設置高さ $H_1、H_2$	± 30	1ヶ所 / 1基			
					基 礎	幅W	-30			基礎 1 基 毎
						高さh	-30			
			5	鉄棒	設置高さ $H_1、H_2$	± 30	1ヶ所 / 1基			
					基 礎	幅W	-30			基礎 1 基 毎
						高さh	-30			
			6	ラダー	設置高さ $H_1、H_2$	± 30	1ヶ所 / 1基			
					基 礎	幅W	-30			基礎 1 基 毎
						高さh	-30			
			7	はん登棒	設置高さH	± 30	1ヶ所 / 1基			
基 礎	幅 $W_1、W_2$	-30			基礎 1 基 毎					
	高さ $h_1、h_2$	-30								
	根入れ長	設計値以上								

章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要	
3 施設整備	9 遊戯施設整備工	3 遊具組立設置工	8	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ遊具	設置高さ $H_1、H_2$	± 30	1ヶ所／1基			
					基礎	幅W	-30			基礎1基毎
						高さh	-30			
						根入れ長	設計値以上			
			9	複合遊具	設置高さ $H_1 \sim H_n$	± 30	1ヶ所／1基			
					基礎	幅W	-30			基礎1基毎
						高さh	-30			
			10	ｱｽﾚｯﾁｸ遊具	設置高さ $H_1、H_2$	± 30	1ヶ所／1基			
					基礎	幅W	-30			基礎1基毎
						高さh	-30			
			11	健康遊具施設	設置高さ $H_1、H_2$	± 30	1ヶ所／1基			
		基礎			幅W	-30	基礎1基毎			
高さh	-30									
4 小規模現場打遊具工	1	砂場	設置高さ $H_1、H_2$	± 30	1ヶ所／1基		<p>※監督員との協議による。</p> <p>1ヶ所／1施工箇所</p> <p>※標準図を持っている、又は単一断面の場合に適用する。</p>			
			基準高▽	± 30	1ヶ所／1施工箇所					
			厚さ $t_1 \sim t_4$	-20						
			幅 $W_1、W_2$	-30						
			高さ $h_1、h_2$	-30						

章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要
3 施設整備	9 遊戯施設整備工	4 小規模現場打遊具工	2	現場打遊具	厚さ t	-20	1ヶ所/1施工箇所 ※標準図を持っている、又は単一断面の場合に適用する。		
					幅 W ₁ 、W ₂	-30			
					高さ h ₁ ~h ₄	-30			
					長さ L	-30			
		3	徒渉池	基準高 ▽ ₀ 、▽ ₁	±30	1ヶ所/1施工箇所 ※標準図を持っている、又は単一断面の場合に適用する。			
				厚さ t ₁ ~t ₄	-20				
	幅 W ₁ 、W ₂	-30							
	高さ h ₁ 、h ₂	-30							
	10 サービス施設整備工	3 時計台工	1	時計台	設置高さ H	設計値以上	1ヶ所/1基 基礎 1基毎		
					基礎	幅 w (D)			
高さ h						-30			
4 水飲み場工		1	水飲み場	設置高さ H ₁ ~H ₃	±30	1ヶ所/1基 基礎 1基毎			
				基礎	幅 w (D)				-30
					高さ h				-30

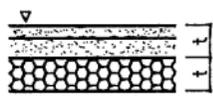
章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要	
3	10	6	1 2 3 4 5	ベンチ 縁台 テーブル スツール 野外卓	設置高さ	±30	1ヶ所／1基			
					基礎	幅				-30
						高さ				-30
						根入れ長				設計値以上
						高さ $H_1 \sim H_3$				
	8	1	炊事場	基準高▽	±30	1ヶ所／1基				
				厚さ t_1, t_2	-20					
				幅 W_1, W_2	-30					
				高さ $H_1 \sim H_3$	-30					
				長さ L	-30					
11	3	1	リサイクル施設基礎	基準高▽	±30	1ヶ所／1施工箇所				
				基礎	幅 $w(D)$				-30	
					高さ h				-30	
					根入れ長				設計値以上	

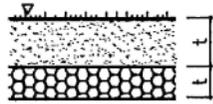
章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要
3 施設整備	11 管理施設整備工	5 ごみ施設工	1 2	くず入れ 吸殻入れ	設置高さH	設計値以上	1ヶ所／1基 基礎1基毎		
					基 幅w(D)	-30			
					礎 高さh	-30			
					礎 根入れ長	設計値以上			
		6 井戸工	2	手押しポンプ	設置高さH	設計値以上	1ヶ所／1基 基礎1基毎		
					基 幅w(D)	-30			
					礎 高さh	-30			
					礎 根入れ長	設計値以上			
		7 門扉工	1 2 3	門壁 門柱 門扉	設置高さH	設計値以上	1ヶ所／1基 基礎1基毎		
					基 幅w(D)	-30			
					礎 高さh	-30			
					礎 根入れ長	設計値以上			

章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要								
3	施設整備	8	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	フェンス 柵 手すり *転落(横断)防止柵 *ガードレール *ガードケブル *ガードパイプ *基礎ブロック、鋼管基礎 *金網・支柱(立入防止柵) *門扉	設置高さH	設計値以上	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所。 延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 1ヶ所/1施工箇所										
					基	幅w(D)				-30							
						高さh				-30							
					礎	根入れ長				設計値以上							
						延長L				-200							
					9	車止め工				1 2 3	車止め *車止めポスト 車椅子ゲート	設置高さH	設計値以上	1ヶ所/1基 基礎1基毎			
												基	幅w(D)				-30
													高さh				-30
					礎	根入れ長				設計値以上							
					12	建築施設組立設置工				3	1	四阿基礎	基準高▽	±30	1ヶ所/1施工箇所		
基	幅w(D)	-30															
	高さh	-30															
礎	根入れ長	設計値以上															

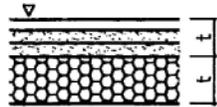
章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値				測定基準	測定ヶ所	摘要
						個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X10)				
						中規模以上	小規模以上	中規模以上	小規模以上			
4	3	4	1	*下層路盤(車道・路肩部)	基準高▽	±40	±50	—	—	基準高は延長 40m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に1ヶ所の割とし、舗装中心線および端部で測定。 厚さは各車線 200m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に1ヶ所を掘り起こして測定。 幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に1ヶ所の割に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2ヶ所を測定。		工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が、3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 ①施工面積で 2,000 m ² 以上 10,000 m ² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500 t 以上 3,000 t 未満 厚さは、個々の規定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。
					厚さ	-45	-45	-15	-15			
			2	*下層路盤(歩道部)	幅W	-50	-50	—	—			
					厚さ	-25	-30	-8	-10			
			3	*上層路盤(車道・路肩部)	幅W	-50	-50	—	—			
4	*上層路盤(歩道部)											
5	中層											

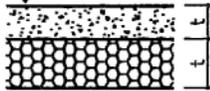
章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値				測定基準	測定ヶ所	摘要
						個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X10)				
						中規模以上	小規模以上	中規模以上	小規模以上			
4	3	4	6	* 基層 (車道・路肩部)	厚さ	-9	-12	-3	-4	幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割とし、厚さは、施工面積 500 m ² 毎に 1個の割でコアを採取して測定。 なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合、1 施工箇所につき 2ヶ所を測定。	<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が 3,000 t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工結果に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。</p> <p>①施工面積で 2,000 m²以上 10,000 m²未満</p> <p>②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500 t 以上 3,000 t 未満</p> <p>厚さは、個々の規定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。</p>	
			7	* 基層 (歩道部)	幅W	-25	-25	-	-			

章	節	条	枝 番	工 種	測定項目	規格値			測定基準	測定ヶ所	摘 要		
						個々の測定値 (X)		10 個の測定値の平均 (X10)					
						中規模以上	小規模以上	中規模以上					
4 グラウンド・コート整備	3 グラウンド・コート舗装工	4 グラウンド・コート用舗装工	8 9	クレー舗装 アソツカー舗装	路盤工	基準高▽	±50		—	基準高は延長 40m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割で測定。 厚さは延長 200m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所を掘り起こして測定。 幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割に測定。 なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合、1 施工箇所につき 2ヶ所を測定。		<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が 3,000 t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工結果に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。</p> <p>①施工面積で 2,000 m² 以上 10,000 m² 未満</p> <p>②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500 t 以上 3,000 t 未満</p> <p>厚さは、個々の規定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。</p>	
						厚さ	t < 150	—	—30				—10
							t ≥ 150	—	—45				—15
					幅	—100		—					
表層工	厚さ	—10		幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割とし、厚さは、延長 200m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所を掘り起こして測定。 なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合、1 施工箇所につき 2ヶ所を測定。									
	幅	—25											
平坦性 テニスコート 陸上競技場 野球場		± 5 mm 以内 ±10 mm 以内 ±20 mm 以内	—										

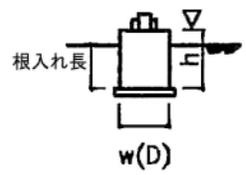
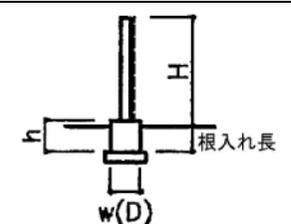
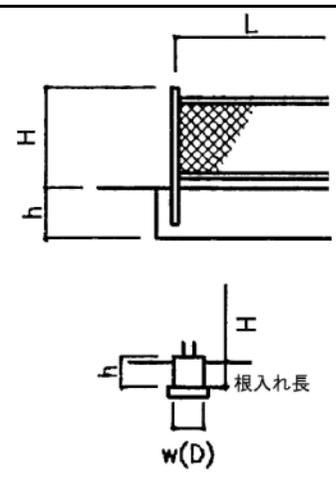
章	節	条	枝 番	工 種	測定項目	規格値			測定基準	測定ヶ所	摘 要		
						個々の測定値 (X)		10 個の測定値の平均 (X10)					
						中規模以上	小規模以上	中規模以上					
4	3	4	10	天然芝舗装	路盤工	基準高▽	±50		—	<p>基準高は延長 40m 毎又は、施工面積 500 m² 毎に 1ヶ所の割で測定。</p> <p>厚さは延長 200m 毎又は、施工面積 500 m² 毎に 1ヶ所を掘り起こして測定。</p> <p>幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m² 毎に 1ヶ所の割に測定。</p> <p>なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合、1 施工箇所につき 2ヶ所を測定。</p>		<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が 3,000 t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工結果に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。</p> <p>①施工面積で 2,000 m² 以上 10,000 m² 未満</p> <p>②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500 t 以上 3,000 t 未満</p> <p>厚さは、個々の規定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。</p>	
						厚さ	t < 150	—	-30				-10
							t ≥ 150	—	-45				-15
					幅	-100		—					
表層工	厚さ	-10		<p>幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m² 毎に 1ヶ所の割に測定。</p> <p>なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合、1 施工箇所につき 2ヶ所を測定。</p>									
	幅	-25											

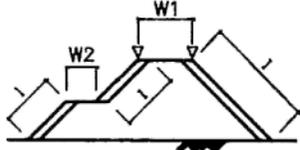
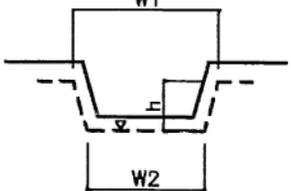
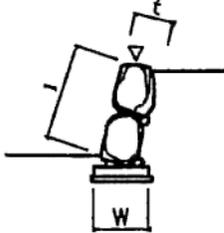
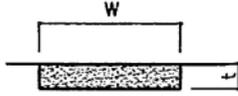
章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値			測定基準	測定ヶ所	摘要		
						個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X10)					
						中規模以上	小規模以上	中規模以上					
4	3	4	11	人工芝舗装	路盤工	基準高▽	±50		—	<p>基準高は延長 40m 毎又は、施工面積 500 m² 毎に 1ヶ所の割で測定。</p> <p>厚さは延長 200m 毎又は、施工面積 500 m² 毎に 1ヶ所を掘り起こして測定。</p> <p>幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m² 毎に 1ヶ所の割に測定。</p> <p>なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合、1 施工箇所につき 2ヶ所を測定。</p>		<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が 3,000 t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工結果に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。</p> <p>①施工面積で 2,000 m² 以上 10,000 m² 未満</p> <p>②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500 t 以上 3,000 t 未満</p> <p>厚さは、個々の規定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。</p>	
						厚さ	t < 150	—	-30				-10
							t ≥ 150	—	-45				-15
					幅	-100		—					
表層工	厚さ	-10		<p>幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m² 毎に 1ヶ所の割に測定。</p> <p>なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合、1 施工箇所につき 2ヶ所を測定。</p>									
	幅	-25											

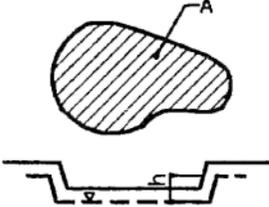
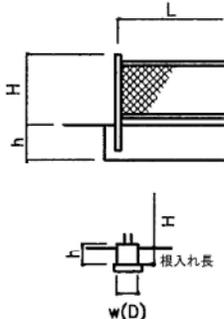
章	節	条	枝 番	工 種	測定項目	規格値			測定基準	測定ヶ所	摘 要		
						個々の測定値 (X)		10 個の測定値の平均 (X10)					
						中規模以上	小規模以上	中規模以上					
4	3	4	12	全天候型舗装 (樹脂系)	路盤工	基準高▽	±50		—	基準高は延長 40m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割で測定。 厚さは延長 200m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所を掘り起こして測定。 幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割に測定。 なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1 施工箇所につき 2ヶ所を測定。		<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が 3,000 t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工結果に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。</p> <p>①施工面積で 2,000 m² 以上 10,000 m² 未満</p> <p>②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500 t 以上 3,000 t 未満</p> <p>厚さは、個々の規定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。</p>	
						厚さ	t < 150	—	—30				—10
							t ≥ 150	—	—45				—15
						幅	—100		—				
表層工	厚さ	—10		幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割に測定。 なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1 施工箇所につき 2ヶ所を測定。									
	幅	—25											
平坦性 テニスコート 陸上競技場	±5 mm 以内 ±10 mm 以内		—										

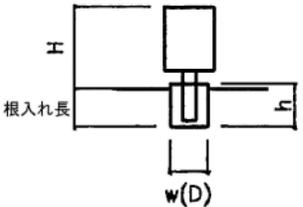
章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値			測定基準	測定ヶ所	摘要		
						個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X10)					
						中規模以上	小規模以上	中規模以上					
4	3	4	14	グラウンド・コート砂舗装	路盤工	基準高▽	±50		—	基準高は延長 40m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割で測定。 厚さは延長 200m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所を掘り起こして測定。 幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1 施工箇所につき 2ヶ所を測定。		<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が 3,000 t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工結果に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。</p> <p>①施工面積で 2,000 m² 以上 10,000 m² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500 t 以上 3,000 t 未満 厚さは、個々の規定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。</p>	
						厚さ	t < 150	—	-30				-10
							t ≥ 150	—	-45				-15
						幅	-100		—				
表層工	厚さ	-10		幅は、延長 80m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所の割とし、厚さは、延長 200m 毎又は、施工面積 500 m ² 毎に 1ヶ所を掘り起こして測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1 施工箇所につき 2ヶ所を測定。									
	幅	-25											

章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 ヶ 所	摘 要	
4	3	5	1	コンクリート縁石 舗装止め 見切材（仕切材） 内圏縁石			第3編 2-3-5 縁石工（縁石・アスカーブ）に準ずる。			
			2							
			3							
4										
4	3	1	1	スタンド擁壁	基準高▽	±50	施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1ヶ所。 延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。			
					厚さ t	-20				
					幅 W ₁ 、W ₂	-30				
					高さ h	h < 3m				-50
						h ≥ 3m				-100
					延長 L	-200				
4	4	1	2	スタンドベンチ 現場打ベンチ	延長 L	-200	施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1ヶ所。 延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。			

章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要			
4	5	3	1	ダッグアウト基礎	基準高▽	±30	1ヶ所／1基					
					基礎	幅w(D)				-30		
						高さh				-30		
		基礎	根入れ長	設計値以上								
		6	競技施設 施工	13	1	ファールポール	設置高さH	±30	1ヶ所／1基			
					2	ポスト	基礎	幅w(D)	-30			基礎1基毎
					3	ゴールポスト		高さh	-30			
					4	支柱台	基礎	根入れ長	設計値以上			
					5	スポーツサークル						
					6	跳躍箱						
					7	踏切板						
		11	グラウンド・コート 柵工	1	2	高尺ネットフェンス フェンス 防球ネット	設置高さH	設計値以上	施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1ヶ所。 延長 40m（又は 50m）以下の ものは 1 施工箇所につき 2ヶ 所。 1 施工箇所毎			
							基礎	幅w(D)				-30
								高さh				-30
延長L	-200											

章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要	
5	自然育成	3	1	蒔き出し	基準高▽	-50	施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。 施工面積 1,000 m ² につき 1ヶ所、面積 1,000 m ² 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。 基準高は各法肩で測定する。 又は、施工面積のほぼ中心と各法肩で測定する。			
					法長 ℓ	ℓ < 5m				-100
						ℓ ≥ 5m				法長の -2%
		幅 W ₁ 、W ₂	-100							
		4	1	遮水・止水シート	基準高▽	-50	施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。			
					高さ h	-30				
					幅 W ₁ 、W ₂	-100				
		延長 L	-200							
		3 4	ごろた石積 崩れ積	基準高▽	±100	施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。				
				法長 ℓ	ℓ / 2 < 3m				-50	
					ℓ / 2 ≥ 3m				-100	
				幅 W	-50					
				厚さ t	-50					
		延長 L	-200							
		5	砂・礫敷	厚さ t	t < 15cm	-25	幅は、施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。 厚さは、施工延長 200m につき 1ヶ所、200m 以下は 2ヶ所、中央で測定。 又は施工面積 1,000 m ² に 1回。			
t	t ≥ 15cm			-50						
幅 W	-100									

章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定ヶ所	摘要		
5	自然育成	2 自然育成施設工	5 水田工	1 遮水・止水シート	基準高▽	-50	1ヶ所/1施工箇所				
					高さh	-30					
					面積A	設計値以上					
		11 自然育成型護岸工	10 しがらみ柵工	1	しがらみ柵	高さh	±30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所。延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。			
						延長L	-200				
			15 公園張芝	19 公園筋芝	21 公園市松芝	3 *石積			第3編 2-5-5 石積(張)工に準ずる。		
						4 *石張					
						8 *雑割石張					
						9 *かごマット(スロープ型)			第3編 2-3-26-2(多自然護岸工)かごマットに準ずる。		
						10 *かごマット(多段積型)					
12 保護柵工	1	保護柵	設置高さH	設計値以上	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所。延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。						
			基礎	幅w(D)	-30			1施工箇所毎			
				高さh	-30						
				根入れ長	設計値以上						
			延長L	-200							

章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 ケ 所	摘 要	
5	自然 育成	13 解説 板工	1	解説板	設置高さH	設計値以上	1ヶ所／1基			
					基 礎	幅w(D)	-30			基礎1基毎
						高さh	-30			
						根入れ長	設計値以上			
		16	1	*現場打基礎			第3編 2-4-3-1 基礎工(護岸) (現場打)に準ずる。			
16	2	*プレキャスト基礎			第3編 2-4-3-2 基礎工(護岸) (プレキャスト)に準ずる。					
17	* 沈 床 工	1 2 3 4	*粗朶沈床 *袋詰玉石 *吸出し防止材 *粗朶単床			第3編 2-3-18 沈床工に準ず る。				
18	* 捨 石 工	1 2 3	*捨石 *表面均し *吸出し防止材			第3編 2-3-19 捨石工に準ず る。				

品質管理基準および規格値

*試験区分		必須：現場における検収時に実施する試験項目 その他：試験成績表、ミルシートで確認でき、必要に応じて現場検収を行う試験項目
*検査方法	品質	確認：目視（検測）により検査を行うもの 照合：品質試験成績表等で照合を行い検査を行うもの 試験：監督員立ち会いのもとで試験を行うもの
	数量	出来形：施工後に数量を検査するもの 検量：材料検査時に数量を検査するもの

区分	番号	材料	種別	試験区分	検査方法		試験（測定）項目	試験（測定）方法	規格値	試験（測定）基準	摘要
					品質	数量					
土・石材	1	たたき粘土	材料	その他	照合	検量	土の粒度試験	JIS A 1204	設計図書による。	当初及び土質の変化した時。	
							土粒子の密度試験	JIS A 1202			
							土の含水比試験	JIS A 1203	設計図書による。	当初及び土質の変化した時。	
							土の透水試験	JIS A 1218	設計図書による。	当初及び土質の変化した時。	
	2	土舗装材	材料	その他	照合	出来形	土の粒度試験	JIS A 1204	設計図書による。	当初及び土質の変化した時。	
							土粒子の密度試験	JIS A 1202			
							土の含水比試験	JIS A 1203			
	3	クレー舗装材	材料	その他	照合	出来形	土の粒度試験	JIS A 1204	設計図書による。	当初及び土質の変化した時。	
							土粒子の密度試験	JIS A 1202			
							土の含水比試験	JIS A 1203			
		材料	その他	照合	出来形	硬度	プロクター・ドール	陸上競技場 50～110 野球場 30～80 テニスコート 40～110	1,000 m ² 毎		
4	アンツーカー舗装材	材料	その他	照合	検量	物性値・成分値は製造者からの試験表による。		試験表の確認			

区分	番号	材料	種別	試験区分	検査方法		試験(測定)項目	試験(測定)方法	規格値	試験(測定)基準	摘要
					品質	数量					
土・石材	4	アンツーカー舗装材	材料	その他	照合	検量	土の含水比試験	JIS A 1203	設計図書による。	<ul style="list-style-type: none"> 路体：当初及び土質の変化した時。 路床：含水比の変化が認められた時。 	
							粗骨材の形状試験	舗装調査・試験法便覧[2]-51	細長、あるいは扁平な石片：10%以下	<ul style="list-style-type: none"> 中規模以上の工事：施工前、材料変更時 小規模以下の工事：施工前 	<ul style="list-style-type: none"> 中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m²あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で2,000m²以上10000m²未満 ②使用する基層および表層用混合物の総使用量が500t以上、3000t未満(コンクリートでは400m³以上、1000m³未満)。 <p>ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 路盤：施工面積が1,000m²超えるもの アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの

区分	番号	材料	種別	試験区分	検査方法		試験(測定)項目	試験(測定)方法	規格値	試験(測定)基準	摘要
					品質	数量					
土・石材	4	アンソーカー舗装材	材料	その他	照合	出来形	硬度	プロクターコントロール	陸上競技場 80~150 テニスコート 60~120	1,000 m ² 毎	
	5	舗装用石材 積み・張り用石材	材料	その他	照合	出来形	岩石の見掛比重	JIS A 5006	設計図書による。	原則として産地毎に当初及び岩質の変化した時。	<ul style="list-style-type: none"> 500m³以下は監督職員承諾を得て省略できる。 参考値： <ul style="list-style-type: none"> 硬石：約2.7~2.5g/cm³ 準硬石：約2.5~2g/cm³ 軟石：約2g/cm³未満
	岩石の吸水率						JIS A 5006	設計図書による。	原則として産地毎に当初及び岩質の変化した時。	<ul style="list-style-type: none"> 500m³以下は監督職員承諾を得て省略できる。 参考値： <ul style="list-style-type: none"> 硬石：5%未満 準硬石：5%以上15%未満 軟石：15%以上 	
	岩石の圧縮強さ						JIS A 5006	設計図書による。	原則として産地毎に当初及び岩質の変化した時。	<ul style="list-style-type: none"> 500m³以下は監督職員承諾を得て省略できる。 参考値： <ul style="list-style-type: none"> 硬石：4903N/cm²以上 準硬石：980.66N/cm²以上4903N/cm²未満 軟石：980.66N/cm²未満 	
	岩石の形状						JIS A 5006	うすっぺらなもの、細長いものであってはならない。	5,000m ³ につき1回の割で行う。 但し、5,000m ³ 以下のものは1工事2回実施する。	500m ³ 以下は監督職員承諾を得て省略できる。	

区分	番号	材料	種別	試験区分	検査方法		試験(測定)項目	試験(測定)方法	規格値	試験(測定)基準	摘要
					品質	数量					
土・石材	7	火山砂利	材料	その他	照合	検査	最大乾燥密度の測定	JIS A 1210 (試験方法E法)	30%以上	<ul style="list-style-type: none"> 採取地ごとに1回及び採取地の変った場合にはその都度測定する。 突固め試験は骨材の最大寸法を取り除いて行う。 生産者等の試験成績結果によることができる。 (ただし、試験実施日が施工期間を著しくずれていない場合に限る。) 	
							修正CBRの測定	舗装試験便覧 路盤材料の修正CBR試験			
							骨材のふるい分け試験	5mm以下	9~15%以下		
							骨材の洗い試験				
							粗骨材のすりへり試験	JIS A 1121	45%以下		
							骨材の安定性試験	JIS A 1122	20%以下		
							凍上試験				
							強熱減量試験				
							土の透水試験	JIS A 1218	特記仕様書による。		
			施工	その他	試験	出来形	締固め度の測定	現場密度測定方法		<ul style="list-style-type: none"> A類 300 m²毎に箇所。 B・C類 1,500 m²毎に1箇所。 	
							骨材のふるい分け試験	5mm以下	9~15%以下	搬入時1回。その後、観察により異常が認められた時、随時。	
							骨材の洗い試験				
造園材料	1	客土	材料	必須	照合	検査	pH(H2O)	簡易 pH 計	4.5~8.0		
							有害物質	電気伝導度 (ECメーター)	0.1~1.0mS/cm		

区分	番号	材料	種別	試験区分	検査方法		試験(測定)項目	試験(測定)方法	規格値	試験(測定)基準	摘要
					品質	数量					
造園材料	2	高木	材料	必須	確認	検査	高さ(H)	計測用具による計測	設計値 \leq H	樹種別、規格別に各設計数量の10%を計測する。 ※規格値については生産地によりばらつきがあり、これにより支障が生じる場合には監督員との協議により決定する。	
							幹周(C)	計測用具による計測	設計値 \leq C<上位階級の寸法値		
							枝張(W)	計測用具による計測	設計値 \leq W		
	3	中低木	材料	必須	確認	検査	高さ(H)	計測用具による計測	設計値 \leq H<上位階級の寸法値	樹種別、規格別に各設計数量の10%を計測する。 ※規格値については生産地によりばらつきがあり、これにより支障が生じる場合には監督員との協議により決定する。	
							枝張(W)	計測用具による計測	設計値 \leq W		
	4	特殊樹木	材料	必須	確認	検査	高さ(H)	計測用具による計測	設計値 \leq H	樹種別、規格別に各設計数量の10%を計測する。	
							幹周(C)	計測用具による計測	設計値 \leq C<上位階級の寸法値		
							枝張又は尺(W)	計測用具による計測	設計値 \leq W		
	5	地被類	材料	必須	確認	検査	茎長(L)	計測用具による計測	設計値 \leq L	設計数量の1%を計測する。 ※規格値については生産地によりばらつきがあり、これにより支障が生じる場合には監督員との協議により決定する。	
芽立							目視	設計値 \leq 芽立数			

区分	番号	材料	種別	試験区分	検査方法		試験（測定）項目	試験（測定）方法	規格値	試験（測定）基準	摘要
					品質	数量					
木材	1		材料	その他	照合	出来形	木材の加圧式保存処理方法	JIS A 9002			
							木材の浸漬式防腐処理方法				
							含水比	JAS			
							保存処理剤浸度試験	JAS			

写真管理基準

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
1	3	2	1	表土掘削	土質等の判断	掘削中	200m又は1施工箇所に1回 又は施工面積1,600㎡毎に1回	代表箇所各1枚	
					幅 深さ 法長	掘削後			
		3	1	公園整地	仕上げ状況	仕上げ時	100m又は1施工箇所に1回 又は施工面積1,000㎡毎に1回	代表箇所各1枚	
					仕上げ厚				
		4	1 3	*掘削 *河床等掘削	土質等の判断	掘削中	地質が変わる毎に1回 200m又は1施工箇所に1回 又は施工面積1,600㎡毎に1回	代表箇所各1枚	
					法長	掘削後			
		5	1 2	*路体（築堤）盛土 *路床盛土	蒔出厚	蒔出中	200mに1回 又は施工面積1,600㎡毎に1回 転圧機械又は地質が変わる毎に1回	代表箇所各1枚	
					締固め状況	締固め時			
					幅 法長	施工後			
		6	1	*路床盛土	蒔出厚	蒔出中	200mに1回 又は施工面積1,600㎡毎に1回 転圧機械又は地質が変わる毎に1回	代表箇所各1枚	
					締固め状況	締固め時			
					幅 法長	施工後			

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
1 基盤整備	3 敷地造成工	7	2	*法面整形工（盛土部）	仕上げ状況 厚さ	仕上げ時	120m又は1施工箇所 又は施工面積1,600㎡毎に1回	代表箇所各1枚	
		8	1	*安定処理	仕上げ状況 厚さ	仕上げ時	40mに1回 又は施工面積1,600㎡毎に1回	代表箇所各1枚	
		9	1	*置換	置換厚さ 幅	施工後	40m又は1施工箇所 又は施工面積1,600㎡毎に1回	代表箇所各1枚	
		10	1	*サンドマット	施工厚さ 幅	施工後	40m又は1施工箇所 又は施工面積1,600㎡毎に1回	代表箇所各1枚	

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要	
1	3	11	1 2	*サトトクレーン *ベタートクレーン	打込長さ	打込前後	200㎡又は1施工箇所に1回 又は施工面積1,000㎡毎に1回	代表箇所各1枚		
					施工状況	施工中				
					杭径 位置・間隔	打込後				200㎡又は1施工箇所に1回 又は施工面積1,000㎡毎に1回
				砂の投入量	打込前後	全数量				
	5	3	透	1	開渠排水	高さ	埋戻し前	120m又は1施工箇所に1回	不要	
						幅				
			2	暗渠排水	高さ	埋戻し前	120m又は1施工箇所に1回	不要		
				幅						
					厚さ					
					長さ					
		4	土 層 改 良 工	1 2 3 4	普通耕 深耕 混層耕 心土破碎	幅	施工前 施工後 施工中	耕耘タイプ毎に1回 又は施工面積1,600㎡毎に1回	不要	
						深さ				
						施工状況				
5	土 性 改 良 工	1 2 3 4	土性改良 中和剤施用 除塩 施肥	幅	施工前 施工後 施工中	施肥配合タイプ毎に1回 又は施工面積1,600㎡毎に1回	不要			
				深さ						
				施工状況						
6	表 土 盛 土 工	1 2 3 4	盛土（流用表土） 盛土（発生表土） 盛土（採取表土） 盛土（購入表土）	蒔出厚	蒔出中	200mに1回 又は施工面積1,600㎡毎に1回	不要			
				蒔固め状況					蒔固め時	転圧機械又は地質が変わる毎に1回
				幅					施工後	200m又は1施工箇所に1回 又は施工面積1,600㎡毎に1回
				法長						

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要		
1 基盤整備	5 植栽基盤工	7 人工地盤工	4	人工地盤排水層	高さ 幅 厚さ 長さ	埋戻し前	120m又は1施工箇所につき1回	不要			
			5 6	フィルター 防根シート	高さ 幅 厚さ	埋戻し前	120m又は1施工箇所につき1回	不要			
			8	立排水浸透柵	厚さ 幅 高さ	型枠取外し 後	1施工箇所につき1回	不要			
		8 造形工	1 2	表面仕上げ 築山	仕上げ状況	仕上げ中 施工中	100m又は1施工箇所につき1回 又は施工面積1,000㎡毎につき1回	100m又は1施工箇所につき1回			
	7 *法面工	3 *法面ネット工	1	1	法面ネット			第3編 2-14-4-2 法枠工（フレキスト法枠工）に準ずる。			
				4 *植生工	1	*種子散布	材料使用量	混合前	1工事につき1回	代表箇所各1枚	
				4	*植生シート						
				5	*植生マット	土羽土の厚さ	施工中	200m又は1施工箇所につき1回 又は施工面積1,600㎡毎につき1回			
				6	公園種子帯	法長	施工後	200m又は1施工箇所につき1回			
				7	公園張芝						
				8 9 10 11	公園筋芝 公園市松芝 *人工張芝 *植生穴						

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要				
1 基 盤 整 備	9 * 擁 壁 工	4 場 所 打 擁 壁 工 (構 造 物 単 位) ・ * 場 所 打 擁 壁 工	1	*小型擁壁			第3編 2-15-1 場所打擁壁工に準ずる。						
			2	*重力式擁壁									
			3	*もたれ式擁壁									
			4	*逆T型擁壁									
			5	*L型擁壁									
			6	*裏込砕石									
			7	*止水板									
			8	*化粧型枠									
			9	*ペーラインコンクリート									
			14	*コンクリート									
			15	*鉄筋									
			16	*型枠									
			17	*足場									
			18	*目地板									
			19	*水抜パイプ									
			20	*吸出し防止材									
			10	*基礎材						第3編 2-4-1 一般事項（砕石基礎工） （均しコンクリート）に準ずる。			
			12	*均しコンクリート									
			11	公園基礎材	幅	施工後				40m又は1施工箇所に1回	不要		
			13	公園均しコンクリート	厚さ					又は施工面積1,000㎡毎に1回			
21	擁壁高さ調整	施工状況	施工前 施工後	1施工箇所に1回	適宜								
	5 * プレ キャスト 擁 壁 工	1	*プレキャスト擁壁			第3編 2-15-2 プレキャスト擁壁工に準ずる							

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
1 基盤整備	9 *擁壁工	6 *帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁 *ジオテキスタイル補強土壁工	1	*補強土壁基礎			第3編 2-15-3 補強土壁工に準ずる。		
			2	*補強土壁壁面材組立・設置					
		7 コンクリートブロック工	1 2 3 4 5 7 8 9 10	*コンクリートブロック基礎 *コンクリートブロック積 *間知ブロック張 *平ブロック張 *連節ブロック張 *緑化ブロック積 *ブロック植栽 *天端コンクリート *小口止コンクリート			第3編 2-5-3-1～4 コンクリートブロック工に準ずる。		
8 石積工	1	崩れ積	胴込裏込厚 法長又は高さ	施工中 施工後	120m又は1施工箇所	1回	代表箇所各1枚		

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要	
1 基 盤 整 備	9 ＊ 擁 壁 工	8 石 積 工	2	面積			第3編 2-5-3-5 石積（張）工に準 ずる。			
			3	玉石積						
			4	小端積						
			5	こぶだし石積						
			6	切石積						
7	間知石積									
8	雑割石積									
9	雑石積									
10	割石積									
11	雑割石張									
12	雑石張									
13	石積高さ調整		施工状況	施工前 施工後	1 施工箇所 1 回	適宜				
9 土 留 め 工	1		土留め	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	100m 又は 1 施工箇所 1 回				適宜
		高さ 延長		施工後	100m 又は 1 施工箇所 1 回	代表箇所各 1 枚				

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
1 基 盤 整 備	10 公 園 カ ル バ ー ト 工	2	1	* 函渠			第10編 1-9-6 場所打函渠工に準ずる。		
		* 場	2	* 鉄筋					
		7		* コンクリート					
		8		* 型枠					
		9		* 足場					
		10		* 支保					
		11		* 目地板					
		12		* 止水板					
		13		* 水抜パイプ					
		3		* 場所打函渠工					
		4	1	* プレキャストボックス			第3編 2-3-28 プレキャストカルバート工に準ずる。		

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目		撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
1	基盤整備	11 公園施設等撤去・移設工	3 移設工	1 遊具移設	設置高さ		施工後	1回／1基	適宜	
					基礎高 基礎幅 根入れ長		施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に応じて)		
				2 小工作物移設	基礎高 基礎幅 根入れ長		施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に応じて)	適宜	
			3	景石移設	施工状況		施工前 施工後	5箇所 に1回 (施工前は必要に応じて)	適宜	
2	植栽	3 高木植栽工	3 高木植栽 (支柱有・幹巻有)	1 高木植栽	①植穴	径	施工後	樹種別、規格別に1回	適宜	
				2 高木植栽		深さ				
				3 高木植栽 (支柱有・幹巻無)	②樹木	施工状況	施工後	樹種別、規格別に1回	適宜	
					③支柱	施工状況	施工後	樹種別、規格別に1回	適宜	
					④客土 ⑤肥料 ⑥土壌改良材	施工状況 材料の 使用量(空 袋)	施工中 施工後	樹種別、規格別に1回	適宜	
		6 地被類植栽工	1 地被類植栽	施工状況		施工後	樹種別、規格別に1回	適宜		

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目		撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要		
2	3	7	1	草花種子散布 草花植生マット	材料使用量		混合前	種子別又は1工事につき1回	代表箇所各1枚			
			2		厚さ		施工中	種子別又は1工事につき1回 又は施工面積1,600m ² 毎に1回				
		8	1	播種	①種子		播種状況	施工中	種子別1回	適宜		
					②肥料		施工状況 材料の使用 量(空袋)	施工中	種子別1回			
					③養生材			施工後				
		9	1	花壇植栽	施工状況		施工後	花壇植栽別1回	適宜			
		10	樹木養生工	1	防風ネット	支柱の高さ 延長		施工後	120m又は1施工箇所に1回	代表箇所各1枚		
					2	寒冷紗巻き	施工状況		施工後	樹種別1回	適宜	
					3	植穴透水層	厚さ 幅 長さ		施工後	樹種別1回	適宜	
					4	空気管	施工状況		施工後	樹種別1回	適宜	
					8	養生柵	基礎高 基礎幅 根入れ長		施工前 施工後	100m又は1施工箇所に1回	適宜	
							高さ 延長		施工前 施工後	100m又は1施工箇所に1回	代表箇所各1枚	
					9	支柱設置	施工状況		施工後	樹種別、規格別に1回	適宜	

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目		撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
2	3	11	1	埋込型樹名板	基礎高 基礎幅		施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に応じて)	適宜	
			2	幹巻型樹名板	施工状況		施工後	樹種別1回	適宜	
		12	1	根囲い保護	基礎高 基礎幅 根入れ長		施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に応じて)	適宜	
			14	1 2 3	壁面緑化フェンス 壁面緑化パネル 登はん補助資材	施工状況		施工中 施工後	1施工箇所(タイプ毎) に1回	適宜
	4	3	1	高中木根回し	根回し状況		施工後	樹種別、規格別に1回	適宜	
			4	1	高木移植	①樹木	施工状況	施工後	樹種別、規格別に1回	適宜
		②支柱				施工状況	施工後	樹種別、規格別に1回	適宜	

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要	
2 植栽	4 移植工	5 根株移植工	1	根株移植	施工状況	施工後	樹種別、規格別に1回	適宜		
		6 中低木移植工	1	中低木移植	①樹木	施工状況	施工後	樹種別、規格別に1回	適宜	
					②支柱	施工状況	施工後	樹種別、規格別に1回	適宜	
	7 地被類移植工	1	地被類移植	施工状況	施工後	樹種別、規格別に1回	適宜			
	5 樹木整姿工	3 高中木整姿工	1	基本剪定	施工状況	施工後	樹種別、規格別に1回	適宜		
			2	軽剪定						
	3	機械剪定								
4 低木整姿工	1	1	手刈	施工状況	施工後	樹種別、規格別に1回	適宜			
		2	機械刈							

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要			
2	植栽	5	樹木 整姿工	5	1	樹勢回復	施工状況	施工後	樹種別、規格別に1回	適宜		
				2	2	樹木修復	施工状況	施工後	修復方法別に1回	適宜		
3	施設整備	3	給水設備工	3	1	メーターボックス	据付状況	施工後	5箇所	に1回	不要	
				2	2	止水栓						
				3	3	止水栓ボックス						
				4	4	不凍水栓						
				5	5	ボックス類高さ調整						
		6	3	ドリップパイプ	高さ 据付状況	埋戻し前	100m又は1施工箇所に1回	不要				
		4	4	散水栓	据付状況	施工後	5箇所	に1回	不要			
		5	5	散水栓ボックス								
		6	6	散水栓高さ調整	施工状況	施工前 施工後	1施工箇所に1回	適宜				
		8	1	給水施設修繕	施工状況	施工前 施工中 施工後	1施工箇所（修繕内容毎）に1回	適宜				
10	1	給水管	高さ 据付状況	埋戻し前	120m又は1施工箇所に1回	不要						
3	埋設シート											
	2	埋設標	据付状況	施工後	5箇所	に1回	不要					

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要	
3 施 設 整 備	4 雨 水 排 水 設 備 工	6 * 側 溝 工	1	*L型側溝			第3編 2-3-29-1 側溝工（プレキャストU型側溝）（L型側溝）（自由勾配側溝）に準ずる。			
			3	*管（函）渠型側溝						
			4	*プレキャストU型側溝						
			6	プレキャスト皿形側溝						
			7	*コルゲートフリューム						
		8	*自由勾配側溝							
		9	特殊円形側溝							
		2	現場打L型側溝	厚さ 幅 高さ	型枠取外後	200m又は1施工箇所	1回	不要		
		5	現場打側溝	厚さ 幅 高さ	型枠取外後	200m又は1施工箇所	1回	不要		
		10	公園素掘側溝	高さ 幅	埋戻し前	120m又は1施工箇所	1回	不要		
		12	側溝高さ調整	施工状況	施工前 施工後	1施工箇所	1回	適宜		
		7 * 管 渠 工	1	公園管渠				第3編 2-3-29-1 側溝工（管渠）に準ずる。		
			2	*コルゲートパイプ						
		8 * 集 水 樹 ・ マ ン ホ ー ル 工	1 * 街 渠 樹 2 * 集 水 樹 3 浸 透 樹 4 * プ レ キ ャ ス ト 街 渠 樹 5 * プ レ キ ャ ス ト 集 水 樹 6 塩 化 ビ ニ ル 製 樹 7 * マ ン ホ ー ル 8 * プ レ キ ャ ス ト マ ン ホ ー ル 9 公 園 マ ン ホ ー ル 10 浸 透 マ ン ホ ー ル	1	*街渠樹			第3編 2-3-30 集水樹工に準ずる。		
				2	*集水樹					
				3	浸透樹					
				4	*プレキャスト街渠樹					
				5	*プレキャスト集水樹					
6	塩化ビニル製樹									
7	*マンホール									
8	*プレキャストマンホール									
9	公園マンホール									
10	浸透マンホール									
11 樹 高 さ 調 整 12 マ ン ホ ー ル 高 さ 調 整	11		樹高さ調整	施工状況	施工前 施工後	1施工箇所	1回	適宜		
	12		マンホール高さ調整							

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
3 施設 整備	4 雨 水 排 水 設 備 工	9 * 地 下 排 水 工	1	透水コンクリート管			第 3 編 2-3-29-3 暗渠工に準ずる。		
			2	化学繊維管					
			3	* 地下排水					
		10 公 園 水 路 工	1	* 現場打水路			第 3 編 2-3-29-2 場所打水路工に準ずる。		
			2	プレキャスト水路工					
6 電 気 設 備 工	3 照 明 設 備 工	3	1	* ハンドホール			第 10 編 2-12-5-2 ケーブル配管工 (ハンドホール) に準ずる。	適宜	
			2	ハンドホール高さ調整	施工状況	施工前 施工後	1 施工箇所 to 1 回		
			3	引込柱	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回 (施工前は必要に応じて)		
			4	分電盤					
			5	分電盤高さ調整	施工状況	施工前 施工後	1 施工箇所 to 1 回		
			6	照明灯基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回 (施工前は必要に応じて)		
	4 放 送 設 備 工		4	スピーカー柱基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回 (施工前は必要に応じて)	適宜	

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
3 施設 整備	6 電気 設備 工	5	3	監視カメラ柱基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に 応じて)	適宜	
		6	1	電気設備修繕	施工状況	施工前 施工中 施工後	1箇所(修繕内容 毎)に1回	適宜	
		8	1 2 3	電線管 電線 埋設シート	高さ 据付状況	埋戻し前	120m又は1箇所 に1回	不要	

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
3 施設 整備	7 園 路 広 場 整 備 工	5 * ア ス フ ア ルト 舗 装 工	1	* 下層路盤(車道・路肩部)	敷均し厚 転圧状況	施工中	各層毎 400mに1回 又は施工面積 1,000 m ² に1回	代表箇所各1枚	
			2	* 下層路盤(歩道部)	修正状況	修正後	各層毎 400mに1回		
			3	* 上層路盤(車道・路肩部)	厚さ	修正後	各層毎 200mに1回 又は施工面積 1,000 m ² に1回		
			4	* 上層路盤(歩道部)	幅	修正後	各層毎 80mに1回 又は施工面積 1,000 m ² に1回		
		5	* 基層(車道・路肩部)	修正状況	修正後	各層毎 400mに1回	代表箇所各1枚		
		6	* 基層(歩道部)		又は施工面積 1,000 m ² に1回				
		9	* 表層(車道・路肩部)	タックコート プライムコート	散布時	各層毎に1回			
		10	* 表層(歩道部)	幅	修正後	各層毎 80mに1回 又は施工面積 1,000 m ² に1回			
		6 * 排 水 性 舗 装 工	1	* 下層路盤(車道・路肩部)	敷均し厚 転圧状況	施工中	各層毎 400mに1回 又は施工面積 1,000 m ² に1回	代表箇所各1枚	
				2	* 下層路盤(歩道部)	修正状況	修正後		
	3			* 上層路盤(車道・路肩部)	厚さ	修正後	各層毎 200mに1回 又は施工面積 1,000 m ² に1回		
	4			* 上層路盤(歩道部)	幅	修正後	各層毎 80mに1回 又は施工面積 1,000 m ² に1回		
	5		* 基層(車道・路肩部)	修正状況	修正後	各層毎 400mに1回	代表箇所各1枚		
	6		* 基層(歩道部)		又は施工面積 1,000 m ² に1回				
	9		* 排水性舗装・表層(車道・路肩部)	タックコート プライムコート	散布時	各層毎に1回			
				幅	修正後	各層毎 80mに1回 又は施工面積 1,000 m ² に1回			

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
3 施設 整備	7 園 路 広 場 整 備 工	7 * 透 水 性 舗 装 工	2	* 路盤	敷均し厚 転圧状況	施工中	各層毎 400mに1回 又は施工面積 1,000 m ² に1回	代表箇所各1枚	
					整正状況	整正後	各層毎 400mに1回 又は施工面積 1,000 m ² に1回		
					厚さ	整正後	各層毎 200mに1回 又は施工面積 1,000 m ² に1回		
					幅	整正後	各層毎 80mに1回 又は施工面積 1,000 m ² に1回		
		3	* 表層	整正状況	整正後	各層毎 400mに1回 又は施工面積 1,000 m ² に1回	代表箇所各1枚		
				タックコート プライムコート	散布時	各層毎に1回			
				幅	整正後	各層毎 80mに1回 又は施工面積 1,000 m ² に1回			
	8 ア ス フ ア ル ト 系 舗 装 工	1 2 3 4	公園アスファルト舗装 公園アスファルト薄層カラー舗装 透水性アスファルト舗装 脱色アスファルト舗装	路 盤 工	敷均し厚 転圧状況	施工中	各層毎 400mに1回 又は施工面積 500 m ² に1回	代表箇所各1枚	
					整正状況	整正後	各層毎 400mに1回 又は施工面積 500 m ² に1回		
					厚さ	整正後	各層毎 200mに1回 又は施工面積 500 m ² に1回		
					幅	整正後	各層毎 80mに1回 又は施工面積 500 m ² に1回		
				表 層 工	整正(敷設) 状況	整正後	各層毎 200mに1回 又は施工面積 500 m ² に1回		
				タックコート プライムコート	散布時	各層毎に1回			
				14	11	飛石	砕石基礎 厚さ	施工後	1 施工箇所に1回

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
3 施 設 整 備	7 園 路 広 場 整 備 工	16 園 路 縁 石 工	1	コンクリート縁石			第3編 2-3-5 縁石工(縁石・アスカフ)に準ずる。		
			2	現場打縁石					
			3	駒止めブロック					
			4	舗装止め					
			5	擬石縁石					
			6	レンガ縁石					
			7	木縁石					
			8	見切材(仕切材)					
			9	石材縁石					
			10	縁石高さ調整					
	17 区 画 線 工	1	* 溶融式区画線			第3編 2-3-9 区画線工に準ずる。			
		2	* ベント式区画線						
		3	* 区画線消去						
		4	* 区画線消去(WJ式日当施工量未満)						
	18 階 段 工	1	コンクリート階段	幅 高 さ 長 さ 段 数	施工後	1 施工箇所	1 回	代表箇所各1枚	
		2	コンクリートブロック階段						
		3	丸太階段						
		4	擬木階段						
		5	石材階段						
		6	階段高さ調整	施工状況	施工前 施工後	1 施工箇所	1 回	適宜	
19 公 園 橋 工	1	公園橋橋台	幅 厚 さ 高 さ	型枠取外後	全数量	代表箇所各1枚			
	4	石橋橋台							
	6	木橋橋台							
	2	公園橋設置	幅 高 さ 長 さ	施工後	1 施工箇所	1 回	代表箇所各1枚		
	3	八ッ橋							
	5	石橋設置							
	7	木橋設置							
	8	浮き栈橋							

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要	
3 施設整備	7 園路広場整備工	20 デッキ	1	デッキ基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に応じて)	代表箇所各1枚		
			2	デッキ設置						
	23 *植樹ブロック工	1	1	植樹ブロック			第3編 2-3-5 縁石工(縁石・アスカフ) に準ずる。			
	8 修景施設整備工	3 石組工	1 2	1	石組	施工状況	施工後	1 施工箇所に1回	適宜	
				2	景石					
		4 添景物工	1 2 3 4 5	1	つくばい	施工状況	施工後	5 箇所に1回	適宜	
				2	井筒					
				3	灯籠					
	5 袖垣・垣根工	1 2	1	袖垣	高さ 延長	施工後	120m 又は 1 施工箇所に1回	代表箇所各1枚		
2			垣根							
7 トレリス工	1 2	1 2	1	トレリス	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に応じて)	適宜		
			2	緑化フェンス						高さ 延長

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
3 施設 整備	8 修景 施設 整備 工	9 小規 模水 景施 設工	1	流れ	厚さ 幅 高さ 施工状況	施工前 施工後	1 施工箇所 に 1 回	代表箇所各 1 枚	
			2	滝	厚さ 幅 高さ 施工状況	施工前 施工後	1 施工箇所 に 1 回	代表箇所各 1 枚	
			3	池	厚さ 幅 高さ 施工状況	施工前 施工後	1 施工箇所 に 1 回	代表箇所各 1 枚	
			4	州浜	厚さ 幅 高さ 施工状況	施工前 施工後	1 施工箇所 に 1 回	代表箇所各 1 枚	
			5	壁泉	厚さ 幅 高さ 施工状況	施工前 施工後	1 施工箇所 に 1 回	代表箇所各 1 枚	
			6	カスケード	厚さ 幅 高さ 施工状況	施工前 施工後	1 施工箇所 に 1 回	代表箇所各 1 枚	
			7	カナル	厚さ 幅 高さ 施工状況	施工前 施工後	1 施工箇所 に 1 回	代表箇所各 1 枚	

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要		
3	施設整備	8 修景施設整備工	10	1	修景施設修繕	施工状況	施工前 施工中 施工後	1 施工箇所（修繕内容毎）に1回	適宜		
			9 遊戯施設整備工	3 遊具組立設置工	1	ブランコ	設置高さ	施工後	1回/1基	代表箇所各1枚	
					2	ジャングルジム	基礎高	施工前	基礎タイプ毎5箇所に1回 (施工前は必要に応じて)		
					3	滑台	基礎幅	施工後			
					4	シーソー	根入れ長				
					5	鉄棒					
					6	ラダー					
					7	はん登棒					
					8	スプリング遊具					
					9	複合遊具					
					10	アスレチック遊具					
					11	健康遊具施設					
			4 小規模現場打遊具工	1	砂場	厚さ 幅 高さ 施工状況	施工前 施工後	1 施工箇所に1回	代表箇所各1枚		
2	現場打遊具	厚さ 幅 高さ 施工状況			施工前 施工後	1 施工箇所に1回	代表箇所各1枚				
3	徒渉池	厚さ 幅 高さ 施工状況			施工前 施工後	1 施工箇所に1回	代表箇所各1枚				

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
3 施設整備	9	5	1	遊具施設修繕	施工状況	施工前 施工中 施工後	1 施工箇所（修繕内容毎）に 1 回	適宜	
	10	3	1	時計台	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回 （施工前は必要に応じて）	適宜	
	4	水飲み場	1	水飲み場	設置高さ	施工後	1 回 / 1 基	適宜	
	基礎高 基礎幅 根入れ長				施工前 施工後	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回 （施工前は必要に応じて）			
	6	ベンチ・テーブル工	1 2 3 4 5	ベンチ 縁台 テーブル スツール 野外卓	設置高さ	施工後	1 回 / 1 基	適宜	
					基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回 （施工前は必要に応じて）		
					設置高さ	施工後	1 回 / 1 基		
					基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回 （施工前は必要に応じて）		
					設置高さ	施工後	1 回 / 1 基		
	8	炊事場工	1	炊事場	設置高さ	施工後	1 回 / 1 基	適宜	
基礎高 基礎幅 根入れ長					施工前 施工後	基礎タイプ毎 5 箇所に 1 回 （施工前は必要に応じて）			

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
3 施設 整備	10	10	1	サービス施設修繕	施工状況	施工前 施工中 施工後	1 施工箇所（修繕内容毎）に1回	適宜	
	11	3	1	リサイクル施設基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所に1回 （施工前は必要に応じて）	適宜	
	5	2	1	くず入れ 吸殻入れ	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所に1回 （施工前は必要に応じて）	適宜	
	5	1	2	さく井	施工状況	施工前 施工中 施工後	1 施工箇所に1回	施工箇所各1枚	
	5	2	1	手押しポンプ	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	1 施工箇所に1回	適宜	
	7	1	2	門壁 門柱 門扉	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	1 施工箇所に1回	適宜	
	7	2	3						
	7	3							

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
3 施設 整備	11 管理 施設 整備 工	8 柵 工	1	フェンス	基礎高	施工前	100m又は1施工箇所 に1回	適宜	
			2	柵	基礎幅	施工後			
			3	手すり	根入れ長				
			4	*転落(横断)防止柵	高さ	施工後	100m又は1施工箇所 に1回	代表箇所各1枚	
5			*ガードレール	延長					
6			*ガードケール						
7			*ガードパイプ						
8			*基礎ブロック、鋼管基礎						
9			*金網・支柱(立入防止柵)						
10			*門扉						
9	1	車止め	基礎高	施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に応じて)	適宜			
2	*車止めポスト	基礎幅							
3	車椅子ゲート	根入れ長							
	14	1	管理施設修繕	施工状況	施工前 施工中 施工後	1 施工箇所(修繕内容毎) に1回	適宜		
12 建築 施設 組立 設置 工	3 四阿 工	1	四阿基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に応じて)	適宜		

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
3	12	15	1	建築施設修繕	施工状況	施工前 施工中 施工後	1 施工箇所（修繕内容毎）に1回	適宜	
4	3	4	1 2 3 4	* 下層路盤（車道・路肩部） * 下層路盤（歩道部） * 上層路盤（車道・路肩部） * 上層路盤（歩道部） 中層	敷均し厚	施工中	各層毎 400mに1回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に1回	代表箇所各1枚	
					転圧状況	修正後	各層毎 400mに1回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に1回		
					厚さ	修正後	各層毎 200mに1回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に1回		
					幅	修正後	各層毎 80mに1回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に1回		
			5 6 7	* 基層（車道・路肩部） * 基層（歩道部）	修正状況	施工後	各層毎 400mに1回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に1回	代表箇所各1枚	
					タックコート プライムコート	散布時	各層毎に1回		
					幅	修正後	各層毎 80mに1回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に1回		
					抜き取りコア厚さ	抜き取り後	全数量		

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要	
4	3	4	8	クレー舗装	路盤工	敷均し厚	施工中	各層毎 400mに1回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に1回	代表箇所各1枚	
						転圧状況				
						修正状況	修正後			
						厚さ	修正後			
						幅	修正後			
			9	アンダー舗装	路盤工	敷均し厚	施工中	各層毎 400mに1回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に1回		
						転圧状況				
						修正状況	修正後			
						厚さ	修正後			
						幅	修正後			
			10	天然芝舗装	表層工	修正(施工)状況	修正後	各層毎 400mに1回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に1回		
						厚さ	修正後			
						幅	修正後			
						修正(施工)状況	修正後			
14	グラウト・コート砂舗装	路盤工	敷均し厚	施工中	各層毎 400mに1回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に1回					
			転圧状況							
			修正状況	修正後						
			厚さ	修正後						
15	グラウト・コートダスト舗装	路盤工	敷均し厚	施工中	各層毎 400mに1回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に1回					
			転圧状況							
			修正状況	修正後						
			厚さ	修正後						
11	人工芝舗装	路盤工	敷均し厚	施工中	各層毎 400mに1回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に1回					
			転圧状況							
			修正状況	修正後						
			厚さ	修正後						
		12	全天候型舗装 (樹脂系)	表層工	修正(施工)状況	修正後	各層毎 400mに1回 又は施工面積 1,000 m ² 毎に1回			
					厚さ	修正後				
					幅	修正後				
		13	全天候型舗装 (アスファルト系)	表層工	タックコート プライムコート	散布時	各層毎に1回			
					抜取りコア 厚さ	抜取り後		全数量		

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
4	3 グ ラ ウ ン ド ・ コ ー ト 整 備	5 グ ラ ウ ン ド ・ コ ー ト 縁 石 工	1	コクリト縁石 舗装止め 見切材（仕切材） 内圍縁石			第3編 3-3-8 縁石工（縁石・アスカフ） に準ずる。		
			2						
			3						
4									
4	4 ス タ ン ド 整 備 工	3 ス タ ン ド 擁 壁 工	1	スタント [®] 擁壁	幅 高 さ 厚 さ 法 長	型枠取外後	200m又は1施工箇所に1回	代表箇所各1枚	
			4 ベ ン チ 工	1 2	スタント [®] ベンチ 現場打ベンチ	幅 高 さ 厚 さ	型枠取外後	120m又は1施工箇所に1回	代表箇所各1枚

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
4 グラウンド・コート整備	4 スタンド 整備工	5 スタンド 施設修繕工	1	スタンド施設修繕	施工状況	施工前 施工中 施工後	1 施工箇所（修繕内容毎）に1回	適宜	
	5 バックネット工	1	バックネット基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所に1回 （施工前は必要に応じて）	適宜	代表箇所各1枚	
									6 競技施設工
	13	塁ベース基礎	基礎高 基礎幅 根入れ長	施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所に1回 （施工前は必要に応じて）	適宜			

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
4	5	11	1 2 3	高尺ネットフェンス フェンス 防球ネット	基礎高 基礎幅 根入れ長	型枠取外後	120m又は1施工箇所に1回	代表箇所各1枚	
5	2	3	1	蒔き出し	蒔き出し厚	蒔き出し時	200mに1回 又は施工面積1,600㎡毎に1回	代表箇所各1枚	
					蒔き出し状況	蒔き出し時	転圧機械又は地質が変わる毎に1回		
					幅 法長	施工後	200mに1回又は1施工箇所に1回 又は施工面積1,600㎡毎に1回		

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
5 自然 育成	2 自然 育成 施設 工	4 自然 水路 工	1	遮水・止水シート	幅 高さ	施工状況 施工後	40m又は1施工箇所 に1回	代表箇所各1枚	
			3 4	ごろた石積 崩れ積	胴込裏込厚	施工中	第3編3-5-3-5石積(張)工に準ず る。		
			5	砂・礫敷	法長又は高さ 厚さ 幅	施工後	100m又は1施工箇所 に1回 200mに1回 又は施工面積1,600㎡毎 に1回	代表箇所各1枚	
		5 水田 工	1	遮水・止水シート	高さ	施工状況 施工後	1施工箇所 に1回	適宜	
		6 ガレ 山工	1	ガレ山	高さ 幅 施工状況	施工中 施工後	1施工箇所 に1回	適宜	
		7 粗朶 山工	1	粗朶山	高さ 幅 施工状況	施工中 施工後	1施工箇所 に1回	適宜	
		8 カント トリー ヘッジ 工	1	カントリーヘッジ	高さ 幅 施工状況	施工中 施工後	1施工箇所 に1回	適宜	

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要		
5 自然 育成	2 自然 育成 施設 工	9 石 積 土 堰 堤 工	1	石積土堰堤	高さ 幅 施工状況	施工中 施工後	1 施工箇所につき 1 回	適宜			
			10 し が ら み 柵 工	1	しがらみ柵	高さ 幅	施工後	120m又は1 施工箇所につき 1 回	代表箇所各 1 枚		
	11 自 然 育 成 型 護 岸 工	3 4 8	* 石積 * 石張 * 雑割石張					第 3 編 3-5-3-5 石積（張）工に準ずる。			
				9 10	* かごマット(スロープ型) * かごマット(多段積型)				第 3 編 2-3-26-2 多自然型護岸工(かごマット)に準ずる。		
						15	* 種子散布	材料使用量	混合前	1 工事につき 1 回	代表箇所各 1 枚
		19 20	公園張芝 公園筋芝		土羽土の厚さ	施工中	200m又は1 施工箇所につき 1 回 又は施工面積 1,600 m ² 毎につき 1 回	代表箇所各 1 枚			
				21	公園市松芝	法長	施工後	200m又は1 施工箇所につき 1 回	代表箇所各 1 枚		
		22 23 24 25	* 覆土（流用土） * 覆土（発生土） * 覆土（採取土） * 覆土（購入土）					第 1 編 2-3-5 法面整形工（盛土部）に準ずる。			

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
5	自然育成施設工	12 保護柵工	1	保護柵	基礎高	施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に応じて)	適宜	
					基礎幅 根入れ長				
					高さ 延長	施工後	120m又は1施工箇所 に1回	代表箇所各1枚	
		13 解説板工	1	解説板	基礎高	施工前 施工後	基礎タイプ毎5箇所 に1回 (施工前は必要に応じて)	適宜	
					基礎幅 根入れ長				
		14 自然育成施設修繕工	1	自然育成施設修繕	施工状況	施工前 施工中 施工後	1 施工箇所 (修繕内容毎) に1回	適宜	
16 自然育成型護岸基礎工	1	*現場打基礎				第3編 2-4-3-1 基礎工(護岸) (現場打)に準ずる。			
	2	*プレキャスト基礎				第3編 2-4-3-2 基礎工(護岸) (プレキャスト)に準ずる。			

章	節	条	枝番	工 種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘 要
5 自然 育成	2 自然 育成 施設 工	17 * 沈 床 工	3	*粗朶沈床			第3編 2-3-18 沈床工に準ずる。		
			4	*袋詰玉石					
			5	*吸出し防止材					
			6	*粗朶単床					
		18 * 捨 石 工	1	*捨石			第3編 2-3-19 捨石工に準ずる。		
			2	*表面均し					
			3	*吸出し防止材					
5 自然 育成	3 自然 育成 植栽 工	4 水 性 植 物 植 栽 工	1	水性植物植栽	施工状況	施工後	樹種別1回	適宜	

品質写真管理基準

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	備考
土・石材	1	たたき粘土	土の粒度試験	試験実施中	土質毎に1回	不要	
			土粒子の密度試験				
			土の含水試験				
			土の透水試験				
	2	土舗装材	土の粒度試験	試験実施中	土質毎に1回	不要	
			土粒子の密度試験				
			土の含水試験				
	3	クレー舗装材	土の粒度試験	試験実施中	土質毎に1回	不要	
			土粒子の密度試験				
			土の含水試験				
			硬度（施工）	試験実施中	1,000m ² 毎に1回	不要	
	4	アンツーカー舗装材	含水比	試験実施中	観察により異常が認められた場合		
			粒度				
			硬度（施工）	試験実施中	1,000m ² 毎に1回	不要	
	5	舗装用石材	岩石の見掛比重	試験実施中	産地又は岩質毎に1回	不要	
	6	積み・張り用石材	岩石の圧縮強さ				
			岩石の形状				
	7	火山砂利	最大乾燥密度の測定	試験実施中	採取地毎に1回	不要	
			修正CBRの測定				
骨材のふるい分け試験							
骨材の洗い試験							
粗骨材のすりへり試験							
骨材の安定性試験							
凍上試験							
強熱減量試験							
土の透水試験	試験実施中	採取地毎に1回	不要				
締固め度の測定（施工）	試験実施中	A類 300 m ² 毎に1回 B・C類 1,500 m ² 毎に1回	不要				
骨材のふるい分け試験（施工）	試験実施中	搬入時に1回 観察により異常が認められた場合	不要				
骨材の洗い試験（施工）							

区分	番号	工 種	撮 影 項 目	撮影時期	撮 影 頻 度	提出頻度	備 考
造園材料	1	客土	pH (H ₂ O) [簡易 pH 計]	試験実施中	採取地毎に 1 回	不要	
			有害物質 [電気伝導度 (EC メーター)]				
	2	高木	高さ	試験実施中	樹種別、規格別に 1 回	不要	
			幹周				
			枝張				
3	中低木	高さ	試験実施中	樹種別、規格別に 1 回	不要		
		枝張					
4	特殊樹木	高さ	試験実施中	樹種別、規格別に 1 回	不要		
		幹周					
		枝張又は尺					
5	地被類	茎長	試験実施中	樹種別、規格別に 1 回	不要		
		芽立					
木材	1	木材	木材の加圧式防腐処理方法	試験実施中	材料毎に 1 回	不要	
			クレオソート油、加工タール、タールピッチ (特記による)				
			木材の浸漬式防腐処理方法				
			含水率				
			保存処理剤浸度試験				